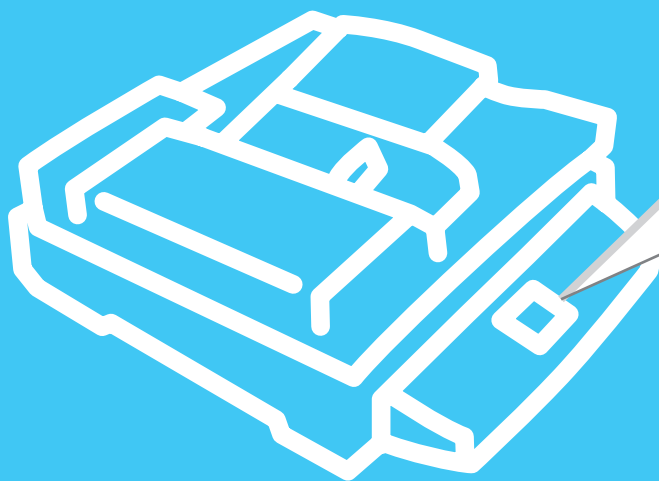




まず
2ページ
へ

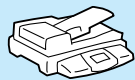
できることがわかります

セットアップ & クイックリファレンスガイド

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

DocuScan C4260/C3210

できることは？



ドキュスキャン

DocuScan C4260/C3210 で、
できること（メニュー）を紹介します。



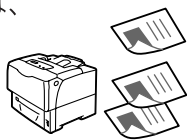
紙を読み込み、



・・・ 紙にコピーしたい

コピー

プリンターと接続すれば、
紙にコピーできます。
USB接続なので、
ネットワーク環境は
必要ありません。



・・・ みんなにメールしたい

メール送信

メールに添付して送信できます。
メールなら特定の相手に
直接届けられます。
複数の相手にも同時に
送信できます。

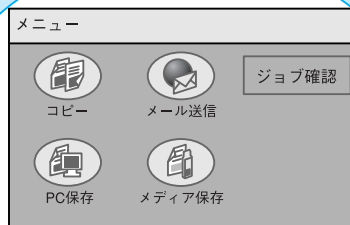


紙の原稿を

読み込んで・・・



スキャナーのメニュー画面



・・・ PCで使いたい

PC保存

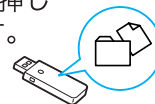
自分のコンピューターの
指定したフォルダーに
手軽に取り込めます。
また、FTPサーバーに保存して、
みんなで利用することもできます。



・・・ 持ち運びたい

メディア保存

USBフラッシュメモリーを挿し
込んで、直接保存できます。
ネットワーク環境が
なくても、持ち運んで
コンピューターに入れます。



スキャナーをご利用になる目的とあうメニューが見つかりましたか。
では、その名前とボタンを覚えておいてください。

読むページはここ！

利用するメニューによって、準備も操作も違います。
ボタンの矢印をたどって、本書をお読みください。

準備

1 スキャナーの設置 (スキャナーでの作業)

はじめてお使いになるとき

スキャナーを箱から出す、キャリッジロックを解除する、電源を入れるとき。

【PC保存】 / 【メール送信】 をする前に

ネットワークケーブルを接続する、スキャナーのIPアドレスを設定するとき。

【コピー】 をする前に

スキャナーとプリンターを接続するとき。

2 スキャンの準備 (コンピューターでの作業)

【PC保存】 / 【メール送信】 をする前に

コンピューターに保存するためのフォルダーを作る、メールを送れるように設定する、DocuScanマネージャーをインストールする、スキャナーを選択する、保存先やメールの送信先を宛先表に登録する、などコンピューター側でスキャンの準備をするとき。

基本操作

3 原稿のセット

紙の原稿をスキャナーにセットするとき。
使用してはいけない原稿などの注意事項もここにありま

4 スキャンのしかた

【PC保存】 / 【メール送信】 / 【メディア保存】

コンピューターに保存、メールで送信、USBフラッシュメモリーに保存するとき。スキャンの設定項目一覧もここにありま

5 コピーのしかた

【コピー】

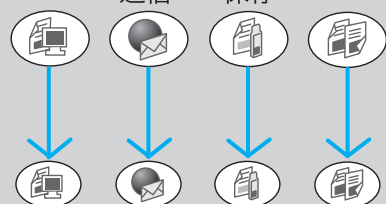
接続したプリンターで、コピーするとき。
コピーの設定一覧もここにありま

トラブル

6 困ったときには

原稿が詰まったときの対処方法、スキャナーの使い方やトラブルに関するQ&A、エラーコードの意味を知りたいとき。

PC保存 メール送信 メディア保存 コピー



22 ページ



32 ページ



52 ページ

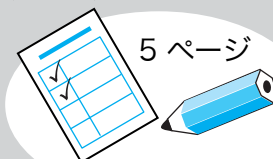


60 ページ



82 ページ

チェックリスト



5 ページ

必要な操作をチェック！

目次

● できることは？	2
● 読むページはここ！	3
● 目次	4
● チェックリスト	5
● はじめに	6
● 本書の表記	7
● マニュアル体系	8
● 安全にご利用いただくために	10
● 法律上の注意事項	16
● 各部のなまえ	17
● 電源切り時のお願い	20
● 節電モードについて	20

1 スキャナーの設置 21

設置の流れ（スキャナーでの作業）	22
スキャナーを箱から出す	23
キャリッジロックを解除する	24
電源を入れる	25
ネットワークに接続する	26
プリンターと接続する	29

2 スキャンの準備 31

準備の流れ（コンピューターでの作業）	32
DocuScan マネージャーを インストールする	33
PC 保存の準備をする	34
メール送信の準備をする	36
宛先を登録する	39
こんなときの準備は	47
いつも使う設定を保存する	49

3 原稿セットのしかた .. 51

使用できる原稿	52
使用できない原稿	53
原稿をセットする	54

4 スキャンのしかた 59

PC 保存する	61
メール送信する	65
件名、コメントを設定する	70
メディア保存する	71
次の原稿があるとき	74
プレビューを表示する	75
スキャンを中止する	76
スキャンの設定項目の紹介	77
DocuWorks を利用する	79

5 コピーのしかた 81

コピーする	82
コピーを中止する	85
コピーの設定項目の紹介	86

6 困ったときには 87

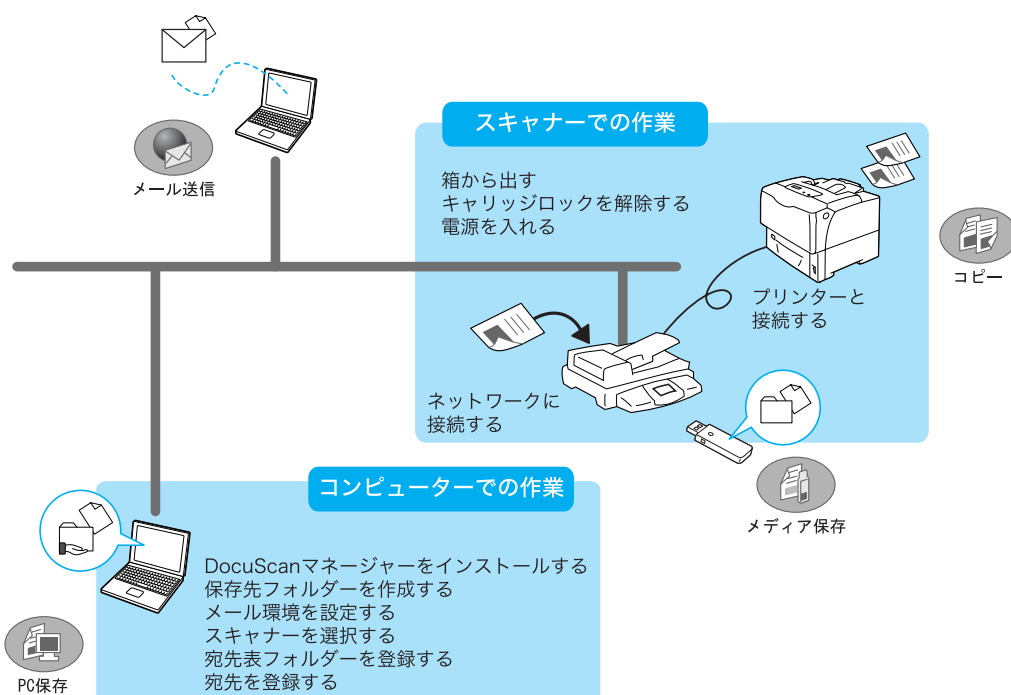
原稿が詰まって困った	88
スキャナーの使い方で困った	91
エラーコードで困った	105
● オプション品一覧	119
● 補修用性能部品について	119
● 製品情報の入手方法	119
● 索引	120
● 本書で紹介している情報（URL）一覧	巻末
● ヘルプ・電子マニュアル一覧	巻末

チェックリスト

このページをコピーして  を付け、ご利用いただけます。

このチェックリストの項目をひとつずつ操作していくと、スキャンやコピーができます。
スキャンやコピーまでの、操作の全体をつかみたいときにも、ご活用ください。

	【PC 保存】 	【メール送信】 	【メディア保存】 	【コピー】 
 スキャナーでの作業	☐ 箱から出す (23 ページ) ☐ キャリッジロックを解除する (24 ページ) ☐ 電源を入れる (25 ページ) ☐ ネットワークに接続する (26 ページ)	☐ 箱から出す (23 ページ) ☐ キャリッジロックを解除する (24 ページ) ☐ 電源を入れる (25 ページ) ☐ ネットワークに接続する (26 ページ)	☐ 箱から出す (23 ページ) ☐ キャリッジロックを解除する (24 ページ) ☐ 電源を入れる (25 ページ)	☐ 箱から出す (23 ページ) ☐ キャリッジロックを解除する (24 ページ) ☐ 電源を入れる (25 ページ) ☐ プリンターと接続する (29 ページ)
 コンピューターでの作業	☐ DocuScan マネージャーをインストールする (33 ページ) ☐ 保存先フォルダーを作成する (34 ページ) ☐ スキャナーを選択する (40 ページ) ☐ 宛先表フォルダーを登録する (41 ページ) ☐ 宛先を登録する (42 ページ)	☐ DocuScan マネージャーをインストールする (33 ページ) ☐ メール環境を設定する (36 ページ) ☐ スキャナーを選択する (40 ページ) ☐ 宛先表フォルダーを登録する (41 ページ) ☐ 宛先を登録する (45 ページ)	↓	↓
 スキャナーでの作業	☐ 原稿をセットする (54 ページ) ☐ スキャンする (61 ページ)	☐ 原稿をセットする (54 ページ) ☐ スキャンする (65 ページ)	☐ 原稿をセットする (54 ページ) ☐ スキャンする (71 ページ)	☐ 原稿をセットする (54 ページ) ☐ コピーする (82 ページ)
 コンピューターでの作業	☐ スキャン結果を確認する (64 ページ)	☐ スキャン結果を確認する (69 ページ)	☐ スキャン結果を確認する (73 ページ)	●



はじめに

このたびは DocuScan C4260/C3210 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本書には、本機をはじめてご使用になるかたを対象に、本機でスキャンするための準備、基本的な操作方法、使用上の注意事項などについて記載しています。製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、製品をご使用になる前に、必ず本書をお読みのうえ、正しくご利用ください。

本書の内容は、お使いのコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を理解されていることを前提に説明しています。

本書は、読み終わったあとも必ず保管してください。本機をご使用中に、操作でわからないことや不具合が出たときに読み直してご活用いただけます。

富士ゼロックス株式会社

Adobe、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の各国での登録商標または商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。画面の使用に際して米国マイクロソフト社の許諾を受けています。

Macintosh、Mac OS は、Apple Inc. の米国およびその他の国における商標です。その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

この取扱説明書のなかで  と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

本機には偽造防止機能が搭載されているため、まれに原稿によっては適切なコピーが得られないことがあります。

コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
- ④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
- ⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

XEROX、THE DOCUMENT COMPANY、“デジタル X”のマーク、Ethernet（イーサネット）、および CentreWare は、米国ゼロックス社または富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
DocuWorks は、富士ゼロックス株式会社の商標です。

本書の表記

本書で使用している記号

本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。

 PC保存	PC 保存機能を使用する（スキャンデータをコンピューターに保存する）場合にお読みください。	 メール送信	メール送信機能を使用する（スキャンデータをメールに添付して送信する）場合にお読みください。
 コピー	コピー機能を使用する（スキャンデータを直接プリンターから印刷する）場合にお読みください。	 メディア保存	メディア保存機能を使用する（スキャンデータをUSBフラッシュメモリーに保存する）場合にお読みください。

注記： 注意すべき事項を記述しています。

ポイント： 補足事項を記述しています。

➡： 参照先を記述しています。

[]： コンピューターやスキャナーの操作パネルのタッチパネルディスプレイに表示される項目を表します。

< >： キーボード上のキーや、スキャナーの操作パネル上のボタン、ランプなどを表します。

>： メニューの階層を表します。

また、本書内の画面例は Microsoft® Windows® XP を使用しています。

本書で使用している用語

●原稿

スキャナーで読み込む書類、本、写真などのこと。

●スキャンする

スキャナーで原稿を読み込むこと。

●コピーする

原稿をスキャンして、スキャナーと接続したプリンターから印刷すること。

●宛先

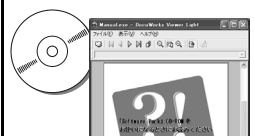
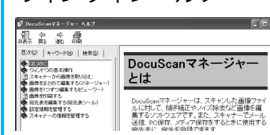
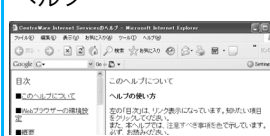
スキャンデータの保存先、送信先のこと。

●スキャンデータ

原稿をスキャンして作成される電子データのこと。

TIFF、JPEG、
DocuWorks文書、
PDF

マニュアル体系

最初に読むマニュアル	スキャナーを設置したい スキャナーを使ってみたい	セットアップ&クイックリファレンスガイド (本書) (製本/PDF*1) 	本機の設置手順、原稿のセット方法、スキャン / コピーの基本操作、困ったときの対処方法などを説明しています。 → このマニュアルのPDFは、「Software Pack」CD-ROM に収録されています。
	同梱 CD-ROM について知りたい DocuScanマネージャーをインストールしたい	ソフトウェアバック操作ガイド (DocuWorks 自己解凍文書形式) 	「Software Pack」CD-ROM の内容や、「Software Pack」CD-ROM から DocuScan マネージャーをインストールする方法などを説明しています。 → このマニュアルは、「Software Pack」CD-ROM に収録されています。
スキャナーを使用中に読むマニュアル	スキャナーのすべての機能を知りたい 操作パネルの文字の入力方法を知りたい 清掃の方法を知りたい	ユーザーズガイド (PDF*1) 	スキャン / コピー機能の操作方法、困ったときの対処方法、日常の管理方法、各種設定項目、および使用上の注意事項などを説明しています。 「ユーザーズガイド目次 (参考にしてください)」(9 ページ) を参照してください。 → このマニュアルは、「Software Pack」CD-ROM に収録されています。
	宛先表に宛先を登録したい スキャンデータの画像を編集したい	DocuScan マネージャーのオンラインヘルプ 	DocuScan マネージャーの項目や各機能の設定方法を説明しています。 → DocuScan マネージャーの [ヘルプ] メニューから表示します。
	Web ブラウザーでスキャナーを管理したい	CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ 	CentreWare Internet Services の項目や各機能の設定方法を説明しています。 → このマニュアルは、CentreWare Internet Services の [ヘルプ] ボタンから表示します。

*1: PDF を表示するには、お使いのコンピュータに Adobe® Reader® がインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、「Software Pack」CD-ROM を使って、まず Adobe® Reader® をインストールしてください。

●オプション製品に同梱されているマニュアル

スキャナースタンド設置手順書	スキャナースタンドの設置手順を説明しています。スキャナースタンドを使用すると、スキャナーとプリンターの設置スペースを効率化できます。
-----------------------	---

ユーザーズガイド目次（参考にしてください）

- 1 スキャナー環境の設定
 - 1.1 使用できる環境について
 - 1.2 ケーブルを接続する
 - 1.3 ネットワーク環境を設定する
 - 1.4 CentreWare Internet Services でスキャナーを設定する
 - 1.5 DocuScan マネージャーをインストールする
 - 1.6 PC 保存の環境を設定する
 - 1.7 メール送信の環境を設定する
- 2 基本操作
 - 2.1 各部の名称と働き
 - 2.2 文字の入力方法
 - 2.3 電源を入れる / 切る
 - 2.4 節電モードを設定 / 解除する
 - 2.5 原稿をセットする
- 3 スキャンする
 - 3.1 スキャン操作の流れ
 - 3.2 スキャンを中止する
 - 3.3 スキャン設定項目一覧
 - 3.4 PC に保存する
 - 3.5 メールで送信する
 - 3.6 メディアに保存する
 - 3.7 基本スキャン項目を設定する
 - 3.8 その他のスキャン項目を設定する
- 4 コピーする
 - 4.1 コピー操作の流れ
 - 4.2 コピーを中止する
 - 4.3 コピー設定項目一覧
 - 4.4 基本コピー項目を設定する
 - 4.5 画質調整のコピー項目を設定する
 - 4.6 その他のコピー項目を設定する
- 5 宛先表 / 登録リストを使用する
 - 5.1 宛先表の概要
 - 5.2 登録リストの概要
 - 5.3 スキャナーでの宛先表の使い方
- 6 ジョブを確認する
 - 6.1 操作パネルで確認する
 - 6.2 CentreWare Internet Services を使う
- 7 仕様設定
 - 7.1 仕様設定の流れ
 - 7.2 仕様設定項目一覧
 - 7.3 画面コントラスト調整
 - 7.4 共通設定
 - 7.5 ネットワーク設定
 - 7.6 コピー設定
 - 7.7 スキャナー設定
 - 7.8 機械管理者情報の設定
- 8 DocuScan マネージャーを使用する
 - 8.1 DocuScan マネージャーとは
 - 8.2 宛先を登録する
 - 8.3 宛先の登録内容を変更する
 - 8.4 スキャンデータを取り込む
 - 8.5 画像をまとめて編集する
 - 8.6 画像を 1 つずつ編集する
 - 8.7 画像を印刷する
 - 8.8 画像を保存する
- 9 困ったときには
 - 9.1 どのような症状で困っていますか
 - 9.2 原稿が詰まったときは
 - 9.3 スキャナー本体のトラブル
 - 9.4 画質のトラブル
 - 9.5 スキャナー機能使用時のトラブル
 - 9.6 エラーコード
 - 9.7 こんなときには Q&A
- 10 日常管理
 - 10.1 Web ブラウザーでスキャナーの状態を確認 / 管理する
 - 10.2 スキャナーの清掃
 - 10.3 スキャナーを移動するときは
- A 付 録
 - A.1 DocuScan C4260/C3210 の主な仕様
 - A.2 オプション品の紹介
 - A.3 補修用性能部品について
 - A.4 製品情報の入手方法
 - A.5 注意 / 制限事項
 - A.6 用語集

安全にご利用いただくために

本機を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にご利用いただくために」を最後までお読みください。

お買い上げいただいた製品は、厳しい安全基準、環境基準に則って試験され、合格した商品です。常に安全な状態でお使いいただけるよう、下記の注意事項に従ってください。



警告

新機能の追加や外部機器との接続など、許可なく改造を加えた場合は、保証の対象とならない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、担当のサービスセンターへお問い合わせください。

各警告図記号は以下のような意味を表しています



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。

△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。



注 意



発火注意



破裂注意



感電注意



高温注意



回転物注意



指挟み注意

⊘記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。



禁 止



火気禁止



接触禁止



風呂等での
使用禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止

●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。



指 示



電源プラグ
を抜け



アース線を
接続せよ

電源およびアース接続時の注意

警告



万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため機械の後方から電源コードとともに出てくる緑色のアース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

- ・ 電源コンセントのアース端子
- ・ 銅片などを 850mm 以上地中に埋めたもの
- ・ 接地工事（D 種）を行っている接地端子

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、当社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ・ ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- ・ 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があります。）
- ・ 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

アースとの接続が不十分な場合、感電の原因となるおそれがあります。



電源コードは、機械近くのアースが確実に取れるコンセントに、単独で差し込んでください。延長コードは使わないでください。たこ足配線をしないでください。発熱による火災の原因となるおそれがあります。

電源接続に関してご不明な点がある場合は、当社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。



機械の定格電圧値および定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。機械の定格電圧値および定格電流値は、機械背面パネルの定格銘板ラベルを確認してください。



電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電の原因となるおそれがあります。



電源コードにものを載せないでください。



電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災の原因となるおそれがあります。



同梱、または当社が指定した専用電源コード以外は使用しないでください。発火、感電のおそれがあります。

また、専用電源コードをほかの機器に使用しないでください。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）当社のプリンターサポートデスクまたは販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となるおそれがあります。

注意



機械の清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。



機械の電源スイッチを入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。



電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。



連休などで長期間、機械をご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となるおそれがあります。

- ❗ 1 か月に一度は機械の電源スイッチを切り、次のような点検をしてください。
- ・ 電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれているか。
 - ・ 電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはないか。
 - ・ 電源プラグやコンセントに細かいホコリが付いていないか。
 - ・ 電源コードにきれつや擦り傷などがないか。

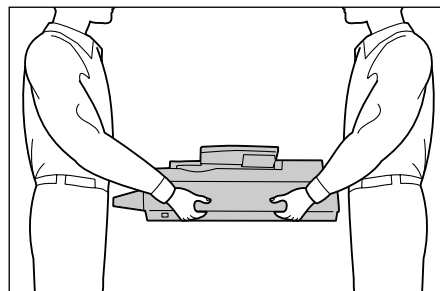
異常な点にお気づきの場合はただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、当社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

設置時の注意

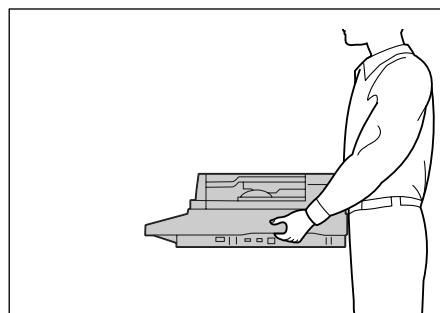
❗ 注意

- ❗ 機械は、電源コードの上を人が踏んで歩いたり足で引っ掛けたりするような場所には設置しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。
- 🚫 以下のような場所には機械を設置しないでください。
- ・ 発熱器具に近い場所
 - ・ 揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近く
 - ・ 高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所
 - ・ 直射日光の当たる場所
 - ・ 調理台や加湿器のそばなど
- ❗ DocuScan C4260の重さは約24.0kgです。必ず2人以上で持ち運んでください。

- ❗ 機械を持ち上げるときは、腰を痛めないよう、ひざを折り、指示された手かけ部分を持ってから立ち上がるようにしてください。DocuScan C4260 を持ち上げるときは、機械の前後に立って、左右両側の下方にあるくぼみを両手でしっかりと持ってください。



DocuScan C3210 を持ち上げるときは、機械の背面に向かって、左右両側の下方にあるくぼみを両手でしっかりと持ってください。

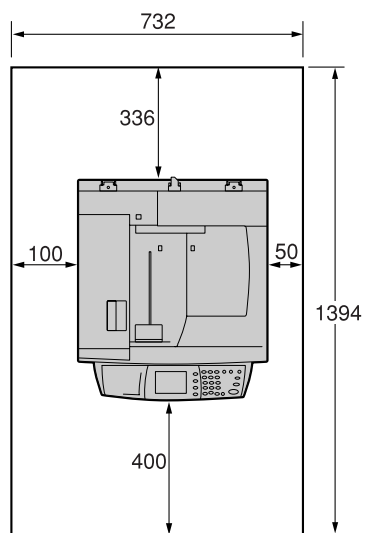
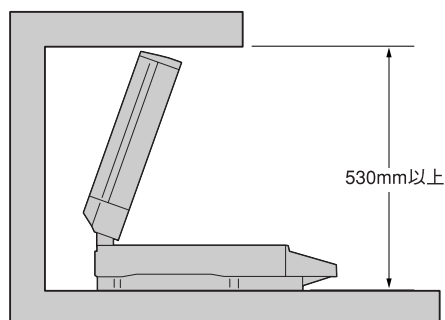


操作パネルなど、両側のくぼみ以外を持って、持ち上げることは絶対にしないでください。落下によるケガの原因となるおそれがあります。

- ❗ 機械は、付属製品を含めた総質量 (DocuScan C4260 は約 24.0kg、DocuScan C3210 は約 15.0kg) に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。機械の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。

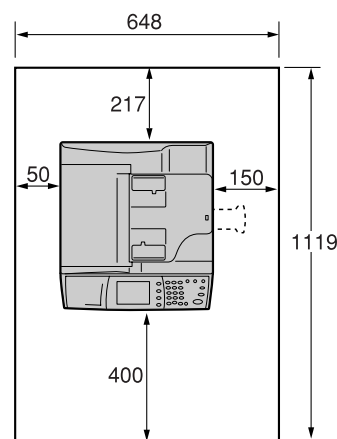
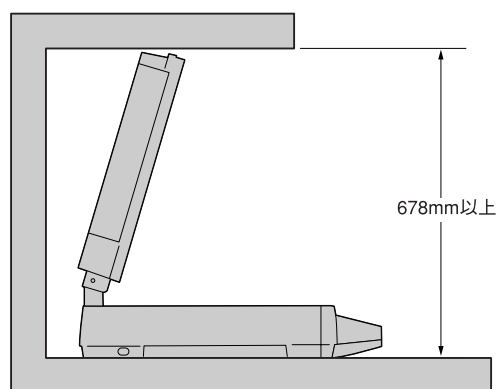
! 機械には通気口があります。機械の通気口をふさがないでください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。機械を安全に正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

また、機器の異常状態によっては、電源プラグをコンセントから抜いていただくことがありますので、設置スペース内に物を置かないでください。



単位：mm

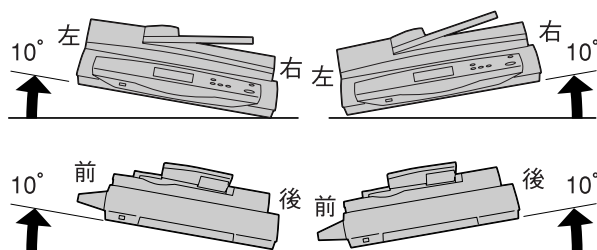
DocuScan C4260



単位：mm

DocuScan C3210

! 機械を 10 度以上に傾けないでください。転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。



! 本機器の使用環境は次のとおりです。

温度：10 ～ 32 °C（結露がないこと）

湿度：15 ～ 85%

温度が 32 °C のときは湿度 70% 以下、湿度が 85% のときは温度 28 °C 以下でお使いください。

ただし冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械内部に水滴が付着し部分的に画像読み取りできない場合があります

機械使用上の注意

警告

 この説明書に明記されていない作業は危険ですので、絶対に行わないでください。

 この機械はお客様が危険な箇所に触らないよう設計されています。危険な箇所はカバーなどで保護されていますので、ネジで固定されているパネルやカバーなどは、絶対に開けないでください。感電やケガの原因となるおそれがあります

 次のようなときにはただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、当社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因となるおそれがあります。

- ・ 機械から発煙したり、機械の外側が異常に熱くなったとき
- ・ 異常な音やにおいがするとき
- ・ 電源コードが傷ついたり、破損したとき
- ・ ブレーカーやヒューズなど部屋の安全装置が働いたとき
- ・ 機械の内部に水が入ったとき
- ・ 機械が水をかぶったとき
- ・ 機械の部品に損傷があったとき

 機械の隙間や通気口に物を入れないでください。また、以下のものは、機械の上に置かないでください。

- ・ 花瓶やコーヒーカップなどの液体の入ったもの
- ・ クリップやホチキスの針などの金属類
- ・ 重いもの

液体がこぼれたり、金属類が隙間から入り込むと機械内部がショートし、火災や感電の原因となるおそれがあります。

 機械の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。

 付属の CD-ROM を CD-ROM 対応プレーヤー以外では絶対に使用しないでください。大音響により耳に障害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。

注意

 機械に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。

特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。

 機械の安全スイッチを無効にしないでください。機械の安全スイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。機械が作動状態になる場合があり、ケガや感電の原因となるおそれがあります。

 書籍などの厚手の原稿をスキャンするとき、原稿を強く押さえないでください。原稿ガラスが割れてケガの原因となるおそれがあります。

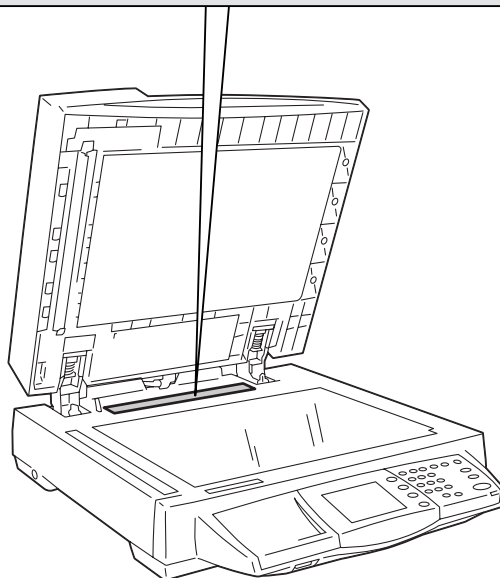
 原稿カバーを開けたまま原稿を読み取るとき、ランプ光を見つめないでください。目の疲れや痛みの原因となるおそれがあります。

警告および注意ラベルの貼り付け位置

機械に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。

特に「高圧注意」「高温注意」を促すラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。

⚠ 주의	광원을 보지 마십시오. 눈의 피로 또는 통증의 원인이 될 수 있습니다.	⚠ 注意	請勿直視曝光燈光源，以免造成眼睛疲勞及傷害眼睛。
⚠ CAUTION	Do not stare at light. It may cause discomfort or irritation to your eyes.	⚠ 注意	請勿直視曝光燈光源，以免造成眼睛疲勞及傷害眼睛。
⚠ 注意	ランプの光を見つめないでください。目の疲れや痛みの原因となることがあります。		



規制について

●電磁波障害対策自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。

この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

法律上の注意事項

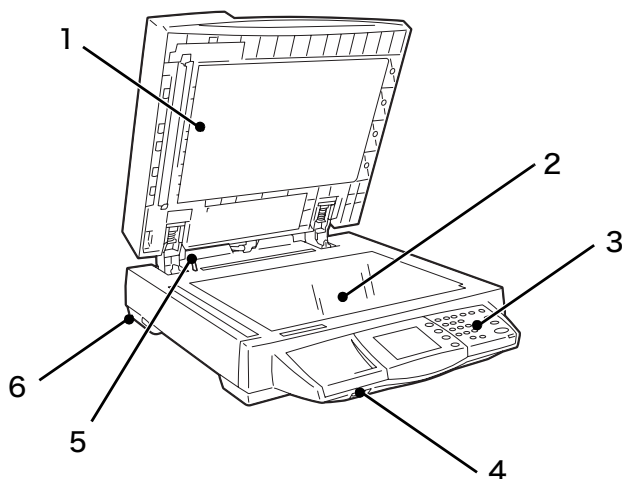
1. 本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。
 - ❑ 紙幣（外国紙幣を含む）、国債証券、地方債証券、郵便為替証券、郵便切手、印紙。
これらは、本物と偽って使用する意図がなくても、本物と紛らわしいものを作ること自体が犯罪になります。
 - ❑ 株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉荷証券、クーポン券、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券・車券の当たり券などの有価証券。
2. 次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。
 - ❑ 各種の証明書類など、公務員または役所を作成名義人とする文書・図画。
 - ❑ 契約書、遺産分割協議書など私人を名義人とする権利義務に関する文書。
 - ❑ 推薦状、履歴書、あいさつ状など、私人を名義人とする事実証明に関する文書。
 - ❑ 役所または公務員の印影、署名、記名。
 - ❑ 私人の印影または署名。
3. 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図画、版画、図面、地図、写真、映像、映画、音楽、コンピュータプログラムなどの著作物は、権利者の許諾なく、次の行為はできません。
 - (1) 複製 紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、磁気テープに記録した映像や音楽をダビングすること、電子的に読み取った著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータをプリンターで出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど。
 - (2) 改変 紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを切除、書き換え、切り貼りすることなど。
 - (3) 送信 電子的に読み取った著作物のデータを、公衆の電気通信回線（インターネットを含む）を通じてファクシミリや電子メールで送信すること、ホームページへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを搭載することなど。

権利者の許諾なく複製・改変・送信したときは、使用の差止、損害賠償の請求、刑事罰を受けることがあります。ただし、次の場合は例外的に権利者の許諾なく著作物を複製することができます。

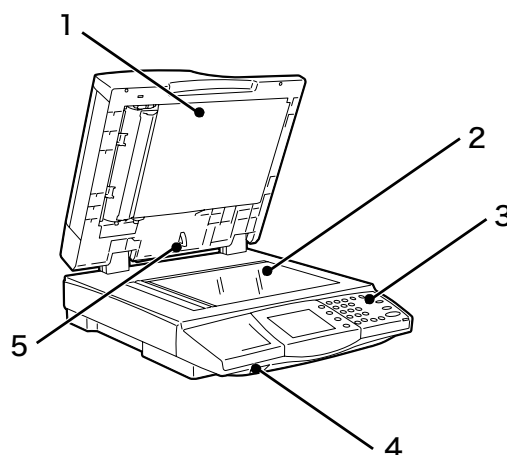
- ❑ 個人的または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的とした複製。
- ❑ 国立図書館、私立図書館、学校附属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等における複製。
- ❑ 公正な慣行に合致し、報道・批評・研究など、目的に照らして、正当な範囲内での引用。
- ❑ 国または地方公共団体が発行する公報資料・調査統計資料・報告書の新聞・雑誌・その他刊行物への転載。
ただし、複製禁止の表示がある著作物は除かれます。
- ❑ 学校教科書への掲載。
ただし、権利者への補償金が必要です。
- ❑ 学校その他教育機関における複製。
ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不当に害しない範囲内に限ります。
- ❑ 試験問題としての複製。
ただし、権利者への補償金が必要です。

各部のなまえ

● 前面



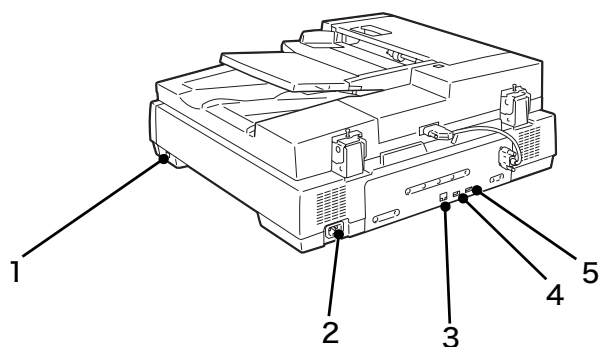
DocuScan C4260



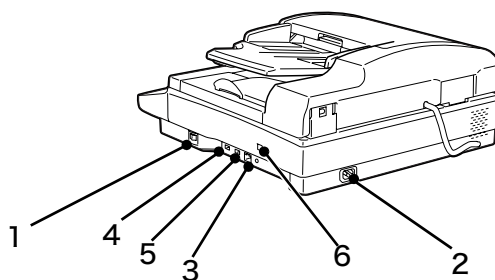
DocuScan C3210

No.	名称	説明
1	原稿カバー	原稿を押さえます。
2	原稿ガラス	原稿をセットします。
3	操作パネル	操作に必要なボタン、ランプ、タッチパネルディスプレイがあります。
4	USB コネクター	USB フラッシュメモリーを接続します。 ・ このスキャナーの USB インターフェイスは、USB2.0 (Hi-Speed) に対応しています。 ・ USB ハブは接続できません。
5	原稿カバー開閉センサー	セットされた原稿のサイズを検知します。
6	キャリッジロック (DocuScan C4260)	キャリッジ (読み取りヘッド) を固定 / 解除するスイッチです。固定 (ロック) すると、移動中の振動からキャリッジを保護できます。

●右側面部および背面



DocuScan C4260



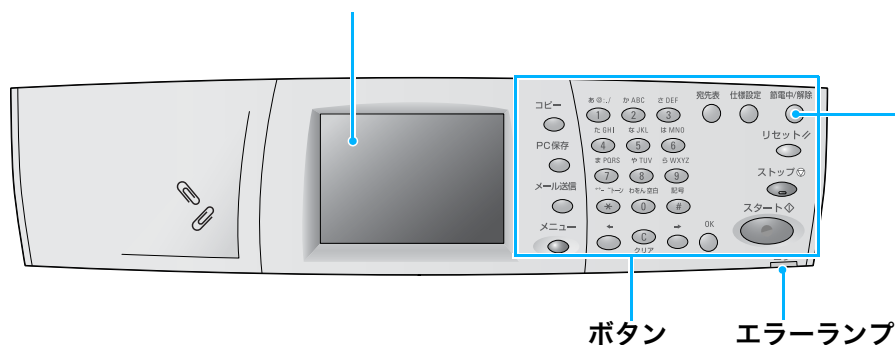
DocuScan C3210

No.	名称	説明
1	電源スイッチ	機械の電源を入 / 切るスイッチです。 入れる：  切る： 
2	電源コードコネクター	電源コードを接続します。
3	ネットワークコネクター	ネットワークケーブルを接続します。 ・このスキャナーの Ethernet（イーサネット）インターフェイスは、100BASE-TX/10BASE-T に対応しています。
4、5	USB コネクター	プリンターと接続する USB ケーブルを接続します。 ・このスキャナーの USB インターフェイスは、USB2.0 (Hi-Speed) に対応しています。 ・USB ハブは接続できません。
6	キャリッジロック (DocuScan C3210)	キャリッジ（読み取りヘッド）を固定 / 解除するスイッチです。固定（ロック）すると、移動中の振動からキャリッジを保護できます。

●タッチパネルディスプレイ

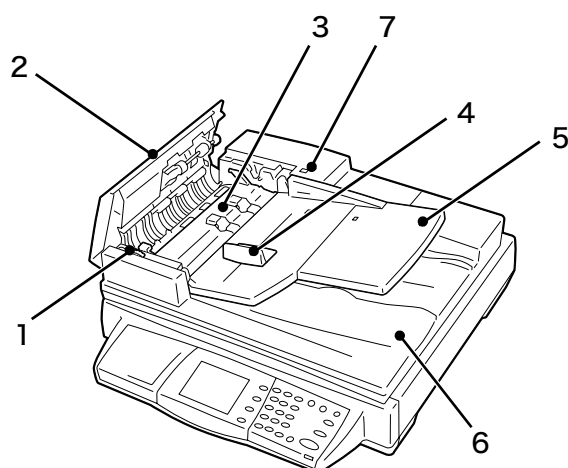
タッチパネルディスプレイ

操作に必要なメッセージや各機能のボタンが表示されます。
 直接触れて、画面の指示や機能の設定をします。

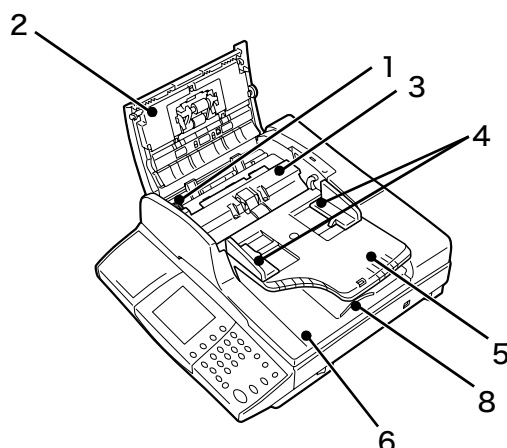


〈節電中 / 解除〉は、ボタンとランプの機能を持っています。節電モードになると、操作パネルは、このランプだけが点灯します。

●自動原稿送り装置



DocuScan C4260

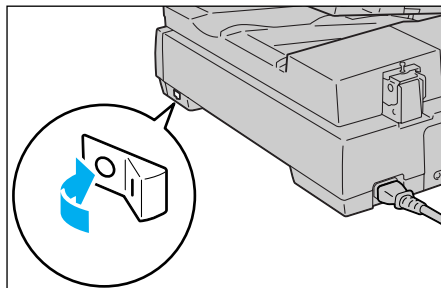


DocuScan C3210

No.	名称	説明
1	ノブ	原稿づまりを処置するときに回します。
2	左側カバー	原稿づまりを処置するときに開けます。
3	内カバー	原稿づまりを処置するときに開けます。
4	原稿ガイド	原稿の端をそろえるガイドです。
5	原稿送りトレイ	原稿をセットします。
6	原稿受け	原稿が排出されます。
7	原稿検知ランプ (DocuScan C4260 のみ)	原稿が正しくセットされるとランプが点灯します。
8	延長ガイド (DocuScan C3210 のみ)	長い原稿が排出されるときに引き出します。

電源切り時のお願い

通常の操作時に電源を切るときは、タッチパネルディスプレイのメッセージやランプの状態
で、スキャナーが処理中でないことを確認してください。



注記

- スキャン中は、電源を切らないでください。
スキャン中に電源を切ると、スキャナーの中に残っているスキャンデータや、スキャナーのメモリーに蓄えられた情報は消去されます。

節電モードについて

スキャナーは、待機しているときの電力の消費を抑えるために、節電モードを備えています。工場出荷時は、10 分間操作しない状態が続くと、節電モードに移行する設定になっています。

節電モードになると、〈節電中 / 解除〉ボタンだけが点灯し、他のランプは消灯します。タッチパネルディスプレイも消灯し、何も表示されません。

節電モードに切り替わるまでの時間は、1 ～ 60 分の間で設定できます。節電モード時の消費電力は、9W 以下で、節電モードからスキャンできる状態になるまでの時間は、約 12 秒です。

ポイント

- 節電モードに移行しないように設定したり、節電モードに切り替わる時間を長くしたりできます。
節電モードの詳細および設定の変更手順 → 『ユーザーズガイド』「7.4 共通設定」の「システム時計 / タイマー設定」

節電モードを解除するには

節電モードを解除するには、操作パネルの〈節電中 / 解除〉ボタンを押します。



1

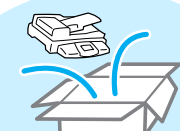
スキヤナーの設置

お使いになる前に、スキヤナー側で必要な作業を説明しています。

設置の流れ（スキャナーでの作業）

スキャナーが届いたら・・・

スキャナーを
箱から出す



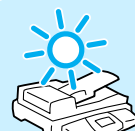
→23 ページ

キャリッジロックを
解除する



→24 ページ

電源を入れる



→25 ページ

スキャナーで何がしたいですか？

できること
→2 ページ

コンピューターに
保存したい



PC保存

メールに添付して
送信したい



メール送信

紙にコピー
したい



コピー

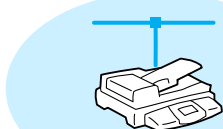
USB フラッシュ
メモリーに保存したい



メディア保存

やりたいことによって、準備が違います

ネットワークに接続する

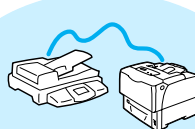


→26 ページ

続いて、コンピューター
を使って準備します

準備 →32 ページ

プリンターと接続する



→29 ページ

ここで準備終了
【コピー】できます

原稿のセット →54 ページ
コピーのしかた →82 ページ

ここで準備終了
【メディア保存】できます

原稿のセット →54 ページ
スキャンのしかた →71 ページ

はじめてお使いになるとき

スキャナーを箱から出す

- ① 箱の中のものが、すべてそろっていることを確認します。

- ・ スキャナー本体
- ・ 電源コード
- ・ USB ケーブル（長さ：200cm）
- ・ セットアップ & クイックリファレンスガイド（本書）
- ・ 「Software Pack」 CD-ROM
- ・ オンラインユーザー登録カード
- ・ 保守連絡先カード
- ・ 保証書（梱包箱に貼られています。）
- ・ 操作パネル用シール
- ・ DocuWorks（1 ライセンス）

- ② スキャナーを箱から取り出し、設置場所に移動します。

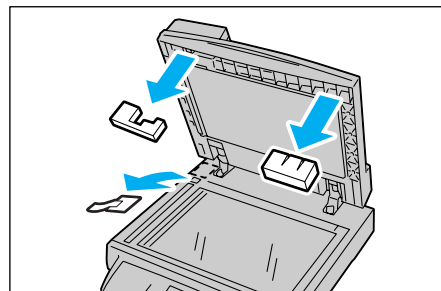
注記

- DocuScan C4260 の場合は、必ず2人以上で、機械の左右に立ち、左右両側の下方にあるくぼみを両手でしっかり持って、箱から取り出してください。
- 操作パネル部分を持たないでください。

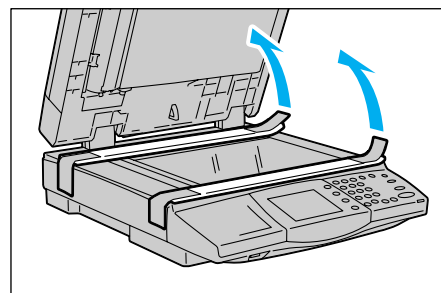
ポイント

- 緩衝材は、スキャナーを移動するときに必要です。なくさずに保管しておいてください。
- 移転など、スキャナーを長距離移動する可能性がある場合は、梱包材や箱を保管してください。

- ③ 梱包箱から取り出したスキャナーは、開閉部がテープで留められています。開閉部のテープと緩衝材を取り外します。



DocuScan C4260



DocuScan C3210

スキャナーの移動方法 → 『ユーザーズガイド』「10.3 スキャナーを移動するときは」

設置場所についての注意と条件

設置場所は次の事項、および「設置時の注意」（12 ページ）に記載されている注意と条件を守ってください。

- ・ 温度 10 ～ 32 °C 湿度 15 ～ 85%（結露がないこと）
- ・ 温度が 32 °C のときは湿度 70% 以下、湿度が 85% のときは温度 28 °C 以下でお使いください。
- ・ 直射日光の当たる場所には機械を置かないでください。
- ・ エアコン、ヒーターの風が直接当たる場所に設置しないでください。
- ・ 冷え切った部屋を暖房器具などで急激に暖めたり、湿度や温度が低いところから高いところへスキャナーを移動した場合は、スキャナー内部に水滴が付着し（結露）、部分的にスキャンまたはコピーできないことがあります。

はじめてお使いになるとき

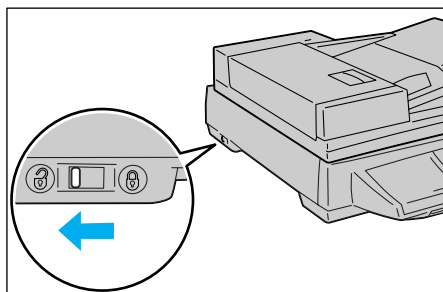
キャリッジロックを解除する

出荷時にはキャリッジがロックされています。設置場所に移動したら、ご使用前に、キャリッジロックを解除してください。

キャリッジロックについて → 17 ページ

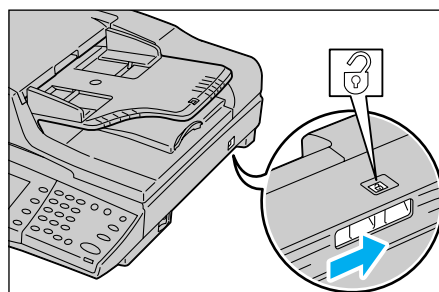
● DocuScan C4260 の場合

左側面にあるキャリッジロックを解除マーク側（背面方向）にスライドさせて、ロックを解除します。



● DocuScan C3210 の場合

キャリッジロックは、右側面のロックマーク（固定マーク）の下部裏側にあります。キャリッジロックを解除マーク側（背面方向）にスライドさせて、ロックを解除します。



注記

- キャリッジロックを解除しないで電源を入ると、「062-360」エラーが発生します。その場合は、いったん電源を切り、キャリッジロックを解除してから、電源を入れ直してください。

はじめてお使いになるとき

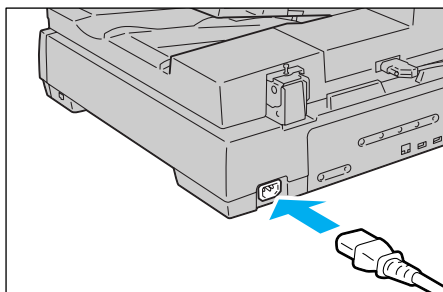
電源を入れる

電源コードを接続する場合は、「電源およびアース接続時の注意」(11 ページ) に記載されている警告、および注意を守ってください。

ポイント

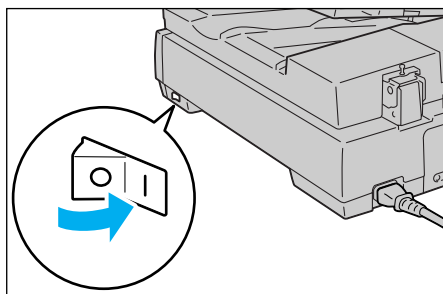
本製品は、電源プラグがコンセントに差し込まれていても、電源スイッチが切れた状態では電力の消費はありません。

- 1 電源コードを、スキャナー背面の電源コードコネクタに接続します。



- 2 電源コードの他方に付いているアース線を、電源コンセントに接続します。そのあとで、電源プラグを差し込みます。

- 3 スキャナーの電源スイッチの〈I〉側を押します。



電源が入り、起動画面が表示されます。

次は

【メディア保存】の場合は、これで USB フラッシュメモリーに保存できます。

原稿のセット → 54 ページ

【メディア保存】の使い方 → 71 ページ

【PC 保存】 / 【メール送信】の場合は、次にネットワークに接続します。

ネットワークへの接続 → 26 ページ

【コピー】の場合は、次にプリンターと接続します。

プリンターとの接続 → 29 ページ

【PC 保存】 / 【メール送信】 をする前に

ネットワークに接続する



PC保存



メール送信

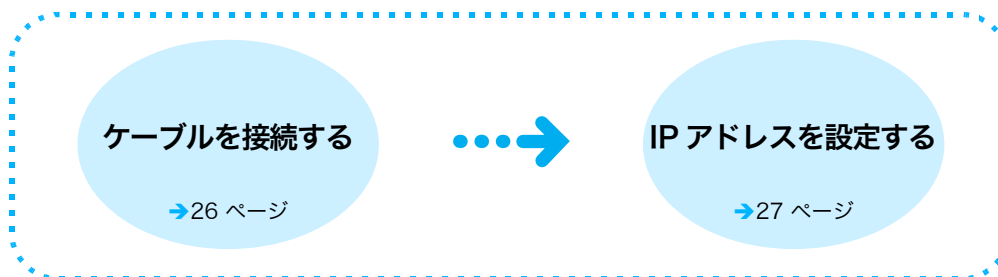
スキャンデータをコンピューターに保存したり（【PC 保存】）、メールに添付して送信したり（【メール送信】）する場合は、ネットワークケーブルで、スキャナーをネットワークに接続します。

ネットワークケーブルを用意してください。

ポイント

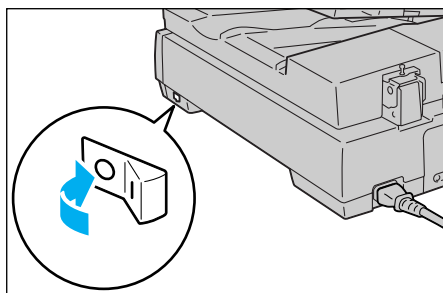
- 本機は、100BASE-TX と 10BASE-T に対応しています。ご利用のネットワーク環境に応じたケーブルを用意してください。

ネットワークに接続する作業は、次の流れで行います。

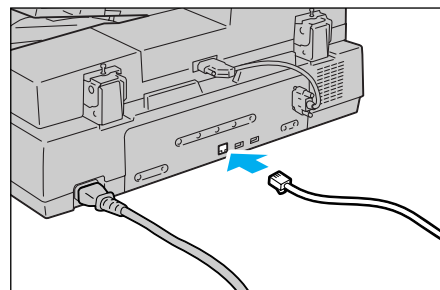


ケーブルを接続する

- 1 スキャナーの電源が入っている場合は、電源スイッチの〈○〉側を押して、電源を切ります。



- 2 ネットワークコネクタに、ネットワークケーブルを接続します。



ポイント

- DocuScan C3210 の場合、ネットワークコネクタの位置は、スキャナーの右側面です。
- 3 ケーブルの他方をネットワークに接続します。

IP アドレスを設定する

工場出荷時は、[IP アドレスの取得方法] が [DHCP/Autonet] に設定されています。そのため、DHCP サーバーがあるネットワーク環境では、スキャナーをネットワークにケーブル接続するだけで、自動的にスキャナーに IP アドレスが設定されます。

DHCP サーバーがない、または使用しない場合は、次の手順で、操作パネルから IP アドレスを設定してください。

ポイント

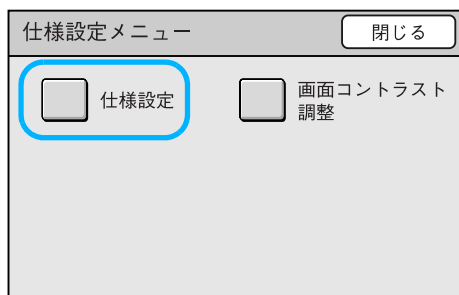
- IP アドレスがわからない場合は、システム管理者にご相談ください。

- 1 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。

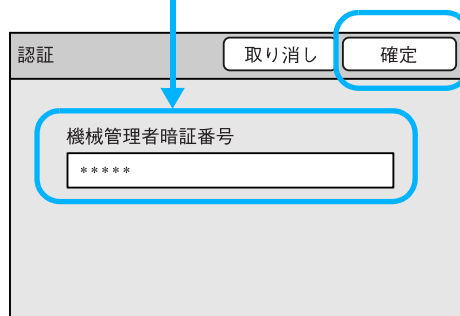
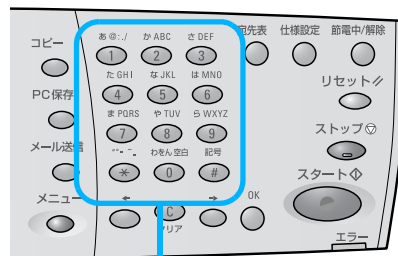


タッチパネルディスプレイに [仕様設定メニュー] 画面が表示されます。

- 2 [仕様設定] を押します。

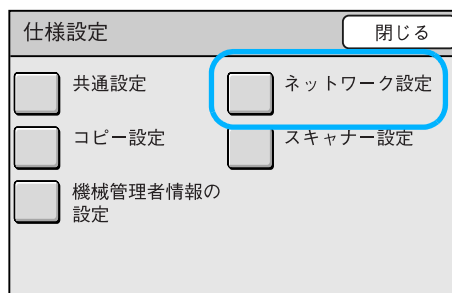


- 3 数字ボタンを押して、機械管理者暗証番号を入力し、[確定] を押します。

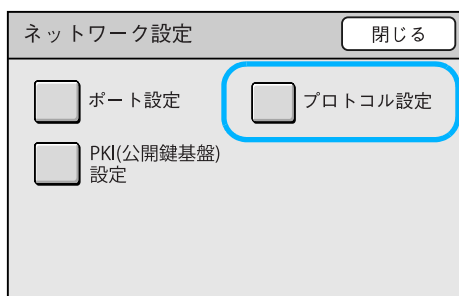


- 機械管理者暗証番号の工場出荷時の初期値は「11111」です。

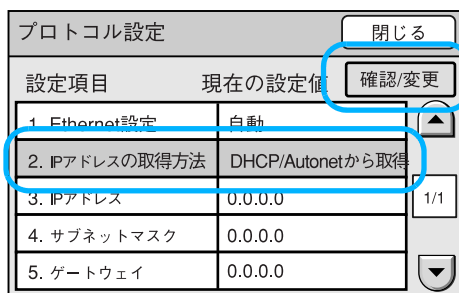
- 4 [ネットワーク設定] を押します。



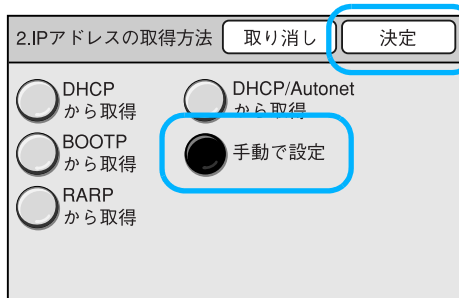
- 5 [プロトコル設定] を押します。



- 6 [2. IP アドレスの取得方法] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

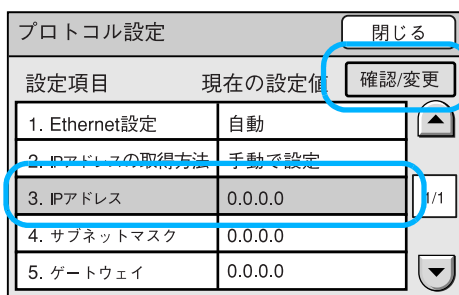


- 7 [手動で設定] を選択し、[決定] を押します。

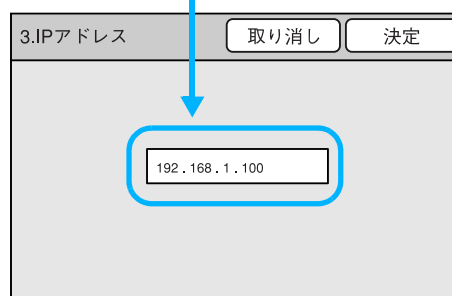
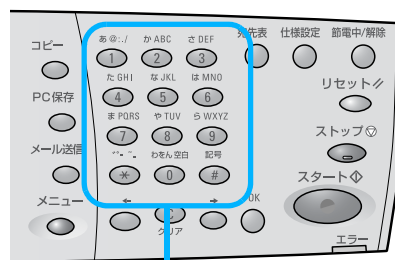


[プロトコル設定] 画面に戻ります。

- 8 [3. IP アドレス] を選択し、[確認 / 変更] を押します。



- 9 数字ボタンを使って、アドレスを XXX.XXX.XXX.XXX の形式で入力し、[決定] を押します。xxx は 0～255 までの数値です。



- 10 必要に応じて、サブネットマスク、ゲートウェイも同様に設定します。

- 11 [電源の切り / 入り] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。

- 12 スキャナーの電源を切り、入れ直します。

- 電源を入れ直すときは、電源を切って、タッチパネルディスプレイの表示が消えるのを確認してから、電源を入れてください。

次は

【PC 保存】、【メール送信】の場合は、このあとコンピューターでスキャンの準備を行います。

スキャンの準備 → 32 ページ

【コピー】をする前に

プリンターと接続する



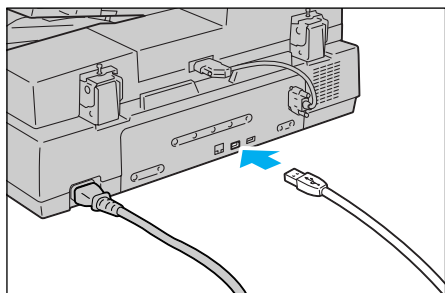
プリンターと接続して【コピー】を使用する場合は、スキャナーとプリンターを USB ケーブルで接続します。なお、スキャナーに接続できるプリンターは、1 台だけです。

注記

- USB ケーブルをスキャナーに接続する際、スキャナー背面の USB コネクタを使用してください。スキャナー前面の USB コネクタは使用しないでください。
- USB インターフェイスは、USB2.0 (Hi-Speed) に対応しています。プリンター側の USB ポートが USB1.1 の場合、動作は保証できません。
- プリンターと接続して【コピー】を使用するには、プリンターのファームウェアが、スキャナーに対応している必要があります。
接続して使用できるプリンターの機種、および対応ファームウェアの情報は、当社ホームページで確認してください。
URL : <http://www.fujixerox.co.jp/>

1 プリンターの電源が切れていることを確認します。

2 USB ケーブルを、スキャナーの USB コネクタのどちらかに接続します。その際、USB コネクタに正しく入るように、USB ケーブルの上下の向きを確認してください。



3 USB ケーブルの他方を、プリンターの USB コネクタ (USB2.0 Hi-Speed 対応) に接続します。

- プリンターの USB コネクタについては、お使いのプリンターに付属の取扱説明書を参照してください。

4 プリンターの電源を入れます。

次は

これで、接続したプリンターからコピーできます。

原稿のセット → 54 ページ

【コピー】の使い方 → 82 ページ

2

スキヤンの準備

【PC 保存】 / 【メール送信】をする前に

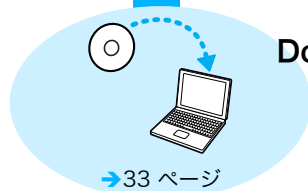
保存先やメール環境の設定、宛先の登録など、スキヤンの前にあらかじめコンピューターで準備しておくことを説明しています。

- 本書は、Windows をお使いの場合を例に説明しています。
Mac OS X 10.3/10.4 をお使いの場合は、「Mac OS X 10.3/10.4 をお使いの場合」
(48 ページ) を参照してください。

準備の流れ（コンピューターでの作業）

ネットワークに接続したら・・・

ネットワークへの接続 → 26 ページ



DocuScan マネージャーをインストールする

→ 33 ページ



コンピューターに
保存したい

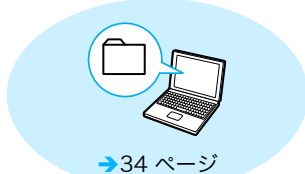
PC保存



メールに添付して
送信したい

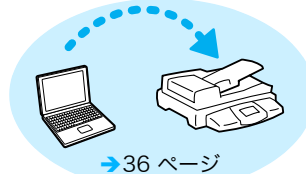
メール送信

PC 保存の準備をする



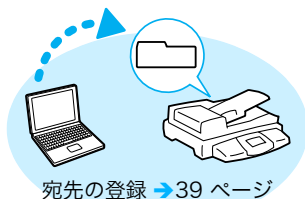
→ 34 ページ

メール送信の準備をする



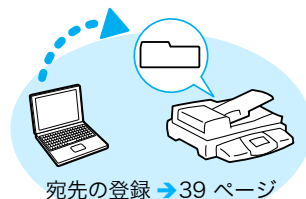
→ 36 ページ

DocuScan マネージャーで
宛先（保存先）を登録する



宛先の登録 → 39 ページ

DocuScan マネージャーで
宛先（送信先）を登録する



宛先の登録 → 39 ページ

これで準備完了
【PC 保存】できます

原稿のセット → 54 ページ
PC 保存のしかた → 61 ページ

これで準備完了
【メール送信】できます

原稿のセット → 54 ページ
メール送信のしかた → 65 ページ

DocuScan マネージャーをインストールする



PC保存



メール送信

スキャナーに同梱されている「Software Pack」CD-ROM から、「DocuScan マネージャー」をインストールします。

DocuScan マネージャーは、宛先の登録や、保存された画像ファイルを編集するためのソフトウェアです。

スキャンしたデータをコンピュータに保存したり、メールに添付して送信したりするときには、「宛先」（保存先や送信先）を指定します。

宛先は、スキャナーとネットワーク接続しているコンピュータから、DocuScan マネージャーを使って、あらかじめスキャナー内の「宛先表」に登録しておきます。スキャンするときには、タッチパネルディスプレイで宛先を選択するだけで、指定できます。

ポイント

- 宛先は、スキャンするときに、操作パネルの数字ボタンで入力することもできます。

注記

- スキャナーとネットワーク経由で接続されたコンピュータに、インストールしてください。

- 1 Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP/Windows Vista の場合は、Administrators グループメンバーのユーザー、または Administrator でログオンします。

- 2 スキャナーに同梱されている「Software Pack」CD-ROM を、コンピュータのCD-ROM ドライブにセットします。

自動的に、「Software Pack」の画面が表示されます。

- 自動的に画面が表示されない場合は、Windows の [スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行] を選択し、「E:\Install.exe」を設定して [OK] をクリックします。「E:\Install.exe」の「E」は、お使いの CD-ROM ドライブにあわせて読み替えてください。
- Windows Vista をお使いの場合、ユーザーアクセス制御のダイアログボックスが表示されたときは、[続行] をクリックして操作を続行してください。

- 3 [DocuScan マネージャーのインストール] をクリックします。



- 4 画面の指示に従って、DocuScan マネージャーをインストールします。

次は

次は、【PC 保存】の場合、【メール送信】の場合、それぞれに分かれて準備作業を行います。

PC 保存の場合 → 34 ページ

メール送信の場合 → 36 ページ

PC 保存の準備をする



PC保存

DocuScan マネージャーをインストールしたコンピュータに、スキャンデータを保存するための準備をします。

【PC 保存】を使う場合、スキャンデータを保存するフォルダーを、あらかじめコンピュータに作成する必要があります。

次に、DocuScan マネージャーを使って、スキャナー内に宛先を登録します。
本書では、DocuScan マネージャーを使って宛先を登録するときに「かんたん設定モード」を使います。

ポイント

- 【PC 保存】を使うためには、事前に保存先フォルダーを共有設定する必要がありますが、かんたん設定モードを使うと、次の操作が自動的に行われ、スキャン前の準備が簡単になります。
 - ・ 保存先フォルダーの共有設定
 - ・ 保存先フォルダーを使用できるユーザーアカウントの作成

注記

- 保存先が Windows XP Home Edition の場合は、かんたん設定モードは利用できません。
かんたん設定モードを使わないときは → 47 ページ
- かんたん設定モードを使用するときは、Windows NT 4.0、Windows 2000/XP、Windows Vista の場合、Administrators または Power Users グループのユーザーでログオンして作業してください。
- パーソナルファイアウォール系ソフトウェア、ウイルス対策ソフトウェアなどをお使いの場合、設定によっては、スキャナーに接続できないことがあります。スキャナーが使用するポートをブロックしないように設定してください。使用するポートについては、システム管理者に確認してください。

保存先フォルダーを作成する

スキャンデータを保存するフォルダーを、お使いのコンピュータに作成します。
ここでは、例として、D ドライブに新規フォルダーを作成し、「ScanData」という名前を付けることにします。

- 1 Windows 上で、[新規作成] > [フォルダ] を選択して、「新しいフォルダ」を作成し、「ScanData」と名前を設定します。



このフォルダーのパスは、「D:\ScanData」になります。

次は

Windows XP Professional をお使いの場合は 35 ページへ

その他の場合は、DocuScan マネージャーを使って、宛先を登録します。

宛先の登録 → 39 ページ

● Windows XP Professional だけに必要な準備

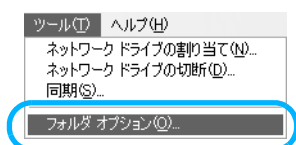
保存先が Windows XP Professional の場合、宛先を登録する前に、次の設定を行ってください。

- 1 作成した保存先フォルダーのアイコンをダブルクリックします。



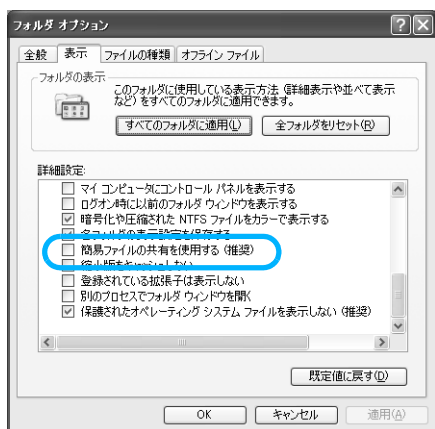
フォルダーが開きます。

- 2 [ツール] メニューから [フォルダオプション] を選択します。



[フォルダオプション] ダイアログボックスが表示されます。

- 3 [表示] タブで、[簡易ファイルの共有を使用する (推奨)] のチェックを外し、[OK] をクリックします。



次は

次は、DocuScan マネージャーを使って、宛先を登録します。

宛先の登録 → 39 ページ

メール送信の準備をする

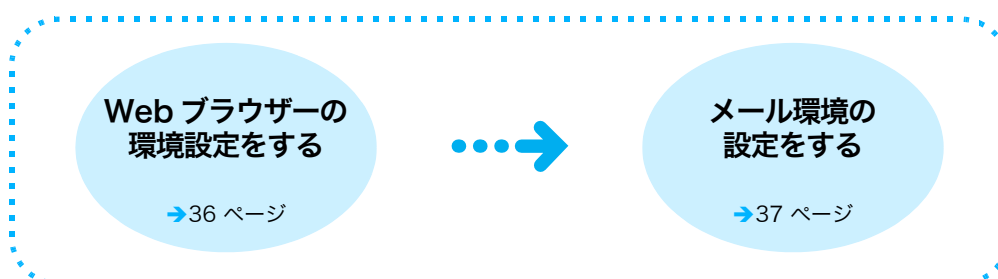


【メール送信】を使うには、スキャナーのメール環境の設定が必要です。
メール環境の設定には、CentreWare Internet Services を使います。

ポイント

- CentreWare Internet Services は、Web ブラウザーを使用して、スキャナーの状態やジョブの履歴を表示したり、ネットワーク設定などを変更したりするためのサービスです。
CentreWare Internet Services の詳細 → CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ

メール環境の設定は、次の流れで行います。



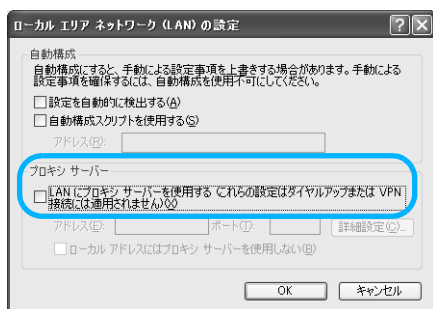
Web ブラウザーの環境設定をする

CentreWare Internet Services を使用する前に、使用する Web ブラウザーで、プロキシサーバーを使わない設定にします。

ポイント

- CentreWare Internet Services は、次のブラウザーで動作することを確認しています。
Windows 2000、Windows XP の場合
・ Microsoft Internet Explorer 6、7
・ Mozilla Firefox 2
Mac OS X 10.4 の場合
・ Mozilla Firefox 2
・ Safari 2
- ここでは、Internet Explorer 7 の場合を例に説明します。お使いのブラウザーに読み替えて設定してください。

- 1 Internet Explorer の [ツール] メニューから、[インターネットオプション] を選択します。
- 2 [接続] タブで、[LAN の設定] をクリックします。
- 3 [プロキシサーバー] を、次のどちらかに設定します。
 - ・ [LAN にプロキシサーバーを使用する] のチェックを外す
 - ・ [LAN にプロキシサーバーを使用する] のチェックを付けて、[詳細設定] をクリックし、[例外] にスキャナーの IP アドレスを設定して、[OK] をクリックする



- 4 [OK] をクリックします。
- 5 [インターネットオプション] ダイアログボックスで、[OK] をクリックします。

● JavaScript を有効にする

- 1 Internet Explorer の [ツール] メニューから、[インターネットオプション] を選択します。
- 2 [セキュリティ] タブで [イントラネット] (使用環境によっては [ローカルインターネット]) を選択し、[レベルのカスタマイズ] をクリックします。
- 3 [スクリプト] の下にある [アクティブスクリプト] で、[有効にする] を選択します。
- 4 [OK] をクリックします。
- 5 [インターネットオプション] ダイアログボックスで、[OK] をクリックします。

メール環境の設定をする

Web ブラウザーの準備ができれば、CentreWare Internet Services でメール環境を設定します。

- 1 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、スキャナーの IP アドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。

・ IP アドレスの入力例



ポイント

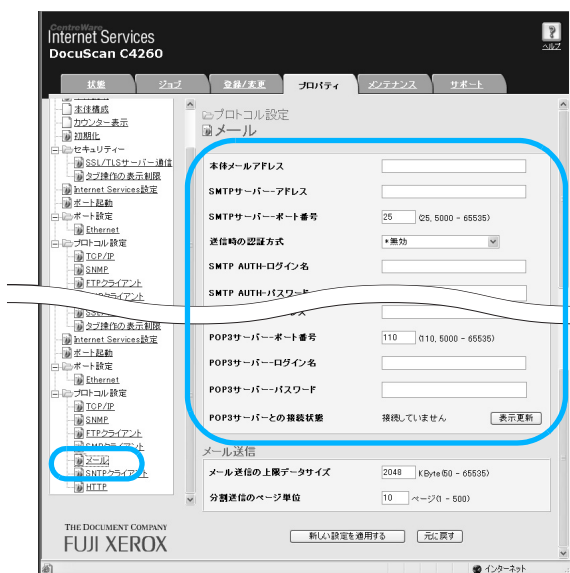
- スキャナーの IP アドレスは、スキャナーの操作パネルで [プロトコル設定] 画面 (28 ページの手順 6 の画面) を表示すると確認できます。

CentreWare Internet Services のトップページが表示されます。



CentreWare Internet Services に接続できない
→ 102 ページ (Q36)

- 2 [プロパティ] タブの [プロトコル設定] にある [メール] で、送信メールサーバーなどのメール環境を設定します。



- 各項目の詳細は、画面右上にある  ([ヘルプ]) ボタンをクリックして、当社ホームページ上のオンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプを表示するには、Web ブラウザーを起動しているコンピューターがインターネットに接続できる必要があります。
- 設定する値がわからないときは、システム管理者にご相談ください。

ポイント

- [本体メールアドレス] に設定するメールアドレスは、スキャナーから送信されるメールの「From:」に記載されます。エラー時には、このメールアドレスにメールサーバーからメールが送られます。この項目には、スキャナーの機械管理者のメールアドレスなどの、受信できるメールアドレスを設定してください。
- このスキャナーは、メールを受信できません。
- SMTP サーバー、POP3 サーバーを FQDN 形式 (例: server.example.com) で設定するには、DNS サーバーの設定が必要です。設定は、CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] で行います。

次は

次は、DocuScan マネージャーを使って、宛先を登録します。

宛先の登録 → 39 ページ

宛先を登録する



PC保存



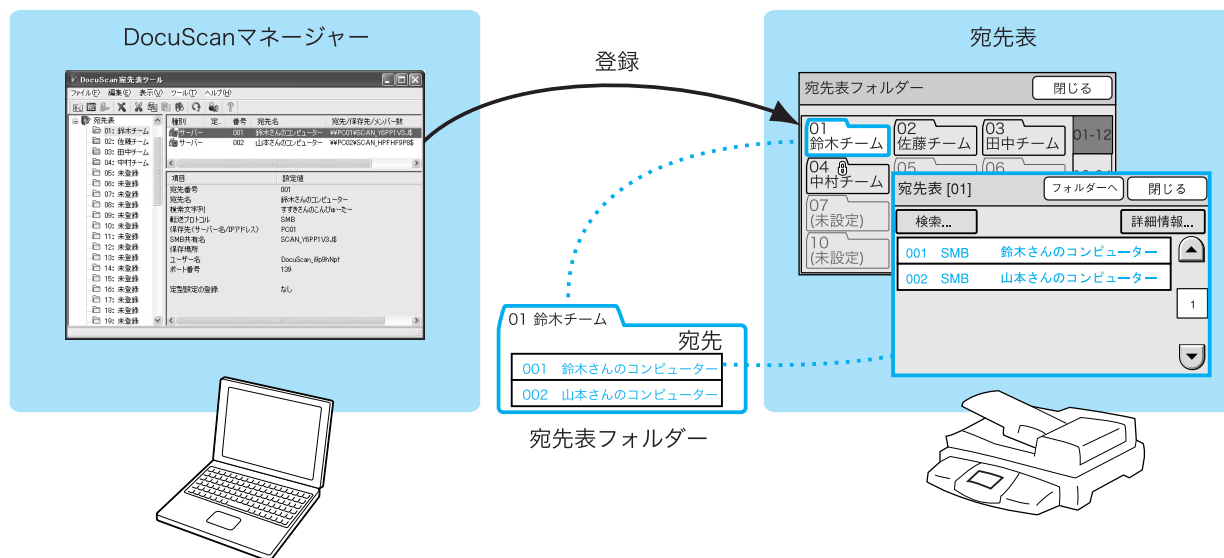
メール送信

スキャナーとネットワーク接続しているコンピュータから、DocuScan マネージャーを使って、スキャナー内の宛先表に宛先（保存先や送信先）を登録します。

●宛先表フォルダーと宛先

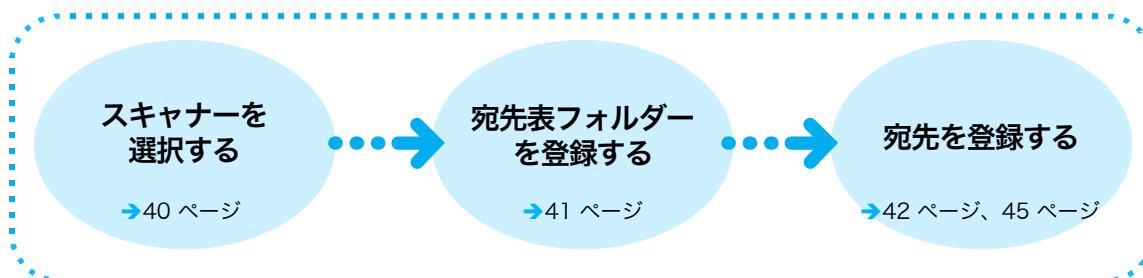
まず、宛先表に「宛先表フォルダー」を登録します。宛先表フォルダーは、宛先を分類する働きをします。ユーザー別や用途別など目的にあわせて登録できます。

宛先表フォルダーを登録したら、次に、宛先表フォルダーに宛先を登録します。



DocuScan マネージャーの詳しい操作方法 → 『ユーザーズガイド』「8 DocuScan マネージャーを使用する」、DocuScan マネージャーのオンラインヘルプ

DocuScan マネージャーからの宛先の登録は、次の流れで行います。



注記

- 宛先の新規登録、追加登録を行った場合は、宛先表のバックアップをとることをお勧めします。宛先表のバックアップは、操作パネルまたは DocuScan マネージャーから行えます。操作方法は、『ユーザーズガイド』「7.4 共通設定」の「保守 / 診断」、または DocuScan マネージャーのオンラインヘルプを参照してください。

ポイント

- 本書では、【PC 保存】の宛先と、【メール送信】の個人宛の宛先の、2 種類の登録方法を説明します。宛先には、ほかに【メール送信】のグループ宛の宛先と、【メディア保存】の宛先の 2 種類があります。これらの登録方法は、『ユーザーズガイド』「8.2 宛先を登録する」を参照してください。
- 宛先の登録は、CentreWare Internet Services で行うこともできます。詳しくは → CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ

スキャナーを選択する

宛先表フォルダーや宛先は、スキャナー内の宛先表に登録します。

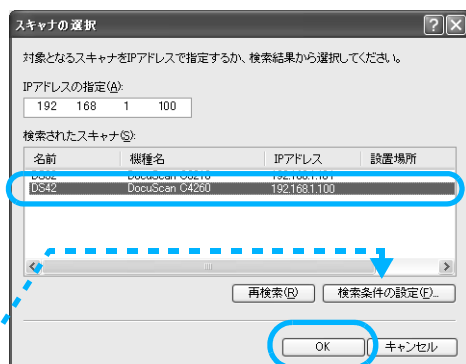
DocuScan マネージャーからスキャナーに接続するには、まずスキャナーを選択します。

スキャナー選択の操作は、はじめて DocuScan マネージャーの宛先表ツールを起動する場合や、接続先のスキャナーを変更する場合に行います。

- 1 [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] > [Fuji Xerox] > [DocuScan マネージャー] > [DocuScan 宛先表ツール] を選択します。

[スキャナを選択] ダイアログボックスが表示されます。

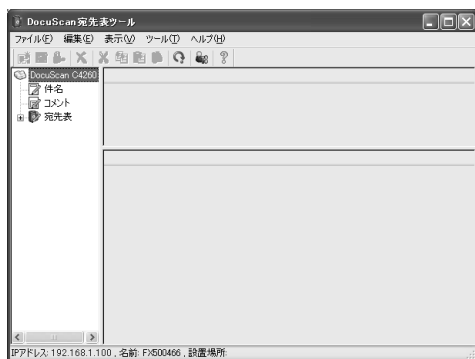
- 2 使用するスキャナーを、[検索されたスキャナ] から選択し、[OK] をクリックします。



[検索されたスキャナ] にスキャナーが表示されない場合は、[検索条件の設定] をクリックして、検索するサブネットやタイムアウト時間などを変更します。または、スキャナーの IP アドレスを [IP アドレスの指定] に入力します。

スキャナーに接続できない → 101 ページ (Q34)

スキャナーに接続され、[DocuScan 宛先表ツール] ウィンドウが表示されます。



次は

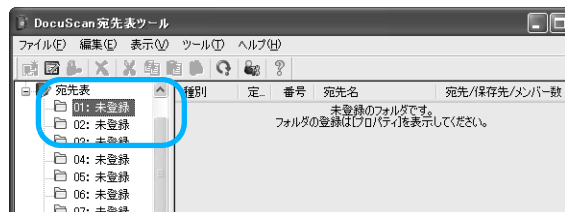
次は、宛先表フォルダーを登録します。
宛先表フォルダーの登録 → 41 ページ

宛先表フォルダーを登録する

宛先を登録する宛先表フォルダーを登録します。

ここでは、例として「鈴木チーム」という名前の宛先表フォルダーを登録することになります。

- 1 [DocuScan 宛先表ツール] ウィンドウのツリービューで、[宛先表] 中の未登録フォルダーを選択します。

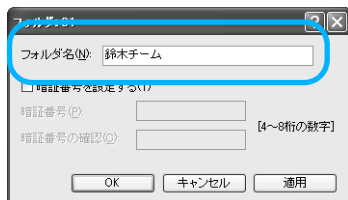


- [ヘルプ] メニューから DocuScan マネージャーのオンラインヘルプを表示できます。

- 2 [ファイル] メニューから [プロパティ] を選択するか、またはツールバーの  (プロパティ) をクリックします。

フォルダーのプロパティダイアログボックスが表示されます。

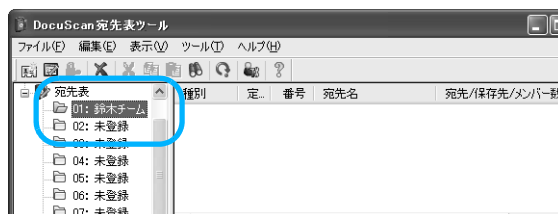
- 3 [フォルダ名] に、宛先表フォルダーの名前を「鈴木チーム」と入力します。



- 8 文字以内の全角文字、または 16 文字以内の半角文字で入力します。
- 暗証番号を設定する場合は、[暗証番号を設定する] にチェックを付けて、暗証番号を入力します。設定できる文字は、4 ～ 8 文字の半角数字です。設定すると、宛先表フォルダーを開くときに、暗証番号の入力が必要になります。設定した暗証番号を忘れたときには → 103 ページ (Q42)

- 4 [OK] をクリックします。

ツリービューのフォルダーアイコンの色が変わり、フォルダー名が表示されます。



次は

これで、宛先表フォルダー「鈴木チーム」が登録できました。

次に、この中に宛先を登録します。

PC 保存で使う宛先の登録 → 42 ページ
メール送信で使う宛先の登録 → 45 ページ

コンピューターに保存するときの宛先を登録する 【PC 保存】



DocuScan マネージャーを使って、スキャンデータをコンピューターに保存するための宛先を登録します。

ここでは、例として「鈴木さんのコンピューター」という宛先を登録することにします。

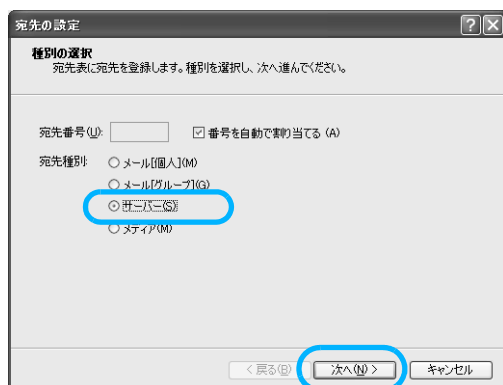
- 1 [DocuScan 宛先表ツール] ウィンドウのツリービューで、宛先を登録する宛先表フォルダーを選択します。



- 2 [ファイル] メニューから [宛先の新規作成] を選択するか、またはツールバーの [宛先の新規作成] をクリックします。

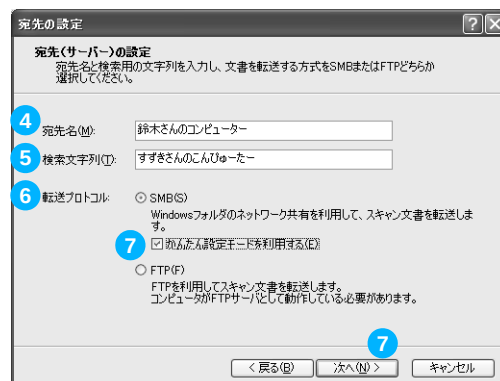
宛先の設定ウィザードが開始します。

- 3 [宛先種別] の [サーバー] を選択し、[次へ] をクリックします。



「宛先（サーバー）の設定」ダイアログボックスが表示されます。

- 4 [宛先名] に、登録する宛先の名前を「鈴木さんのコンピューター」と入力します。



- 16 文字以内の全角文字、または 32 文字以内の半角文字で入力します。

- 5 [宛先名] のふりがなが、自動的に [検索文字列] に入力されるので、必要に応じて変更します。

- 16 文字以内の全角文字、または 32 文字以内の半角文字で入力します。

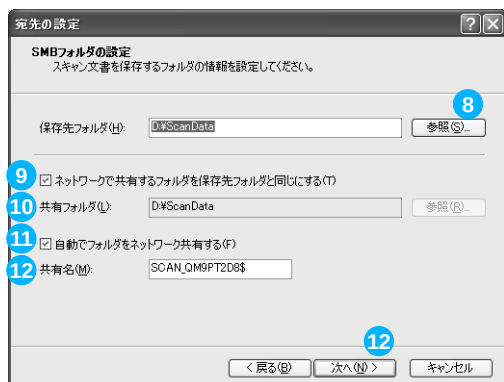
- 6 [転送プロトコル] で、[SMB] が選択されていることを確認します。

- 7 [かんたん設定モードを利用する] に、チェックが付いていることを確認し、[次へ] をクリックします。

- Windows Vista の場合、[次へ] をクリックしたときに、ユーザーアクセス制御のダイアログボックスが表示されます。[続行] をクリックして操作を続行してください。

[SMB フォルダの設定] ダイアログボックスが表示されます。

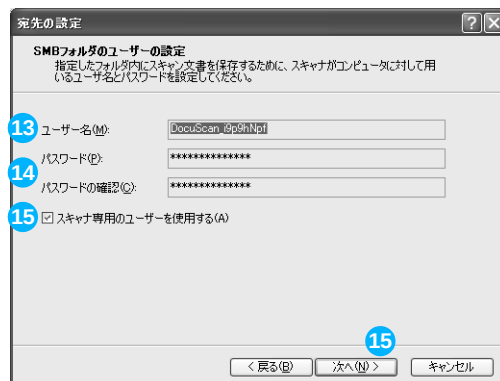
- 8 [保存先フォルダ] の [参照] をクリックして、34 ページで作成した保存先フォルダー (D:¥ScanData) を選択します。このフォルダーに、スキャンデータが保存されます。



- 9 [ネットワークで共有するフォルダを保存先フォルダと同じにする] に、チェックが付いていることを確認します。
- 10 [共有フォルダ] に、[保存先フォルダ] で設定したパス (「D:¥ScanData」) が、自動的に入力されていることを確認します。
- 11 [自動でフォルダをネットワーク共有する] に、チェックが付いていることを確認します。
- 12 [共有名] が、自動的に入力されていることを確認し、[次へ] をクリックします。

[SMB フォルダのユーザーの設定] ダイアログボックスが表示されます。

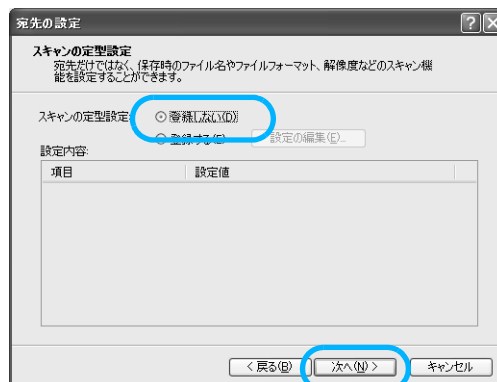
- 13 [ユーザー名] が自動的に入力されていることを確認します。



- 14 [パスワード] と [パスワードの確認] に、ランダムに生成されたパスワードが自動的に入力されていることを確認します。
- 15 [スキャナ専用のユーザーを使用する] に、チェックが付いていることを確認し、[次へ] をクリックします。

[スキャンの定型設定] ダイアログボックスが表示されます。

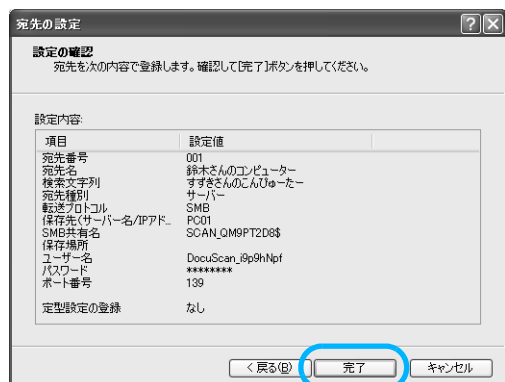
- 16 ここでは、[登録しない] を選択して [次へ] をクリックします。



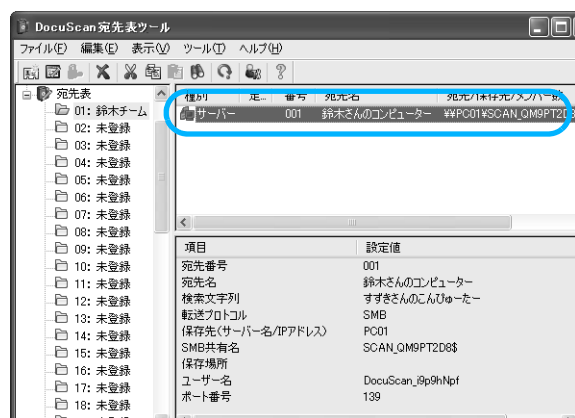
- [登録する] を選択すると、[スキャンの定型設定] が設定できます。→49 ページ

[設定の確認] ダイアログボックスが表示されます。

17 設定内容を確認して、[完了] をクリックします。



[宛先表ツール] ウィンドウに、登録した宛先が表示されます。



また、34 ページで作成した保存先フォルダーが共有設定されます。



この例の場合、スキャナーで PC 保存するとき、宛先表フォルダー「鈴木チーム」内の、宛先「鈴木さんのコンピューター」を選択すると、スキャンデータが「D:¥ScanData」に保存されます。

ポイント

- 手順 8 で設定した保存先フォルダーが、[DocuScan マネージャー] ウィンドウに追加されます。
[DocuScan マネージャー] ウィンドウは、[スタート] メニューから、[すべてのプログラム] > [Fuji Xerox] > [DocuScan マネージャー] > [DocuScan マネージャー] を選択すると表示されます。



[DocuScan マネージャー] ウィンドウでは、複数のフォルダーやファイルを表示できるので、まとめて複数のファイルの画像編集ができます。

詳しくは → DocuScan マネージャーのオンラインヘルプ

次は

これで、準備は完了です。
【PC 保存】を使って、スキャン
できます。

原稿のセット → 54 ページ

スキャンのしかた → 61 ページ

メールで送信するときの宛先を登録する

【メール送信】



メール送信

【メール送信】の宛先の種別には、次の 2 種類があります。

- メール（個人）
- メール（グループ）

DocuScan マネージャーを使って、メール送信するための宛先「メール（個人）」を登録します。

メール（グループ）の登録方法 → 『ユーザーズガイド』「8.2 宛先を登録する」の「メール送信で使用する宛先「メール（グループ）」を登録する」

ここでは、例として「鈴木太郎」という宛先を登録することにします。

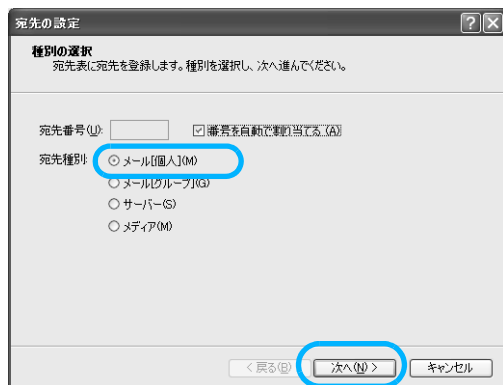
- 1 [DocuScan 宛先表ツール] ウィンドウのツリービューで、宛先を登録する宛先表フォルダーを選択します。



- 2 [ファイル] メニューから [宛先の新規作成] を選択するか、またはツールバーの （宛先の新規作成）をクリックします。

宛先の設定ウィザードが開始します。

- 3 [宛先種別] の [メール [個人]] を選択し、[次へ] をクリックします。



「宛先（メールアドレス）の設定」ダイアログボックスが表示されます。

- 4 [宛先名] に、登録する宛先の名前を「鈴木太郎」と入力します。



- 16 文字以内の全角文字、または 32 文字以内の半角文字で入力します。

- 5 [宛先名] のふりがなが、自動的に [検索文字列] に入力されるので、必要に応じて変更します。

- 16 文字以内の全角文字、または 32 文字以内の半角文字で入力します。

- 6 [メールアドレス] に、送信先のメールアドレスを入力します。

- 64 文字以内の半角文字で入力します。

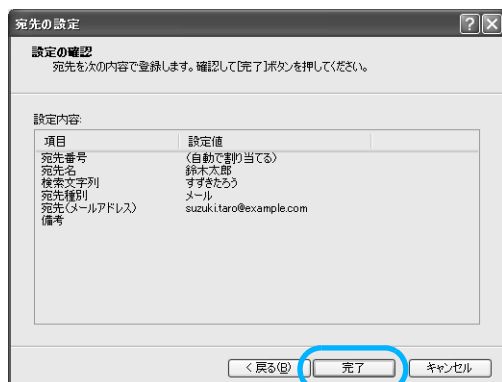
- 7 [備考] には、会社名や部署名など、登録する宛先の補足情報を入力し、[次へ] をクリックします。

- 16 文字以内の全角文字、または 32 文字以内の半角文字で入力します。

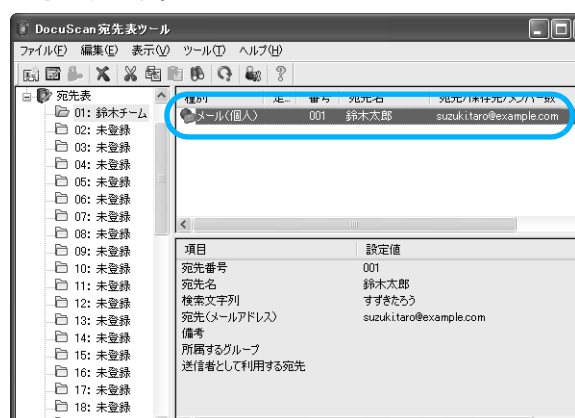
- この項目の設定は、省略できます。

【設定の確認】ダイアログボックスが表示されます。

- 8 設定内容を確認して、[完了] をクリックします。



「宛先表ツール」ウィンドウに、登録した宛先が表示されます。



この例の場合、スキャナーでメール送信するときに、宛先表フォルダー「鈴木チーム」内の、宛先「鈴木太郎」を選択すると、スキャンデータが「suzuki.taro@example.com」宛に送信されます。

次は

これで、準備は完了です。
【メール送信】を使って、スキャン
できます。

原稿のセット → 54 ページ

スキャンのしかた → 65 ページ

こんなときの準備は



本書では、PC 保存の準備として DocuScan マネージャーのかんたん設定モードを使って宛先を登録しましたが、次の場合には、かんたん設定モード以外の方法で、宛先を登録します。

● Windows XP Home Edition をお使いの場合

Windows XP Home Edition の場合、かんたん設定モードを使用できません。

コンピューターのサーバー名や保存場所などを指定して、宛先を登録します。

詳しくは、『ユーザーズガイド』を参照してください。

- Windows XP Home Edition 以外の場合でも、サーバー名や保存場所などを指定して宛先を登録したいときは、この方法で登録します。

保存先フォルダーの作成と共有設定 → 『ユーザーズガイド』「1.6 PC 保存の環境を設定する」の「SMB の場合の共有フォルダーの作成」

宛先表フォルダーの登録 → 本書の 41 ページ

宛先の登録 → 『ユーザーズガイド』「8.2 宛先を登録する」の「PC 保存で使用する宛先「サーバー」を登録する」

宛先登録時の設定項目 → 本書の「宛先の登録に必要な設定項目」(48 ページ)、または『ユーザーズガイド』「5.1 宛先表の概要」

● FTP サーバーに保存する場合

FTP サーバーに保存する場合、FTP サーバー（保存先コンピューター）に、保存先フォルダーを作成したあと、FTP サーバーのサーバー名や保存場所などを指定して、宛先を登録します。詳しくは、『ユーザーズガイド』を参照してください。

保存先フォルダーの作成 → 各オペレーティングシステム（OS）のオンラインヘルプを参照してください。

宛先表フォルダーの登録 → 本書の 41 ページ

宛先の登録 → 『ユーザーズガイド』「8.2 宛先を登録する」の「PC 保存で使用する宛先「サーバー」を登録する」

宛先登録時の設定項目 → 本書の「宛先の登録に必要な設定項目」(48 ページ)、または『ユーザーズガイド』「5.1 宛先表の概要」

● Mac OS X 10.3/10.4 をお使いの場合

Mac OS X 10.3/10.4 の場合、OS 側で必要な設定があります。

また、宛先表への宛先表フォルダーの登録や、宛先の登録は、CentreWare Internet Services で行います。

『ユーザーズガイド』や CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照して、必要な設定や、宛先の登録を行ってください。

ポイント

- DocuScan マネージャーは、Mac OS X 10.3/10.4 には、対応していません。

必要な設定 → 『ユーザーズガイド』「1.6 PC 保存の環境を設定する」の「Mac OS X に保存するための設定」

保存先フォルダーの作成 → Mac ヘルプ

宛先表フォルダー / 宛先の登録 → CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ

宛先の登録に必要な設定項目

かんたん設定モードを使わないで宛先を登録するときの設定項目は、次のとおりです。

各項目の詳細 → 『ユーザーズガイド』「5.1 宛先表の概要」

設定項目		入力例
サーバー名 / IP アドレス	コンピューター名、または IP アドレス	myhost myhost.example.com 192.168.1.1
SMB 共有名 (FTP のときは、表示されません。)	34 ページで作成した共有フォルダー名	例) ScanData
保存場所	SMB の場合： 共有フォルダー内のフォルダー名 (共有フォルダー直下に保存する場合は、省略できます。) FTP の場合： 保存先フォルダー名 (ログインしたフォルダー直下に保存する場合は、省略できます。)	SMB の例) SMBscan¥SubFolder FTP の例) FTPscan/SubFolder
ユーザー名	保存先コンピューターおよびフォルダーに、スキャナーがログインするときのユーザー名	わからないときは、システム管理者にご相談ください。
パスワード	上記の [ユーザー名] に設定したユーザーのパスワード	
パスワードの確認	パスワードを再入力	
ポート番号	(通常は変更しません)	_____

注記

- FTP の場合、FTP サーバーが Mac OS X のときは、保存場所やファイル名に全角文字は使用できません。

いつも使う設定を保存する



読み取り解像度や出力ファイル形式など、操作パネルから行うスキャン条件の設定を、あらかじめ宛先に登録できます。この設定を「スキャンの定型設定」といいます。

スキャンの定型設定の登録は、DocuScan マネージャーで宛先を登録するときに行います。
宛先の登録 → 42 ページ

ポイント

スキャンの定型設定を設定できる宛先は、次のとおりです。

- ・PC 保存の宛先「サーバー」
- ・メール送信の宛先「メール（グループ）」
- ・メディア保存の宛先「メディア」

メール送信の宛先「メール（個人）」には、設定できません。

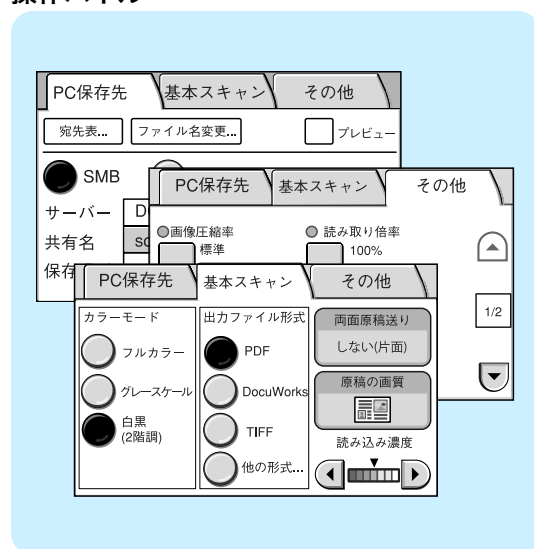
スキャンの定型設定を登録すると、宛先を選択するだけで、同時にスキャン条件も設定できます。

たとえば、「スキャンデータを、いつも自分のコンピュータに DocuWorks 文書形式で保存している」といった場合、スキャンの定型設定で出力ファイル形式に DocuWorks 文書形式を選択して、宛先に登録しておきます。こうすると、スキャン時の出力ファイル形式の指定操作が必要なくなります。

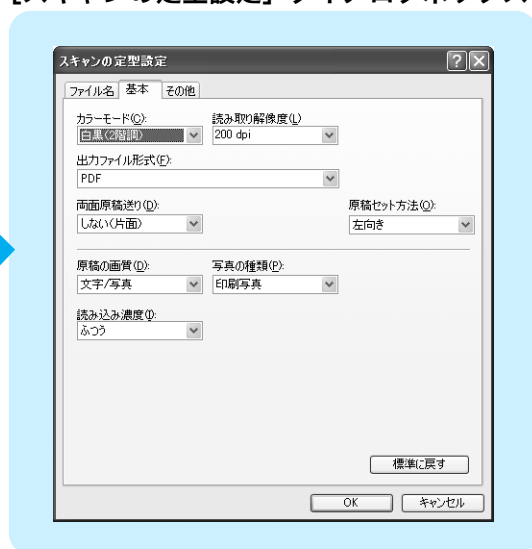
●【スキャンの定型設定】ダイアログボックス

スキャンの定型設定を行う【スキャンの定型設定】ダイアログボックスには、操作パネルのスキャン画面と同じ、スキャン条件に関する設定項目が表示されます。

操作パネル



【スキャンの定型設定】ダイアログボックス



【スキャンの定型設定】ダイアログボックスについての詳細 → DocuScan マネージャーのオンラインヘルプ



原稿セットのしかた

紙の原稿をスキャナーにセットする方法を説明しています。
また、使用してはいけない原稿など、注意事項を説明しています。

使用できる原稿

	機種名	原稿ガラス	自動原稿送り装置
セットできる 原稿サイズ	C4260	[最大] 334.5 × 452.0mm	[最小] 100.0 × 148.0mm [最大] 297.0 × 432.0mm
	C3210	[最大] 220.0 × 300.0mm	[最小] 140.0 × 140.0mm [最大] 215.9 × 355.6mm
読み取り可能エリア	C4260	[最小] 15.0 × 15.0mm [最大] 297.0 × 432.0mm	[最小] 100.0 × 148.0mm [最大] 297.0 × 432.0mm
	C3210	[最小] 15.0 × 15.0mm [最大] 215.9 × 297.0mm	[最小] 140.0 × 140.0mm [最大] 215.9 × 355.6mm
原稿の質量 (メートル坪量*1)	C4260	_____	35 ~ 120g/㎡ (片面原稿) 50 ~ 120g/㎡ (両面原稿*2)
	C3210	_____	60 ~ 105g/㎡ (片面原稿) 60 ~ 105g/㎡ (両面原稿*2)
原稿セット可能枚数		1 枚	50 枚 (普通紙の場合 : 60 ~ 100g/㎡)

*1 メートル坪量とは、1 ㎡の用紙 1 枚の質量をいいます。

*2 両面原稿のおもて面 / うら面両方を読み込ませてスキャンする場合の値です。

●自動検知できる原稿サイズ

このスキャナーは、スキャンするときに原稿サイズを自動で検知します。原稿が次の表の定形サイズの場合、原稿サイズを指定する必要はありません。

機種名	原稿ガラス	自動原稿送り装置
C4260	B5  、B5  、A5  、A5  、A4  、 A4  、8.5 × 11 インチ  、B4  、A3  、 11 × 17 インチ  、B6  、A6 	B5  、B5  、A5  、A5  、 A4  、A4  、B4  、A3 
C3210	B5  、A5  、A5  、A4  、B6  、 A6 	B5  、A5  、A5  、A4 

※ 表は、AB 系の場合の定形原稿サイズです。AB 系（八開 / 十六開）、インチ系の場合の原稿サイズ、およびサイズ検知の切り替えについては、『ユーザズガイド』「7.4 共通設定」の「その他の設定」を参照してください。

使用できない原稿

原稿ガラスの場合

次のような原稿の場合、原稿のサイズを自動検知できずにエラーメッセージが表示されたり、スキャンデータの画像が切れたりすることがあります。

次の方法で対処してください。

原稿	対処方法
非定形サイズの原稿	[その他] 画面の [読み取りサイズ] (スキャン時) または [原稿サイズ入力] (コピー時) で原稿のサイズを指定してください。
光沢のある原稿	
厚みのある原稿 (冊子など)	
透過度が高い原稿 (OHP フィルムなど)	原稿の上に同じサイズの白紙をのせてください。または、[その他] 画面の [読み取りサイズ] (スキャン時) または [原稿サイズ入力] (コピー時) で原稿のサイズを指定してください。
破れ、しわ、穴あき、激しいカーブがある原稿	

「対処方法」の詳しい操作 → 『ユーザーズガイド』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」、「4.6 その他のコピー項目を設定する」

注記

- 多量の水分を含んだ原稿は、セットしないでください。機械内部に水分が入り、機械が故障するおそれがあります。
- 5kg 以上の原稿は、セットしないでください。原稿ガラス、および機械が破損するおそれがあります。
- 写真ホルダーを用いた原稿の場合、フィルムの波打ち状態によっては、正しくスキャンされないことがあります。

自動原稿送り装置の場合

次のような原稿は、原稿づまりや原稿破損の原因になります。原稿ガラスにセットしてください。



折り目、しわ、やぶれた原稿



切り貼り原稿



薄紙



カールした原稿



裏カーボン紙



穴の多い原稿

その他、次の原稿は原稿ガラスにセットしてください。

- ・ 光沢がある原稿 (写真など)
- ・ クリップ、ホチキス、のり付けなどで留めた原稿、付せんがついた原稿
- ・ 厚みがある原稿
- ・ 透過度が高い原稿 (OHP フィルムなど)
- ・ 感熱紙

また、DocuScan C3210 は、ミックスサイズ原稿 (異なるサイズの混在する原稿) を自動原稿送り装置にセットできません。

原稿をセットする

原稿は、原稿ガラスまたは自動原稿送り装置にセットします。

本をスキャンしたい、付せんやクリップがついたままスキャンしたい場合は、原稿ガラスにセットします。

1枚ずつ、ばらばらになっている原稿は、自動原稿送り装置を使うと、まとめてセットできます。

ポイント

- ジョブの途中で原稿の読み取りを追加して行う場合、最初に読み取りを行った位置に、原稿を置いてください。
- ジョブの途中で、原稿ガラスから自動原稿送り装置に、切り替えて読み込ませることはできません。また、自動原稿送り装置から原稿ガラスに、切り替えて読み込ませることもできません。

原稿セットの向きについて

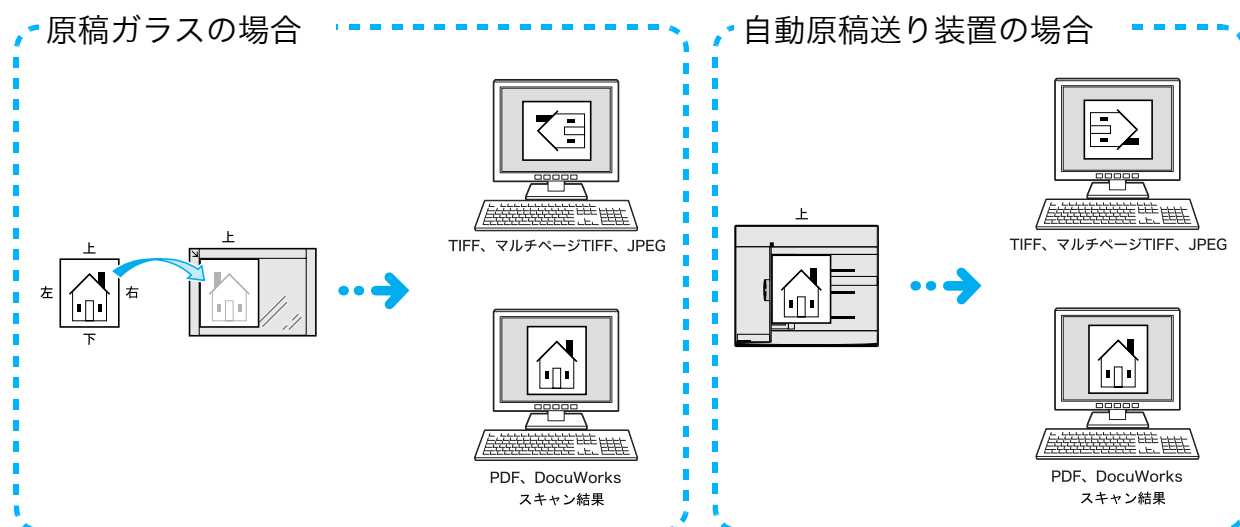
スキャン / コピーするときは、原稿の上部を指示するために、原稿のセット向きを設定する必要があります。

スキャン画面またはコピー画面の［その他］画面にある［原稿セット向き指定］で、［読める向き］、または［左向き］を選択してください。

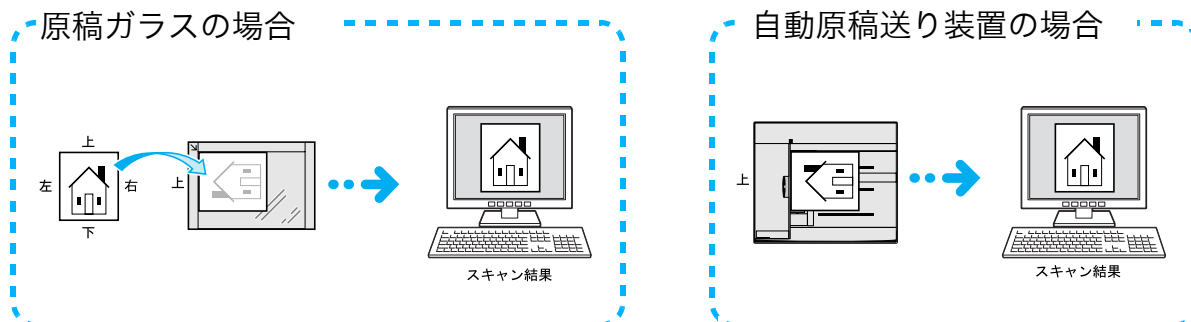
出力ファイル形式が TIFF、マルチページ TIFF、JPEG の場合、通常は原稿を「左向き」にセットしてください。

また、両面原稿を読み込む場合は、［両面原稿送り］（スキャン時）または［両面 / 片面選択］（コピー時）の［原稿セット向き指定］とセットされた原稿の向きが合っているかを確認してください。

読める向き



左向き



詳しい使い方 → 『ユーザーズガイド』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」、「4.6 その他のコピー項目を設定する」

原稿ガラスにセットする

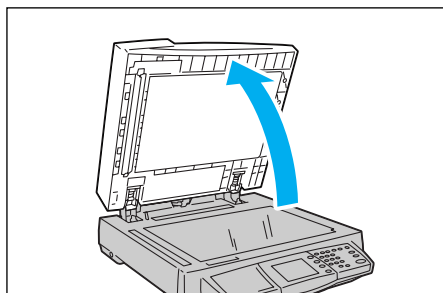
△ 注意

- ・ 書籍などの厚手の原稿をスキャンするとき、原稿を強く押さえないでください。原稿ガラスが割れてケガの原因となるおそれがあります。
- ・ 原稿カバーを開けたまま原稿を読み取るとき、ランプ光を見つめないでください。目の疲れや痛みの原因となるおそれがあります。

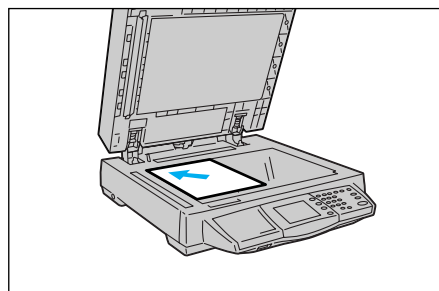
注記

- 節電中、または節電解除中（タッチパネルディスプレイに「お待ちください。」と表示されている状態）は、原稿ガラスにセットした原稿のサイズを検知できません。
- 節電中、または節電解除中に、原稿ガラスでスキャンするときは、〈節電中 / 解除〉ボタンを押して「お待ちください。」という表示が消えてから原稿をセットしてください。
- 原稿カバーは原稿カバー開閉センサーが離れる位置まで開けてください。センサーが一度離れないと、原稿サイズの自動検知機能が働きません。

1 原稿カバーを開けます。



2 スキャンする面を下に向けて、原稿ガラス左奥の角に合わせて原稿をセットします。



- OHP フィルムやトレーシングペーパーなど透過度の高い原稿は、原稿の上に白紙をのせてください。

3 原稿カバーを閉じます。

- 原稿カバーは静かに閉めてください。原稿ガラス破損の原因となるおそれがあります。

自動原稿送り装置にセットする

50 枚以上の原稿をスキャンするときは、50 枚単位で分けてセットしてください。
セットした原稿は、いちばん上から順に送り込まれ、スキャン面を下にして排出されます。

注記

- 原稿ガラス上に原稿を置いたままの状態、自動原稿送り装置からスキャンしないでください。原稿づまりの原因になることがあります。

● DocuScan C4260 の場合

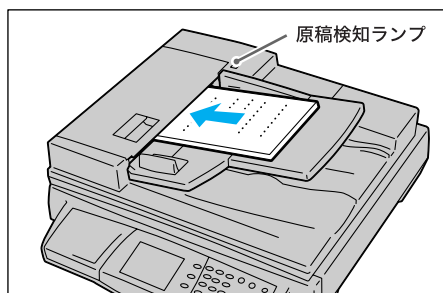
自動原稿送り装置は、100.0 × 148.0mm ～ 297.0 × 432.0mm の範囲の原稿を、50 枚（普通紙：60 ～ 100g/m²）まで、まとめてセットできます。

① 原稿の端をそろえます。

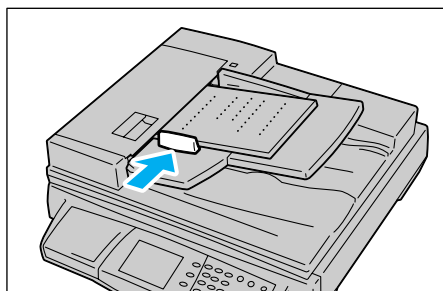
- 原稿をクリップやホチキスで留めている場合は外します。

② スキャンする面（両面原稿の場合はおもて面）を上に向けて、自動原稿送り装置の左奥側に原稿を沿わせて、矢印方向にセットします。

原稿が正しくセットされると、原稿検知ランプが点灯します。



③ 原稿ガイドを移動して、原稿の端に軽く押し当てます。



注記

原稿づまりや原稿破損の原因になるので、次の事項に注意してください。

- 原稿搬送中に原稿を押さえないでください。
- 排出された原稿を原稿受けにためすぎないでください。
- 原稿受けにものを置かないでください。

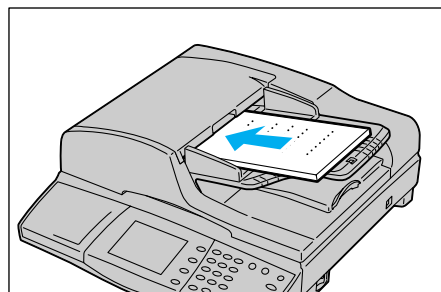
● DocuScan C3210 の場合

自動原稿送り装置は、140.0 × 140.0mm ～ 215.9 × 355.6mm の範囲の原稿を、50 枚（普通紙：60 ～ 100g/m²）まで、まとめてセットできます。

① 原稿の端をそろえます。

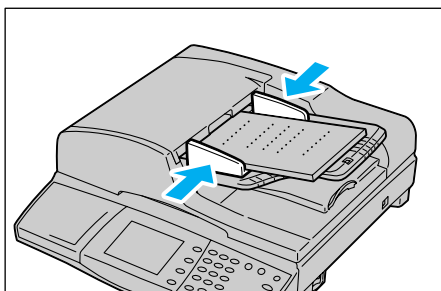
- 原稿をクリップやホチキスで留めている場合は外します。

② スキャンする面（両面原稿の場合はおもて面）を上に向けて、自動原稿送り装置の中央に原稿を沿わせて、矢印方向にセットします。



- 原稿が奥に突き当たるまで、しっかりセットしてください。

- 3 原稿ガイドを移動して、原稿の両端に軽く押し当てます。



注記

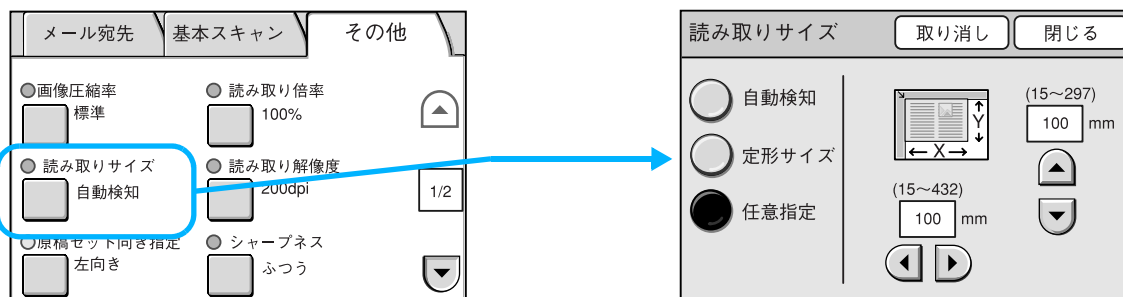
原稿づまりや原稿破損の原因になるので、次の事項に注意してください。

- 原稿搬送中に原稿を押さえないでください。
- 排出された原稿を原稿受けにためすぎないでください。
- 原稿受けにものを置かないでください。

定形サイズでない原稿をセットする

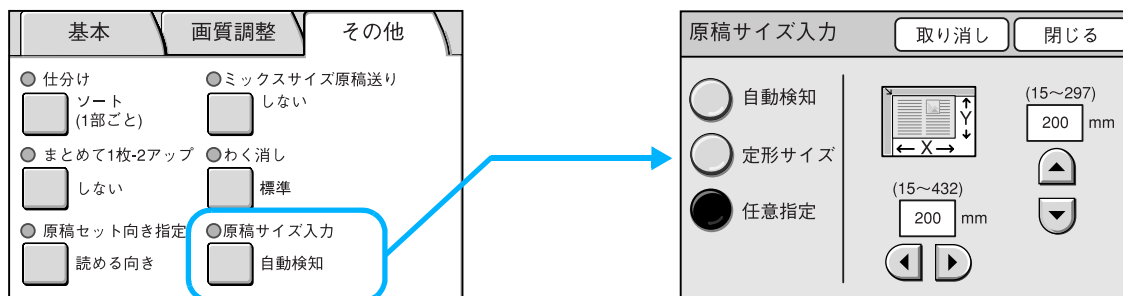
非定形サイズの原稿や、付せんを付けたままの原稿をスキャンしたいときなど、原稿が定形サイズでない場合、[その他] 画面で原稿サイズを設定します。

●スキャンの場合



詳しい使い方 → 『ユーザーズガイド』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」

●コピーの場合

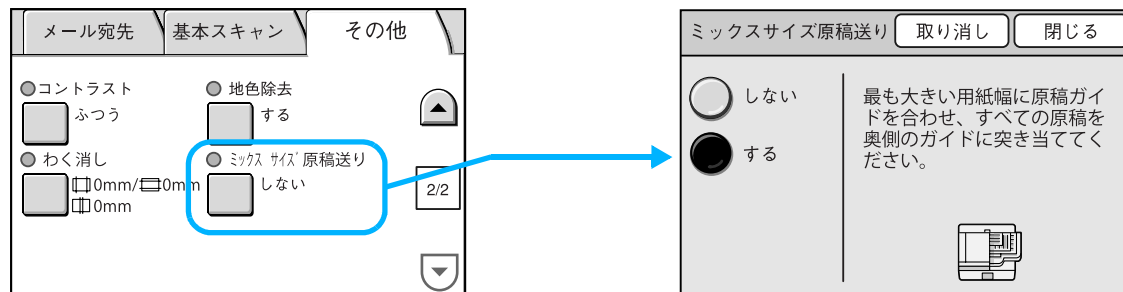


詳しい使い方 → 『ユーザーズガイド』「4.6 その他のコピー項目を設定する」

サイズがいろいろある原稿をセットする (C4260 のみ)

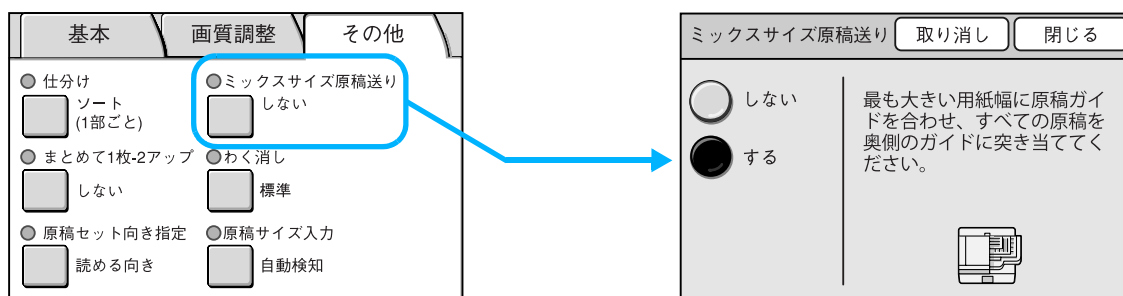
いろいろなサイズの原稿が混在しているときは、[ミックスサイズ原稿送り]を[する]に設定します。

●スキャンの場合



詳しい使い方 → 『ユーザーズガイド』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」

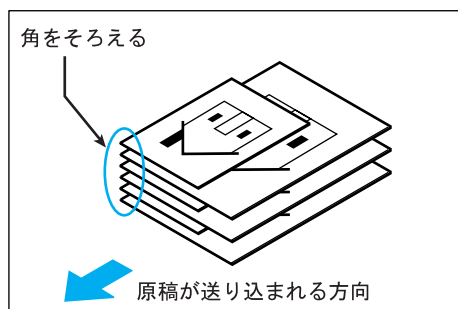
●コピーの場合



詳しい使い方 → 『ユーザーズガイド』「4.6 その他のコピー項目を設定する」

ミックスサイズ原稿を自動原稿送り装置にセットするときは、次の点に注意してください。

- A5 サイズの原稿は、必ずよこ置きにします。
- 原稿は左上の角をそろえます。そろえないと原稿が詰まります。



4

スキヤンのしかた

【PC 保存】 / 【メール送信】 / 【メディア保存】

コンピューターに保存、メールで送信、USB フラッシュメモリーに保存する手順を説明しています。

スキャンデータについて、知っておきたいこと

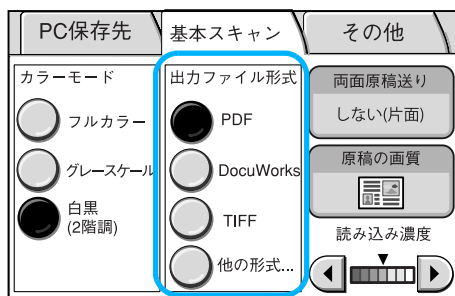
●出力ファイル形式

原稿をスキャンすると、次のいずれかのファイル形式で、保存先コンピューターや USB フラッシュメモリーに保存されるか、またはメールに添付され送信されます。ファイル名は、自動的に設定されますが、指定することもできます。

ファイル名の指定方法 → 97 ページ (Q21)

種類	ファイル形式	拡張子	目的
文書	PDF	.pdf	複数ページに対応。Adobe® Reader® など開きます。PDF (1 ページ 1 ファイル) は、1 ページずつファイルにして、PDF ファイル形式で保存します。
	DocuWorks 文書	.xdw	複数ページに対応。DocuWorks で開きます。DocuWorks (1 ページ 1 ファイル) は、1 ページずつファイルにして、DocuWorks 文書で保存します。
画像	TIFF	.tif	印刷物などに使われます。白黒向き。マルチページ TIFF は、複数ページを 1 ファイルにして、TIFF ファイル形式で保存します。ソフトウェアによっては開けません。DocuScan マネージャーで開けます。
	JPEG	.jpg	Web ブラウザーでも開けます。カラーデータに向いています。

出力ファイル形式は、操作パネルの「基本スキャン」画面で設定できます。



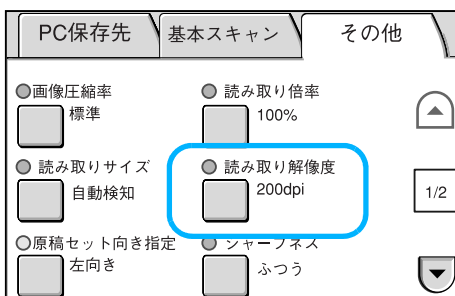
スキャンの設定項目一覧 → 77 ページ

●読み取り解像度

原稿を読み取る際の解像度を設定できます。

200dpi、300dpi、400dpi、600dpi の値から選択するか、任意の解像度を 200 ～ 600dpi の範囲で、1dpi 刻みで指定できます。数値が大きくなるほど、細かく読み取られますが、データ量は大きくなります。データ量が大きいと、読み込みや保存、送信に時間がかかります。

読み取り解像度は、操作パネルの「その他」画面で設定できます。



スキャンの設定項目一覧 → 77 ページ

PC 保存する



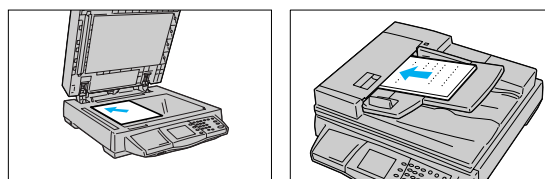
コンピューターに保存するための準備は済んでいますか？

- 保存先フォルダーは作成しましたか → 34 ページ
- DocuScan マネージャーをインストールして、宛先を登録しましたか → 33 ページ、39 ページ

原稿をセットする

① スキャンする原稿をセットします。

原稿のセット方法 → 54 ページ



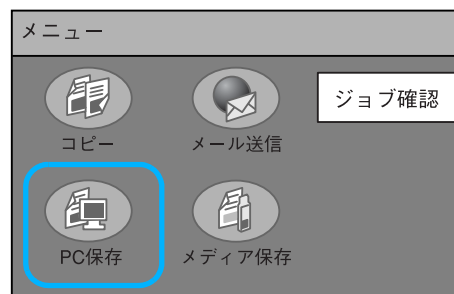
PC 保存画面を表示する

① 操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押します。

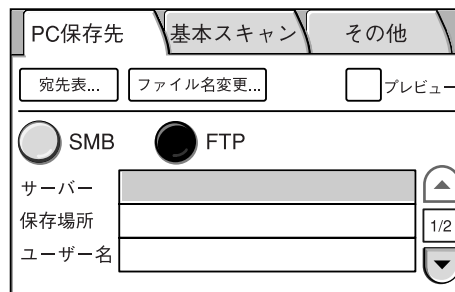


タッチパネルディスプレイに [メニュー] 画面が表示されます。

② [PC 保存] を押します。



[PC 保存先] 画面が表示されます。

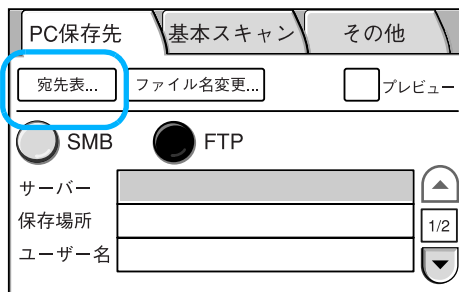


暗証番号を入力する画面が表示されたら
→ 92 ページ (Q4)

宛先を選択する

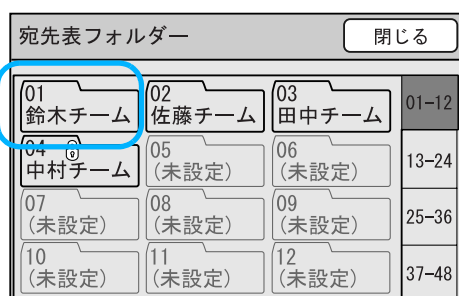
「宛先を登録する」(39 ページ) で登録した宛先を選択します。

- ① [宛先表...] または操作パネルの〈宛先表〉ボタンを押します。



[宛先表フォルダー] 画面が表示されます。

- ② 指定したいPC保存先が登録されている宛先表フォルダーを選択します。

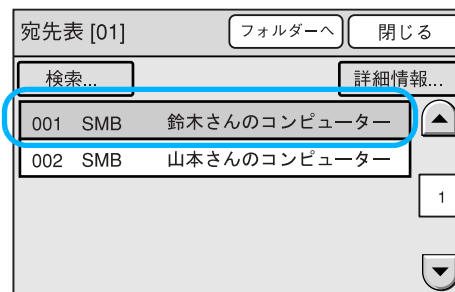


- フォルダーに暗証番号が設定されている場合は、[暗証番号入力] 画面が表示されるので、暗証番号を入力します。
- 暗証番号が設定されているフォルダーには、鍵のマークが表示されています。

設定した暗証番号を忘れたときには → 103 ページ (Q42)

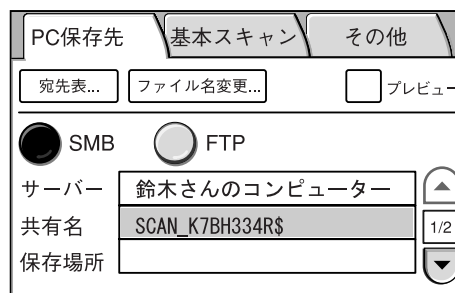
- ③ [宛先表] 画面で、保存先を選択します。

選択すると、保存先は白黒反転します。



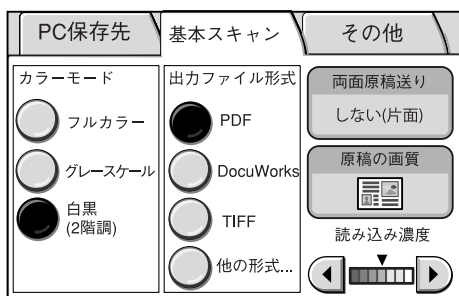
- ④ [閉じる] を押します。

登録されている内容が表示されます。



スキャンの設定をする

- ① 必要に応じて、[基本スキャン] 画面、[その他] 画面で、色や画質、読み取りサイズなどのスキャン条件を設定します。
- ② 必要に応じて、ファイル名を設定します。
設定しないと、決められたルールに従ったファイル名になります。
ファイル名について → 97 ページ (Q21)



設定できる項目一覧 → 77 ページ

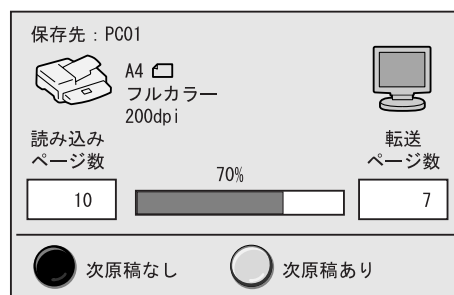
- ③ スキャンを開始する前に、プレビューを表示して内容を確認できます。
プレビューを表示するには → 75 ページ

スキャンを開始する

- ① [PC 保存先] 画面を表示して、〈スタート〉ボタンを押します。



スキャンが開始されます。



エラーが表示されたら → 105 ページ
次の原稿がある場合 → 74 ページ
ジョブを確認するには → 97 ページ (Q23)

注記

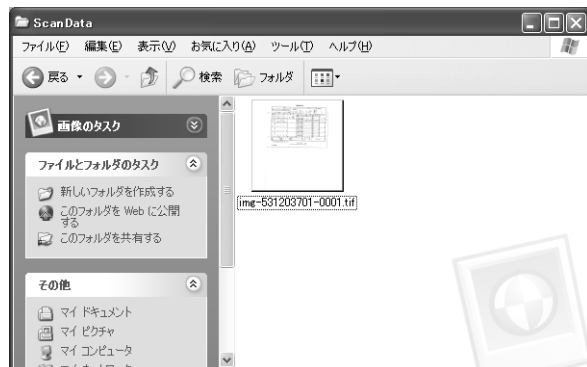
自動原稿送り装置にセットした場合は、原稿搬送中に原稿を押さえないでください。

完了すると、保存先に指定したコンピューターのフォルダーにスキャンデータ（ファイル）が保存されます。

【PC 保存】の結果を確認する

PC 保存されたファイルを、保存先のコンピュータで表示します。

Windows で表示する



DocuScan マネージャーで表示する

[スタート] メニューから、[すべてのプログラム] > [Fuji Xerox] > [DocuScan マネージャー] > [DocuScan マネージャー] を選択すると表示されます。



メール送信する



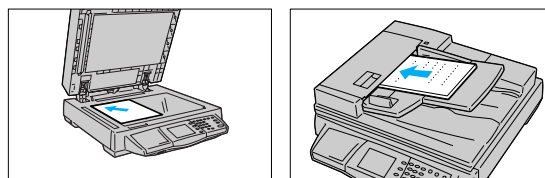
メールで送信するための準備は済んでいますか？

- メール環境は設定しましたか → 36 ページ
- DocuScan マネージャーをインストールして、宛先は登録しましたか → 33 ページ、39 ページ

原稿をセットする

① スキャンする原稿をセットします。

原稿のセット方法 → 54 ページ



メール送信画面を表示する

① 操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押します。



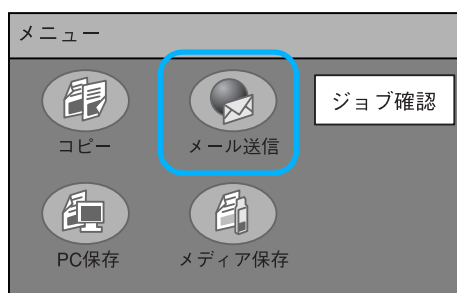
〔メール宛先〕画面が表示されます。



暗証番号を入力する画面が表示されたら
→ 92 ページ (Q4)

タッチパネルディスプレイに〔メニュー〕画面が表示されます。

② 〔メール送信〕を押します。



宛先を選択する

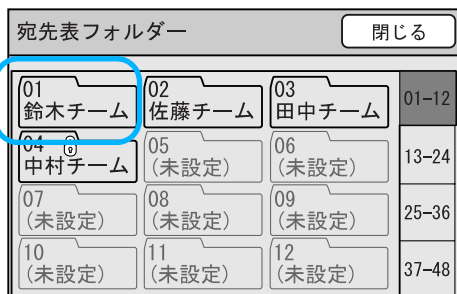
「宛先を登録する」(39 ページ) で登録した宛先を選択します。

- 1 宛先の入力欄を選択して、[宛先表...] または操作パネルの〈宛先表〉ボタンを押します。



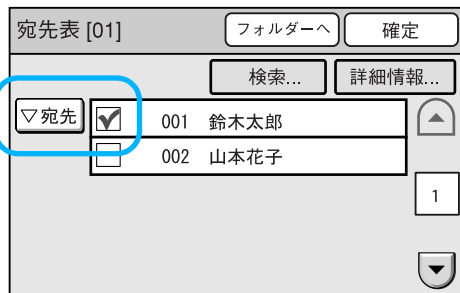
[宛先表フォルダー] 画面が表示されます。

- 2 指定したい宛先が登録されている宛先表フォルダーを選択します。



- フォルダーに暗証番号が設定されている場合は、[暗証番号入力] 画面が表示されるので、暗証番号を入力します。
 - 暗証番号が設定されているフォルダーには、鍵のマークが表示されています。
- 設定した暗証番号を忘れたときには → 103 ページ (Q42)

- 3 [宛先表] 画面で、使用する宛先名の ☐ を押して、チェックを付けると、左側に [宛先] が表示されます。



- 取り消すときは、もう一度 ☒ を押します。

- 4 必要に応じて、[宛先] を押して [CC] または [BCC] に変更します。

- 5 同じフォルダー内の宛先に同時に送信する場合は、手順 3、4 を繰り返します。

- 6 [確定] を押します。

- [宛先表] 画面の右上にある [閉じる] は、宛先を選択すると、[確定] に変わります。

- 7 別のフォルダー内の宛先にも送信する場合は、手順 2 ～ 6 を繰り返します。

送信者を設定する

必要に応じて、送信者のアドレスを入力します。

ポイント

- エラー時に、メールサーバーから送信者にメールが送られることがあります。スキャナーの機械管理者のメールアドレス、またはメール送信実行者のメールアドレスなどの、受信できるメールアドレスを設定することをお勧めします。
- 本体メールアドレスが、設定されている場合には、その値が表示されます。設定は、CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [プロトコル設定] > [メール] で行います。
→ CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ

- 1 [送信者] の入力欄を選択して、[宛先表...] または操作パネルの〈宛先表〉ボタンを押します。

- 操作パネルの数字ボタンで [送信者] にアドレスを入力することもできます。

- 2 送信者にしたい宛先を選択します。

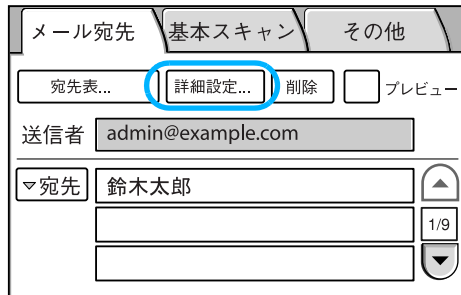
返信先アドレスを設定する

必要に応じて、返信先アドレスを設定します。

ポイント

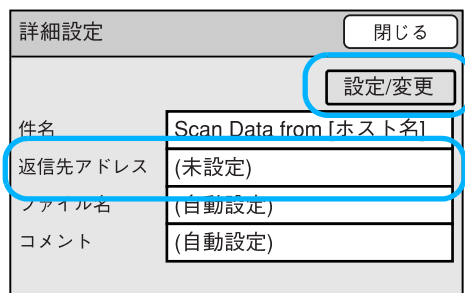
- エラー時に、メールサーバーから送信者にメールが送られることがあります。スキャナーの機械管理者のメールアドレス、またはメール送信実行者のメールアドレスなどの、受信できるメールアドレスを設定することをお勧めします。

1 [詳細設定...] を押します。



[詳細設定] 画面が表示されます。

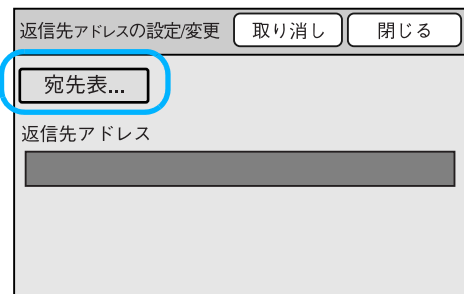
2 [返信先アドレス] を選択し、[設定 / 変更] を押します。



[返信先アドレスの設定 / 変更] 画面が表示されます。

3 [宛先表...] または操作パネルの〈宛先表〉ボタンを押します。

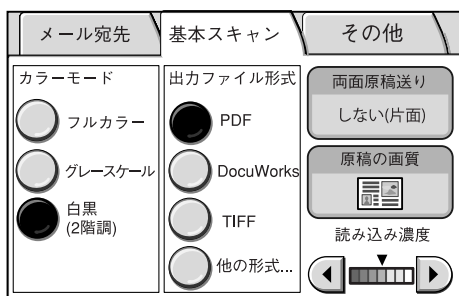
- 操作パネルの数字ボタンで [返信先アドレス] にアドレスを入力することもできます。



4 返信先アドレスにしたい宛先を選択します。

スキャンの設定をする

- ① 必要に応じて、[基本スキャン] 画面、[その他] 画面で、色や画質、読み取りサイズなどのスキャン条件を設定します。
- ② 必要に応じて、ファイル名を設定します。
設定しないと、決められたルールに従ったファイル名になります。
ファイル名について → 97 ページ (Q21)



設定できる項目一覧 → 77 ページ

- ③ スキャンを開始する前に、プレビューを表示して内容を確認できます。
プレビューを表示するには → 75 ページ

スキャンを開始する

- ① [メール宛先] 画面を表示して、〈スタート〉ボタンを押します。



スキャンが開始されます。完了すると、メール送信されます。

なお、送信先の状態を確認後、読み込みを開始するので、読み込み開始まで時間がかかることがあります。

エラーが表示されたら → 105 ページ

次の原稿がある場合 → 74 ページ

ジョブを確認するには → 97 ページ (Q23)

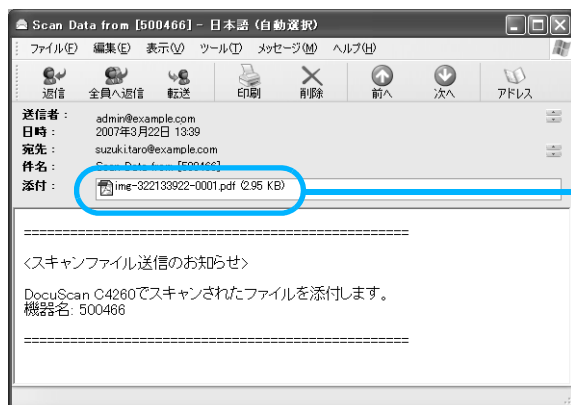
注記

自動原稿送り装置にセットした場合は、原稿搬送中に原稿を押さえないでください。

受信メールを確認する

受信したメールを確認します。

メールソフトで表示する



添付ファイルが
スキャンデータです。

この例は、Outlook Express を使用している場合です。

件名、コメントを設定する



[詳細設定] 画面 (68 ページ) で、メールの件名やコメント (メールの本文) を設定できます。

詳細設定		閉じる
		設定/変更
件名	Scan Data from [ホスト名]	
返信先アドレス	(未設定)	
ファイル名	(自動設定)	
コメント	(自動設定)	

[件名] または [コメント]
を選択して、[設定 / 変更]
を押す

件名やコメントは、次のどちらかの方法で設定できます。

- 操作パネルの数字ボタンで入力する
- 登録リストから選択する

詳しい操作方法については、『ユーザーズガイド』「3.5 メールで送信する」を参照してください。

ポイント

- 登録リストに件名やコメントを登録するには、DocuScan マネージャーの宛先表ツールまたは CentreWare Internet Services を使います。
DocuScan マネージャーの操作方法 → DocuScan マネージャーのオンラインヘルプ
CentreWare Internet Services の操作方法 → CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ

注記

- 登録リストへ件名、コメントの新規登録、追加登録を行った場合は、登録リストのバックアップをとることをお勧めします。登録リストのバックアップ方法は、『ユーザーズガイド』「7.4 共通設定」の「保守 / 診断」を参照してください。

件名を選択する

件名の設定/変更		取り消し	閉じる
数字ボタン 入力設定		登録リストから選択	
☒ ひらがな ☐ カタカナ ☐ 英/数 ☐ 数字	件名 スキャンファイルの送信1 自動設定に戻す		

登録リストから選択		取り消し	閉じる
スキャンファイルの送信 議事録のスキャン送信の件 伝票のスキャン送信の件 カタログデータ送付の件 受付から送信します 開発部スキャンデータ			1/2

[すべてを表示する] を押すと、選択されているコメントの全文を表示できます。

コメントを選択する

コメントの設定/変更		取り消し	閉じる
数字ボタン 入力設定		削除	登録リストから選択
☒ ひらがな ☐ カタカナ ☐ 英/数 ☐ 数字	コメント (空欄)		

登録リストから選択		取り消し	閉じる
すべてを表示する お世話になります。スキャンしたデータを送 お疲れ様です。カタログのスキャンしたデー スキャンファイルを送ります。何かあったら 早急に確認いただきますようお願いいたし スキャンファイルを配布してください。			1/2

メディア保存する



メディア保存

USB フラッシュメモリーに保存するための準備は済んでいますか？

次の注記を参照して、市販の USB フラッシュメモリー（以降、メディアと呼びます）を用意してください。

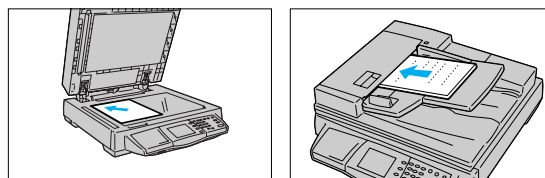
注記

- セキュリティー機能や書き込み禁止機能付きの USB フラッシュメモリーの場合、セキュリティー機能や書き込み禁止機能を有効にしていると、メディア保存できません。

原稿をセットする

① スキャンする原稿をセットします。

原稿のセット方法 → 54 ページ



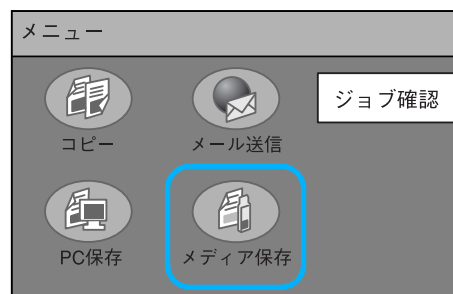
メディア保存画面を表示する

① 操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押します。

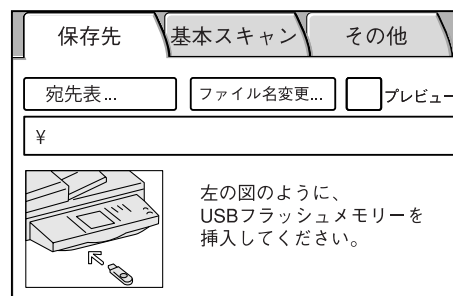


タッチパネルディスプレイに [メニュー] 画面が表示されます。

② [メディア保存] を押します。



[保存先] 画面が表示されます。



暗証番号を入力する画面が表示されたら

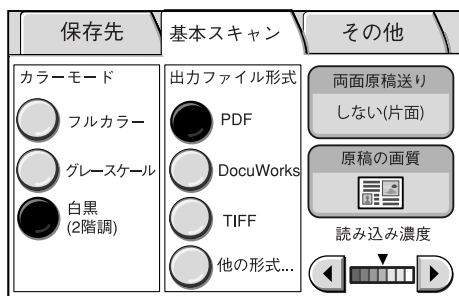
→ 92 ページ (Q4)

- 入力欄の「¥」を変更しないと、ルートディレクトリに保存されます。
- [宛先表...] を使って、宛先表に登録した保存先パスに保存できます。また、入力欄の「¥」のあとに、パスを入力できます。

→ 『ユーザーズガイド』「3.6 メディアに保存する」

スキャンの設定をする

- ① 必要に応じて、[基本スキャン] 画面、[その他] 画面で、色や画質、読み取りサイズなどのスキャン条件を設定します。



設定できる項目一覧 → 78 ページ

- ② 必要に応じて、ファイル名を設定します。
設定しないと、決められたルールに従ったファイル名になります。

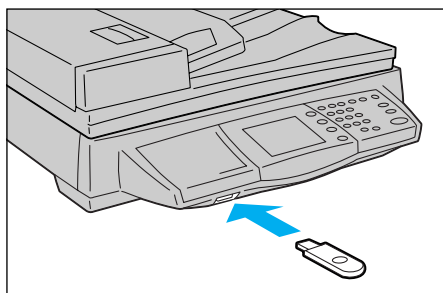
ファイル名について → 97 ページ (Q21)

- ③ スキャンを開始する前に、プレビューを表示して内容を確認できます。

プレビューを表示するには → 75 ページ

スキャンを開始する

- ① メディアをスキャナーのUSB コネクタに挿入します。



USB コネクタの場所 → 17 ページ

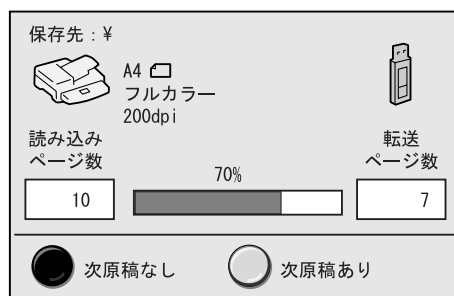
- ② [保存先] 画面を表示して、〈スタート〉ボタンを押します。



スキャンが開始され、完了するとメディアに保存されます。

注記

- 自動原稿送り装置にセットした場合は、原稿搬送中に原稿を押さえないでください。
- スキャン中や保存中は、USB コネクタからメディアを抜かないでください。



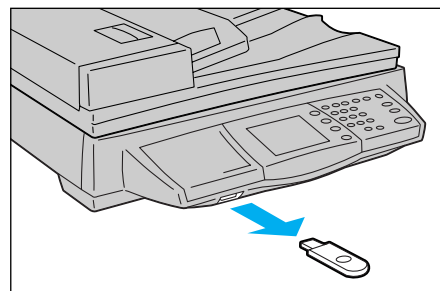
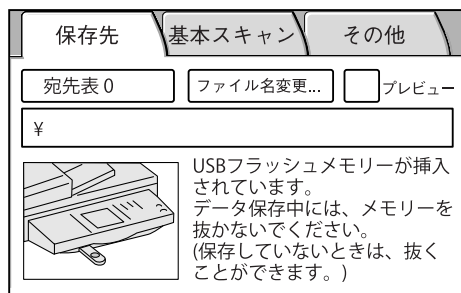
エラーが表示されたら → 105 ページ

次の原稿がある場合 → 74 ページ

ジョブを確認するには → 97 ページ (Q23)

メディアを取り外す

- 1 次の画面が表示されていることを確認します。
- 2 USB コネクタからメディアを引き抜きます。



【メディア保存】の結果を確認する

メディア保存されたファイルを表示します。
 スキャナーから取り外したメディアを、コンピューターにセットします。

Windows で表示した場合



次の原稿があるとき

セットした原稿に続けて、ほかの原稿を同じジョブとしてスキャンしたい場合、最初の原稿を読み込み中に「次原稿あり」を押します。

原稿は、最大 500 ページまで読み込めます。

注記

- 原稿ガラスでスキャンしたあと、「次原稿あり」で（1 つのジョブとして）自動原稿送り装置からスキャンすることはできません。また、自動原稿送り装置からスキャンしたあと、「次原稿あり」で（1 つのジョブとして）原稿ガラスからスキャンできません。

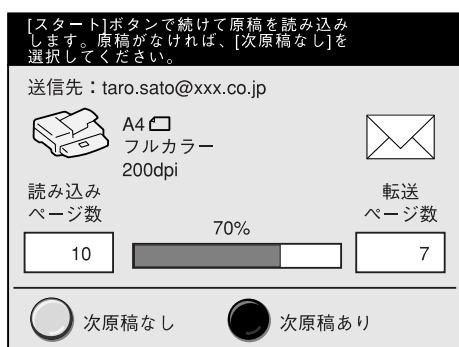
ポイント

500 ページを超えた場合は、その旨を知らせるメッセージが表示され、それ以降の読み取りは、ジョブが終了するまで、できなくなります。500 ページを超えた残りの原稿は、500 ページまでのジョブの終了後、次のジョブとして、スキャンし直してください。

- 1 原稿を読み込み中に、「次原稿あり」を押します。



最初にセットした原稿の読み込みが完了すると、メッセージが変わります。



一定時間何も操作しないと、自動的に次の原稿がないと判断され、「次原稿なし」を押したときと同様に、読み込んだデータが、保存または送信されます。

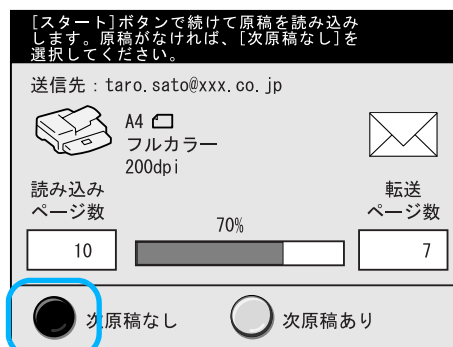
- 2 次の原稿をセットします。

- 3 「スタート」ボタンを押します。



さらに次の原稿があるときは、原稿のセットと「スタート」ボタンを押す操作を繰り返します。

- 4 すべての原稿を読み込んだら、「次原稿なし」を押します。



プレビューを表示する

スキャンを実行する前に、プレビューを表示して、スキャン内容を確認できます。
出力ファイル形式がDocuWorks文書またはPDFの場合は、画像を回転して保存できます。

細い線は、プレビューで表示されない場合がありますが、スキャンされた内容どおりに細い線も保存されます。

プレビューを表示してスキャンする

- 1 [プレビュー] の ☐ を押してチェックを付けます。

● ここでは、[メール宛先] 画面を例に説明します。



- 2 〈スタート〉 ボタンを押します。

原稿読み込み中の画面が表示され、そのあと原稿の1ページめのプレビューが表示されます。

- 3 内容を確認します。



- 出力ファイル形式がDocuWorks 文書またはPDF の場合は、[右 90 度回転]、[左 90 度回転] を押すと、プレビューと同様にスキャン画像を回転して保存できます。回転は、以降、すべてのページに反映されます。
- 両面原稿の場合、おもてページ、うらページごとに回転の設定ができます。たとえば、おもてページに回転の設定をした場合、以降のおもてページすべてに反映されます。うらページには反映されません。
- 次の原稿がある場合は [次原稿あり] を、ない場合は [次原稿なし] を押します。
- 次のページ以降をプレビューしないときは、[次のページもプレビュー] の ☒ を押してチェックを外します。
- スキャンを中止する場合は、[中止] を押します。中止確認のメッセージが表示されるので、76 ページの手順 ②、③ を、操作します。

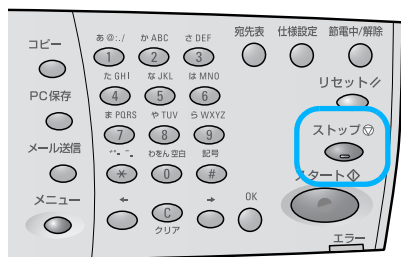
- 4 操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。



スキャンが実行されます。

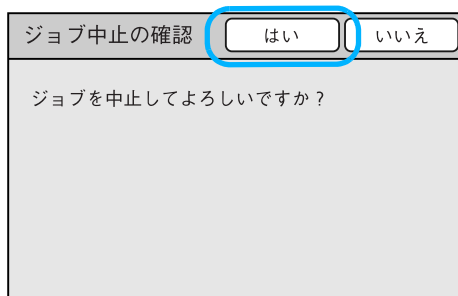
スキャンを中止する

- 1 操作パネルの〈ストップ〉ボタンを押します。



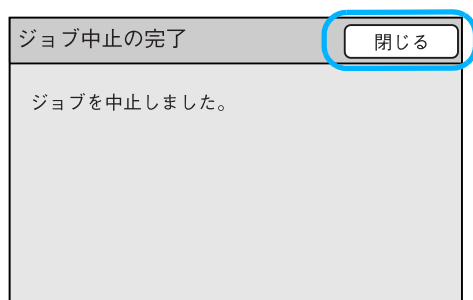
中止確認のメッセージが表示されます。

- 2 [はい] を押します。



中止操作完了のメッセージが表示されます。

- 3 [閉じる] を押します。



スキャンの設定項目の紹介

●【PC 保存】の画面

【PC 保存先】画面

- 宛先表
- ファイル名変更
- プレビュー
- SMB/FTP
- サーバー
- 共有名
- 保存場所
- ユーザー名
- パスワード

【基本スキャン】画面

- カラーモード
- 出力ファイル形式
- 両面原稿送り
- 原稿の画質
- 読み込み濃度

【その他】画面

- 画像圧縮率
- 読み取り倍率
- 読み取りサイズ
- 読み取り解像度
- 原稿セット向き指定
- シャープネス
- コントラスト
- 地色除去
- わく消し
- ミックスサイ
- ズ原稿送り

各項目の詳細は → 『ユーザーズガイド』「3 スキャンする」

●【メール送信】の画面

【メール宛先】画面

- 宛先表
- 詳細設定
- 削除
- プレビュー
- 送信者
- 宛先 /CC/BCC

【基本スキャン】画面

- カラーモード
- 出力ファイル形式
- 両面原稿送り
- 原稿の画質
- 読み込み濃度

【その他】画面

- 画像圧縮率
- 読み取り倍率
- 読み取りサイズ
- 読み取り解像度
- 原稿セット向き指定
- シャープネス
- コントラスト
- 地色除去
- わく消し
- ミックスサイ
- ズ原稿送り

各項目の詳細は → 『ユーザーズガイド』「3 スキャンする」

●【メディア保存】の画面

【保存先】画面

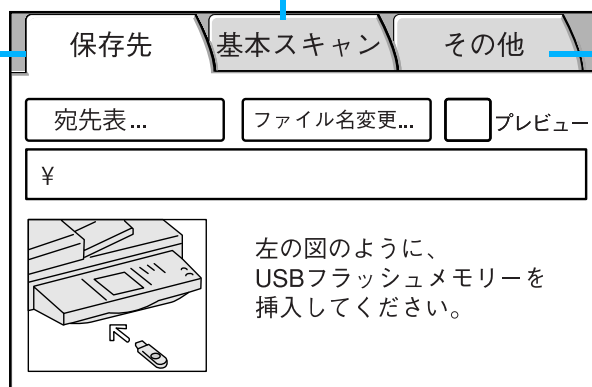
- 宛先表
- ファイル名変更
- プレビュー
- パス指定

【基本スキャン】画面

- カラーモード
- 出力ファイル形式
- 両面原稿送り
- 原稿の画質
- 読み込み濃度

【その他】画面

- 画像圧縮率
- 読み取り倍率
- 読み取りサイズ
- 読み取り解像度
- 原稿セット向き指定
- シャープネス
- コントラスト
- 地色除去
- わく消し
- ミックスサイズ原稿送り



各項目の詳細は → 『ユーザズガイド』「3 スキャンする」

DocuWorks を利用する

スキャナーに同梱されている DocuWorks は、スキャンデータ、Web ページ、画像、さまざまなアプリケーションのファイルなどを、一元管理できるソフトウェアです。

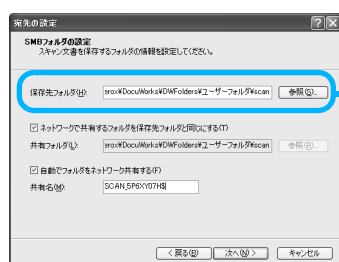
詳しくは、DocuWorks に付属のマニュアルや、ホームページを参照してください。

→ <http://www.fujixerox.co.jp/soft/docuworks/>

スキャナーで読み込んだ原稿を DocuWorks 文書形式で保存して、直接 DocuWorks Desk に取り込むことができます。

- 1** 宛先を登録するときに、DocuWorks Desk のフォルダーを「保存先フォルダ」に指定します。

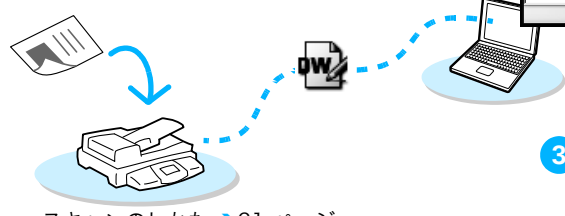
宛先の登録 → 42 ページ



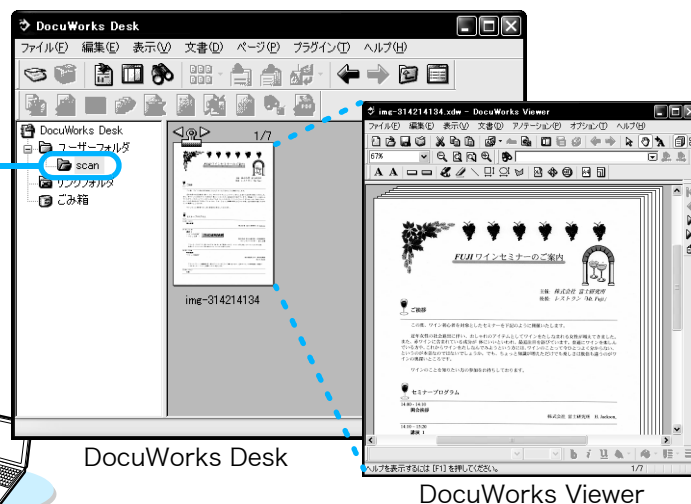
DocuScan マネージャー
＞ 宛先表ツール

- 2** 【PC 保存】でスキャンします。

- 1** で登録した宛先を選択し、[出力ファイル形式] は [DocuWorks] にします。



スキャンのしかた → 61 ページ



- 3** 宛先に指定したフォルダーを DocuWorks Desk で開くと、スキャンした DocuWorks 文書が表示されます。ダブルクリックすると、DocuWorks Viewer で表示できます。

DocuWorksを利用すると、たとえば次のようなことができます。

● 紙と電子の一元化

ほかのアプリケーションデータから作成した DocuWorks 文書と、スキャンした DocuWorks 文書を、1 つのファイルに束ねることができます。まとめて印刷したり、プレゼンテーション資料を作成したり、データを有効利用できます。

● セキュリティ

操作の制限やパスワードを設定して、文書を保護できます。

● 文書の編集

紙と同じように、付せんを貼ったり、文字や図形を書き込んだりできます。ページ番号、日付印なども付けることができます。

● OCR（文字認識）処理

OCR 処理して、テキストを検索、編集、コピーできます。

● 電子署名

文書に署名して、作成者や作成日を明確にしたり、編集状態を確認したりできます。



コピーのしかた

【コピー】

コピーする手順を説明しています。

コピーする



このスキャナーでは、スキャンした原稿を、USB ケーブルで接続しているプリンターから印刷することによって、コピーできます。

【コピー】を使う前に、スキャナーとプリンターを USB ケーブルで接続します。

プリンターとの接続方法 → 29 ページ

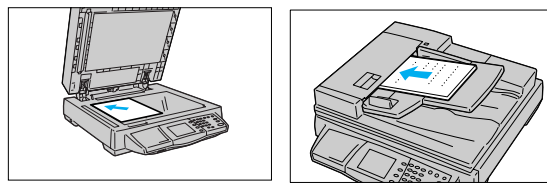
注記

- プリンターと接続して【コピー】を使用するには、プリンターのファームウェアが、スキャナーに対応している必要があります。
接続して使用できるプリンターの機種、および対応ファームウェアの情報は、当社ホームページで確認してください。
URL : <http://www.fujixerox.co.jp/>

原稿をセットする

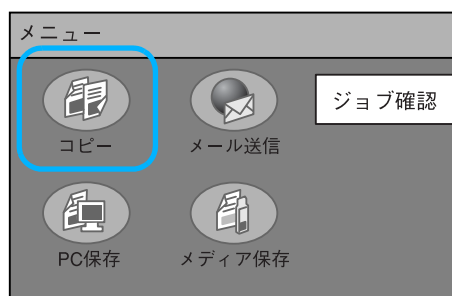
- 1 コピーする原稿をセットします。

原稿のセット方法 → 54 ページ



コピー画面を表示する

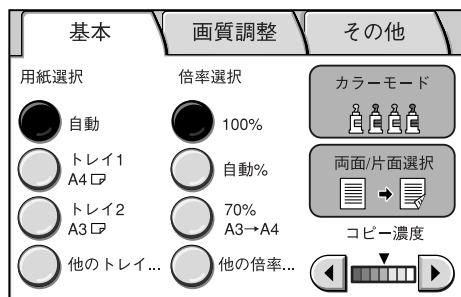
- 1 操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押します。
- 2 [コピー] を押します。



- 操作パネルで〈コピー〉ボタンを押すと、直接 [基本] 画面が表示できます。

タッチパネルディスプレイに [メニュー] 画面が表示されます。

[基本] 画面が表示されます。



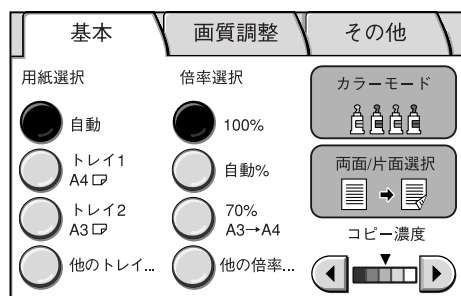
暗証番号を入力する画面が表示されたら

→92 ページ (Q4)

- コピー画面に表示される項目や、項目の初期値は、接続しているプリンターの機能によって異なります。

コピーの設定をする

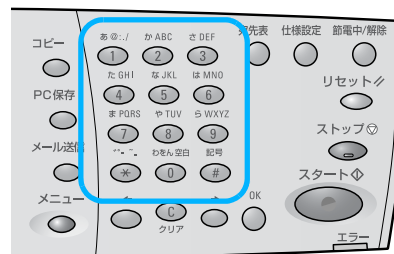
- ① 必要に応じて、[基本] 画面、[画質調整] 画面、[その他] 画面で、用紙や倍率、画質などのコピー条件を設定します。



各画面の設定項目一覧 →86 ページ

部数を入力する

- ① 数字ボタンでコピー部数を入力します。
入力した部数はタッチパネルディスプレイの右上に表示されます。
1 ～ 999 部の範囲で入力できます。



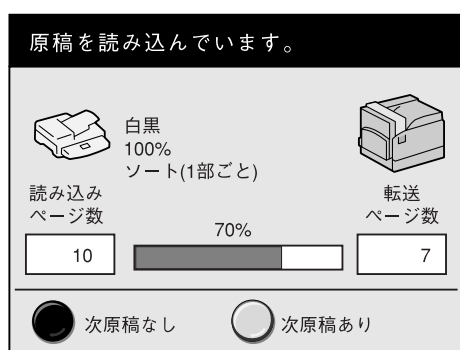
- 入力を間違えた場合は、〈C〉(クリア) ボタンを押して、正しい部数を入力します。

コピーを開始する

- 1 〈スタート〉 ボタンを押します。



コピーが開始されます。完了すると、プリンターから印刷されます。



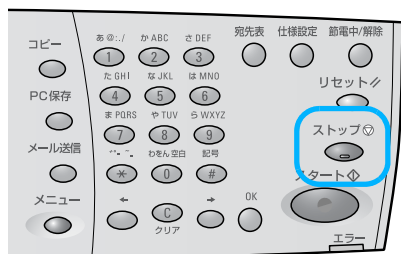
エラーが表示されたら → 105 ページ
 次の原稿がある場合 → 74 ページ
 ジョブを確認するには → 97 ページ (Q23)

注記

自動原稿送り装置にセットした場合は、原稿搬送中に原稿を押さえないでください。

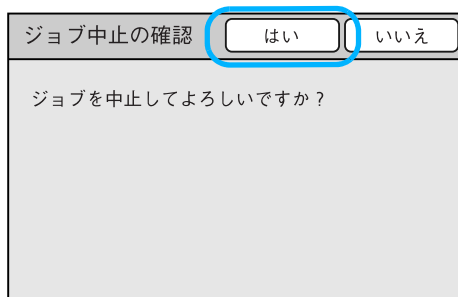
コピーを中止する

- 1 操作パネルの〈ストップ〉ボタンを押します。



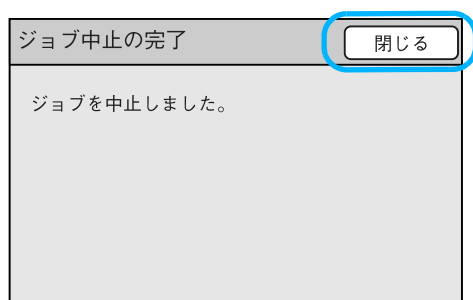
中止確認のメッセージが表示されます。

- 2 [はい] を押します。



中止操作完了のメッセージが表示されます。

- 3 [閉じる] を押します。



- 中止できるのは、プリンターに転送される前のページです。

注記

- プリンターによっては、プリンター側で印刷を中止する操作が必要なことがあります。その場合メッセージが表示されます。
- ネットワークでプリンターを使用している場合は、プリンター側で印刷を中止するとき、処理中の他の印刷ジョブを中止しないよう注意してください。
- コピーを途中で中止した場合、プリンターが印刷可能な状態になっていることを確認してから、次のコピーを開始してください。

コピーの設定項目の紹介

●【コピー】の画面

【基本】画面

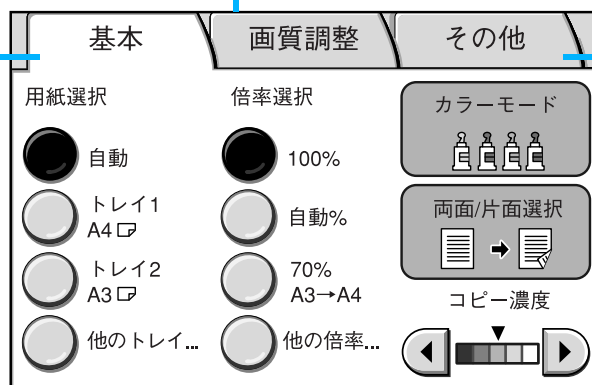
- 用紙選択
- 倍率選択
- カラーモード
- 両面 / 片面選択
- コピー濃度

【画質調整】画面

- おまかせ画質調整
- カラーバランス
- 原稿の画質
- シャープネス
- 地色除去
- 彩度

【その他】画面

- 仕分け
- ミックスサイズ原稿送り
- まとめて1枚-2アップ
- わく消し
- 原稿セット向き指定
- 原稿サイズ入力



各項目の詳細は → 『ユーザズガイド』「4 コピーする」

6

困ったときには

原稿が詰まったときの対処方法、スキャナーの使い方やトラブルに関する Q&A、エラーコードの意味などを説明しています。

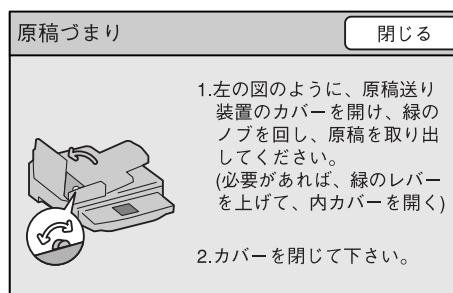
- トラブルの原因は、本スキャナーの注意制限の場合もあります。注意制限事項については、ユーザーズガイドを参照してください。また、当社ホームページでも「よくある質問」を掲載しています。そちらも、ぜひ、参考にしてください。

<http://www.fujixerox.co.jp/support/faq/>

- 解決策が見つからないときは、本書の「裏表紙」に記載されている、当社お問い合わせ先にお電話ください。
- お客様相談センターは、当社に対するご意見やご相談をお受けする専用窓口です。トラブルや操作方法についてお電話をいただいてもお役にたてませんので、お間違えないようにお願いします。

原稿が詰まって困った

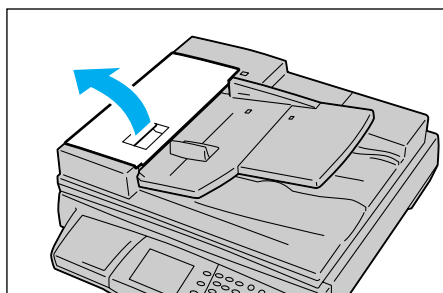
自動原稿送り装置に原稿が詰まると、機械が停止します。タッチパネルディスプレイに、右図のようなエラーメッセージが表示され、操作パネルの〈エラー〉ランプが点灯します。メッセージに従って、原稿づまりの処置をしたあと自動原稿送り装置に原稿をセットし直します。



● DocuScan C4260 の場合

左側カバーを開ける

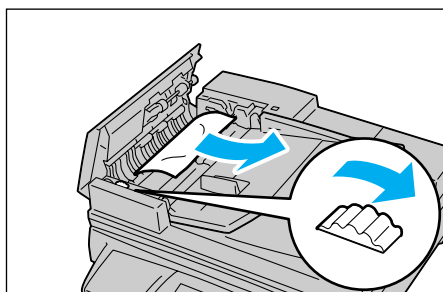
- 1 自動原稿送り装置の左側カバーのレバーを引き上げて、左側カバーを止まるところまで開けます。



- カバーを充分に開くと、固定される位置があります。カバーは、ゆっくりと開けてください。

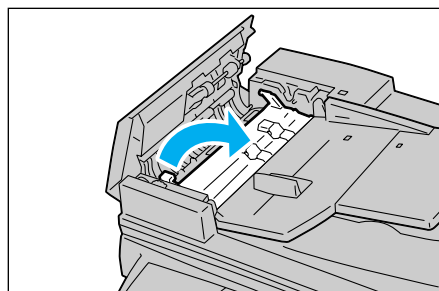
原稿の片側がスキャナーから出ている場合

- 2 緑色のノブを図のように回し、矢印方向に、原稿をゆっくり引き抜きます。



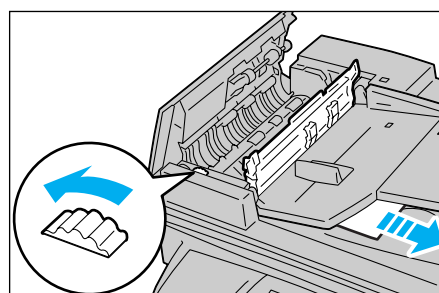
原稿の両側がはさまっている場合

- 3 緑色のレバーを持ち上げて内カバーを開けます。

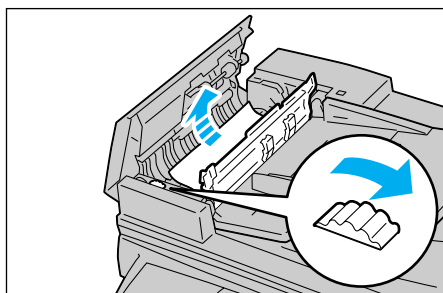


- 4 次のどちらかの方法で、原稿を取り除きます。

- 緑色のノブを図のように回し、原稿を排紙方向に送り出し、そのまま原稿をゆっくり引き抜きます。



- 緑色のノブを図のように回し、排紙ローラーから原稿を抜き出し、そのまま原稿を上方向にゆっくり引き抜きます。



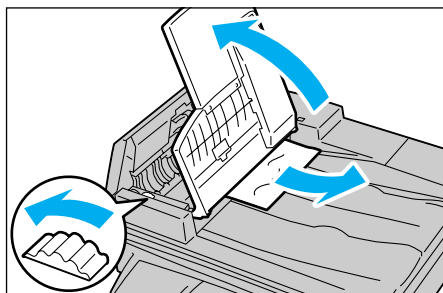
注記

ノブを回さずに原稿を引き抜かないください。原稿が破損するおそれがあります。

- 5 手順 3 で開けた内カバーを閉じます。

原稿排出部にはさまっている場合

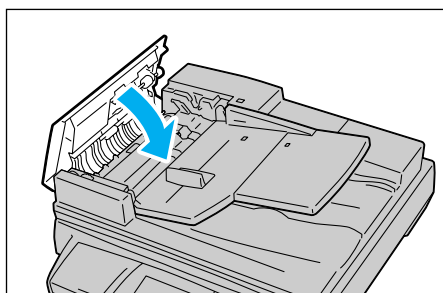
- 6 原稿送りトレイを上げて、緑色のノブを図のように回し、ゆっくり原稿を引き抜きます。



- 7 原稿送りトレイを静かに戻します。

左側カバーを閉じる

- 8 左側カバーを、カチッと音がして、はまるまで閉じます。

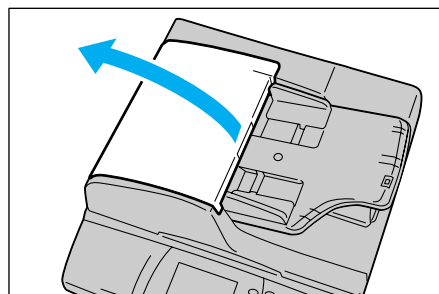


- 9 原稿に、破れ、しわ、折れがないことを確認し、原稿をもう一度セットします。

● DocuScan C3210 の場合

左側カバーを開ける

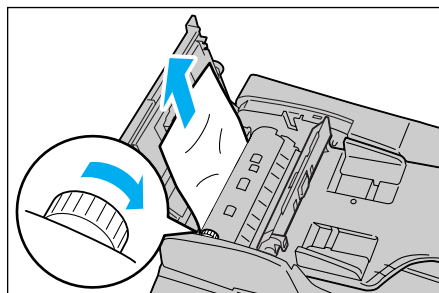
- 1 自動原稿送り装置の左側カバー中央の取っ手を引き上げて、左側カバーを止まるところまで開けます。



- カバーを充分に開くと、固定される位置があります。カバーは、ゆっくりと開けてください。

原稿の片側がスキャナーから出ている場合

- 2 緑色のノブを図のように回し、矢印方向に、原稿をゆっくり引き抜きます。

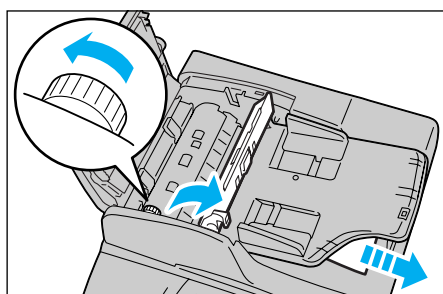


原稿の両側がはさまっている場合

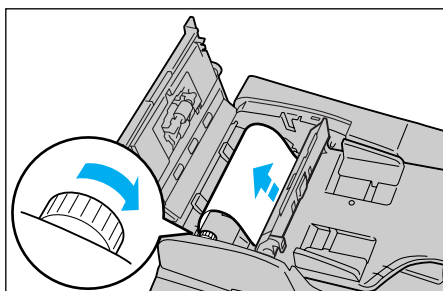
- ③ 緑色のレバーを持ち上げて内カバーを開けたままにします。

- ④ 次のどちらかの方法で、原稿を取り除きます。

- 緑色のノブを図のように回し、原稿を排紙方向に送り出し、そのまま原稿をゆっくり引き抜きます。



- 緑色のノブを図のように回し、排紙ローラーから原稿を抜き出し、そのまま原稿を上方向にゆっくり引き抜きます。



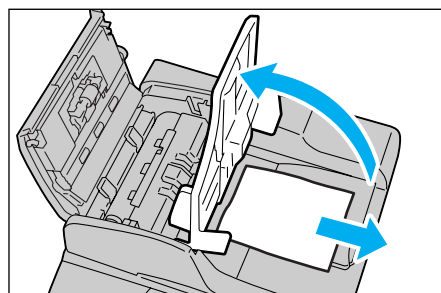
注記

ノブを回さずに原稿を引き抜かないでください。原稿が破損するおそれがあります。

- ⑤ 手順 ③ で開けた内カバーを閉じます。

原稿排出部にはさまっている場合

- ⑥ 原稿送りトレイを上げたまま、ゆっくり原稿を引き抜きます。



- ⑦ 原稿送りトレイを静かに戻します。

左側カバーを閉じる

- ⑧ 左側カバーを、カチッと音がして、はまるまで閉じます。

- ⑨ 原稿に、破れ、しわ、折れがないことを確認し、原稿をもう一度セットします。

スキャナーの使い方で困った

トラブルが発生した場合の対処方法や、よくある質問と回答を記載しています。
該当する処置をしてもトラブルが解消できない場合は、当社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

スキャナー本体で困った

スキャンやコピーができない

Q1 コピーできません。どうしてですか？

A プリンターとスキャナーを接続している USB ケーブルが抜けていませんか？

USB ケーブルを確実に差し込んでください。

→29 ページ

USB ケーブルを差し込んでいる USB コネクタが故障していませんか？

スキャナーのほかの USB コネクタに USB ケーブルを差し込んで確認してください。

→18 ページ、29 ページ

スキャナーがプリンターを認識していない可能性があります。プリンターが印刷可能状態でないときにスキャナーの電源を入れましたか？

スキャナーの電源スイッチをいったん切り、プリンターが印刷可能状態になってから、スキャナーの電源を入れてください。

プリンターは、このスキャナーが対応しているプリンターですか？

以下の当社ホームページで、プリンターがスキャナーと接続して使用できる機種かどうかを確認してください。

URL : <http://www.fujixerox.co.jp/>

プリンターのファームウェアが、スキャナーに対応していないバージョンの可能性があります。ファームウェアは最新版ですか？

以下の当社ホームページで、プリンターのファームウェアのバージョンがスキャナーに対応しているかどうかを確認してください。

URL : <http://www.fujixerox.co.jp/>

対応していないときは、対応しているバージョンのファームウェアを、以下のホームページからダウンロードし、バージョンアップしてください。

URL : <http://download.fujixerox.co.jp/>

Q2 カラーコピーできません。どうしてですか？ カラーのスキャンができません。どうしてですか？

A 次のことを確認してください。
[カラーモード] が [白黒] になっていませんか？

[カラーモード] の [フルカラー] を選択してください。

→77 ページ、86 ページ、『ユーザーズガイド』「3.7 基本スキャン項目を設定する」、「4.4 基本コピー項目を設定する」

接続しているプリンターは、カラープリンターですか？

白黒プリンターの場合、カラーコピーはできません。カラープリンターに接続してください。

「暗証番号」で困った

Q3 機械管理者暗証番号を忘れて、
【仕様設定】画面を表示できません。
どうしたらいいですか？

A 機械管理者暗証番号を設定している
場合、暗証番号を入力しないで【仕
様設定】画面を表示することはでき
ません。

どうしても思い出せない場合は、当社プリン
ターサポートデスクにお問い合わせくださ
い。

機械管理者暗証番号を忘れないように管理し
てください。

Q4 暗証番号を入力する画面が表示
されます。何を入力すればいい
ですか？

A どの操作をしたときに表示されまし
たか。

鍵マークのついた宛先表フォルダーを選択し
たとき

宛先表フォルダーに設定されている暗証番号
を入力してください。

宛先表フォルダーの暗証番号 → 『ユーザーズガイド』「8.2
宛先を登録する」の「宛先表フォルダーを登録する」
宛先表フォルダーの暗証番号を忘れたときは → 103 ページ
(Q42)

【仕様設定】を押したとき

機械管理者暗証番号を入力してください。

機械管理者暗証番号 → 『ユーザーズガイド』「7.8 機械管理
者情報の設定」の「暗証番号の設定」

【PC 保存】や【コピー】などのボタンを押し
たとき

機能認証の暗証番号を入力してください。

機能認証の暗証番号 → 『ユーザーズガイド』「7.4 共通設定」
の「機能認証」

その他の疑問

Q5 USB コネクタが、いくつか
あります。それぞれ何に使うの
ですか？

A USB コネクタは、前面、背面、
側面のいずれかにあります。

前面の USB コネクタは、【メディア保存】
のときに USB フラッシュメモリーを挿入し
ます。

背面 / 側面の USB コネクタは、【メディア
保存】のときに USB フラッシュメモリーを
挿入したり、【コピー】のときにプリンター
と接続するために使用したりします。

なお、同時に複数のプリンターは接続できま
せん。また、USB コネクタを使ってコン
ピューターとは接続できません。

各部のなまえ → 17 ページ

【メディア保存】 → 71 ページ

プリンターとの接続 → 29 ページ

Q6 プリンターに取り付けたフィ
ニッシャーの機能は、使用でき
ますか？

A いいえ。

プリンターにフィニッシャーを取り付けてい
る場合でも、コピー時にフィニッシャーの機
能は使用できません。

原稿セットで困った

「サイズ」で困った

Q7 希望のサイズにスキャン / コピーされません。どうしたらいいですか？

A 次のことを確認してください。

OHP フィルムなどの透過度が高い原稿ですか？

原稿ガラスに原稿をセットし、その上に白紙を載せてスキャン / コピーしてください。

原稿がずれていませんか？

原稿が正しくセットされていますか？

原稿を正しくセットしてください。

→54 ページ

自動原稿送り装置の原稿ガイドがずれていませんか？

原稿ガイドを正しくセットしてください。

→54 ページ

原稿が折れ曲がっていませんか？

原稿をのばして正しくセットし直してください。

→54 ページ

定形外サイズの原稿をセットしていませんか？

原稿のサイズを入力してください。

→57 ページ、『ユーザーズガイド』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」、「4.6 その他のコピー項目を設定する」

原稿ガラスまたは原稿カバーが汚れていませんか？

原稿ガラスまたは原稿カバーを清掃してください。

→『ユーザーズガイド』「10.2 スキャナーの清掃」

「原稿送り」で困った

Q8 原稿が送り込まれません。どうしてですか？

A 原稿が小さくありませんか？
自動原稿送り装置にセットできる原稿のサイズかどうかを確認してください。

使用できる原稿サイズ →52 ページ

Q9 原稿がたびたび詰まっています。どうしてですか？

A 次のことを確認してください。

適切な原稿を使用していますか？

変形原稿や名刺、OHP フィルム、薄い原稿を使用していませんか？

自動原稿送り装置に適した原稿を正しくセットしてください。

使用できない原稿 →53 ページ

付せんやクリップ、セロハンテープなどを付けたまま使用していませんか？

付せんやクリップ、セロハンテープなどを取ってからスキャン / コピーしてください。

原稿ガイドの位置がずれていませんか？

原稿ガイドを正しくセットしてください。

→54 ページ

原稿の一部が破れて、自動原稿送り装置に紙片が残っていませんか？

自動原稿送り装置のカバーを開けて確認してください。

→88 ページ

サイズの異なる原稿を読み込むときに、[ミックスサイズ原稿送り] の設定が [する] になっていますか？

[ミックスサイズ原稿送り] の設定を [する] にしてください。

→ 58 ページ、『ユーザーズガイド』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」、「4.6 その他のコピー項目を設定する」

ミックスサイズ原稿送り機能を使用しているときに、A5 サイズの原稿をたて置きにして自動原稿送り装置にセットしていませんか？

A5 サイズの原稿は、よこ置きにセットしてください。

→ 58 ページ

Q10 原稿の端が折れてしまいます。どうしてですか？

A 原稿がカールしていませんか？

原稿のカールを直してから、セットしてください。

画質で困った

Q12 スキャン画像またはコピーが汚れてしまいます。どうしてですか？

A 次のことを確認してください。

OHP フィルムなどの透過度が高い原稿ではありませんか？

透過度が高い原稿では、原稿カバーの汚れがスキャン画像やコピーに写ります。原稿の上に白紙を載せてスキャン / コピーしてください。

原稿がカラーペーパー、ザラ紙、青焼きなどではありませんか？

読み取り濃度またはコピー濃度を調整するか、画質を調整してスキャン / コピーしてください。

→ 77 ページ、86 ページ、『ユーザーズガイド』「3.7 基本スキャン項目を設定する」、「4.4 基本コピー項目を設定する」

Q11 「原稿サイズが検知できません。」になります。どうしてですか？

A 節電中に原稿ガラスに原稿をセットしてから、〈節電中 / 解除〉ボタンを押してスキャンしませんでしたか？

節電中、または節電解除中（タッチディスプレイに「お待ちください。」と表示されている状態）は、原稿ガラスにセットした原稿のサイズを検知できません。

節電中または節電解除中は、〈節電中 / 解除〉ボタンを押して「お待ちください」という表示が消えてから、原稿をセットしてください。

光沢のある印画紙をスキャン / コピーしていませんか？

原稿が光沢のある印画紙の場合は、原稿ガラスに張りつきやすく、影が汚れのようになることがあります。OHP フィルムなどの透明フィルムを原稿の下に敷いてスキャン / コピーしてください。

原稿ガラスまたは原稿カバーが汚れていませんか？

原稿ガラスまたは原稿カバーを清掃してください。

→ 『ユーザーズガイド』「10.2 スキャナーの清掃」

Q13 スキャン画像またはコピーに黒線や色線が入ってしまいます。どうしてですか？

A 自動原稿送り装置の読み取りガラスが汚れていませんか？

原稿読み取りガラスを清掃してください。

→『ユーザーズガイド』「10.2 スキャナーの清掃」

原稿カバーを開いたままスキャンまたはコピーしませんでしたか？

冊子の原稿をスキャンまたはコピーしませんでしたか？

〔わく消し〕機能を使うと、原稿の枠やとじしろの黒い影を消すことができます。

→77 ページ、86 ページ、『ユーザーズガイド』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」、「4.4 基本コピー項目を設定する」

Q14 スキャン画像またはコピーがずれています。どうしてですか？ スキャン画像またはコピーが曲がっています。どうしてですか？

A 次のことを確認してください。

原稿が正しくセットされていますか？

原稿を正しくセットしてください。

→54 ページ

自動原稿送り装置の原稿ガイドがずれていませんか？

原稿を正しくセットして、原稿ガイドを原稿の端にあててください。

→54 ページ

原稿が貼り合わせ原稿や折り込みの原稿ではありませんか？

貼り合わせたのりの部分や折りの部分が反り返って、原稿ガラスに密着せず、原稿が浮いていることが考えられます。原稿の上に白紙の束を載せて、原稿ガラスに密着するようにセットしてください。

Q15 縞模様が発生してしまいます。どうしてですか？

A スキャン / コピーの倍率、またはスキャンの解像度によって、縞模様が発生することがあります。

スキャン / コピーの倍率またはスキャンの解像度を調整してください。

→77 ページ、86 ページ、『ユーザーズガイド』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」、「4.4 基本コピー項目を設定する」

スキャンで困った

「スキャンの設定」で困った

Q16 毎回 [カラーモード] を設定しないで済む方法がありますか？

A 初期値を変更してください。
または、スキャンの定型設定をしてください。

初期値の変更 → 『ユーザーズガイド』「7.7 スキャナー設定」の「スキャナー機能設定初期値」
スキャンの定型設定 → 49 ページ、『ユーザーズガイド』「5.1 宛先表の概要」、「8.2 宛先を登録する」

「原稿の向き」で困った

Q17 原稿が正しい向きに取り込めません。どうしたらいいですか？

A コンピューターに取り込んでから、向きを直してください。

たとえば、A3 でよこ向きの原稿をたて長にセットしたら、原稿ガラスからはみ出してしまいます。A4 より大きいよこ向きの原稿を読み込むときは、よこ長にセットするしかありません。コンピューターに取り込んでから DocuScan マネージャー、DocuWorks などのソフトウェアで開いて修正してください。

DocuScan マネージャーは、同梱の「Software Pack」CD-ROM からインストールできます。

インストール方法 → 33 ページ

修正のしかた → 『ユーザーズガイド』「8.6 画像を 1 つずつ編集する」

Q18 両面原稿をスキャンしました。コンピューターで開いたら、向きが指定したとおりになっていません。どうしてですか？

A JPEG または TIFF の場合は、両面のセット向きを指定しても無効になります。

原稿送り装置を使って両面の原稿をスキャンする場合、[原稿セット向き指定] を [読める向き] にすると、コンピューターで開いたときに正しい向きで取り込めます。ただし、この機能は、出力ファイル形式を PDF または DocuWorks 文書にした場合にだけ働きます。JPEG または TIFF の場合は、コンピューターに取り込んでからソフトウェアで開いて修正してください。

原稿セット向き指定 → 54 ページ、『ユーザーズガイド』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」

出力ファイル形式 → 60 ページ、『ユーザーズガイド』「3.7 基本スキャン項目を設定する」

修正のしかた → 『ユーザーズガイド』「8.6 画像を 1 つずつ編集する」

ファイルで困った

Q19 フルカラーまたはグレースケールでスキャンした TIFF が開きません。どうしたらいいですか？

A フルカラーまたはグレースケールでスキャンした TIFF は、表示ソフトウェアによっては開けなかったり、1 ページめしか表示されなかったりします。

DocuScan マネージャーの DocuScan ビューワーなら、カラーの TIFF に対応しています。DocuScan マネージャーは、同梱の「Software Pack」CD-ROM からインストールできます。

インストール方法 → 33 ページ

Q20 【PC 保存】、【メディア保存】のときに、フォルダーが自動的に作成されないようにできますか？

A スキャンをするときに、変更できません。または、仕様設定で初期値を変更できます。

スキャンをするときは、[PC 保存先] / [保存先] 画面で、[ファイル名変更...] > [詳細設定] > [フォルダー作成] > [しない] を選択すると、自動作成しない設定に変更できます。

初期値を変更するときは、操作パネルで、[仕様設定] > [スキャナー設定] > [スキャナー名の詳細設定] > [1. フォルダー作成] > [しない] を選択すると、自動作成しない設定に変更できます。

スキャン時の変更 → 『ユーザーズガイド』「3.4 PC に保存する」、「3.6 メディアに保存する」

初期値の変更 → 『ユーザーズガイド』「7.7 スキャナー設定」

Q21 自動で付くファイル名の「img-xxx」のルールを変えたいのですが・・・。

A スキャンをするときに、変更できません。

【PC 保存】、【メディア保存】のときは、[PC 保存先] / [保存先] 画面の [ファイル名変更...] を押して変更します。

【メール送信】のときは、[メール宛先] 画面で [詳細設定...] を押して、[詳細設定] 画面を表示します。[ファイル名] を選択して、[設定 / 変更] を押し、変更します。

→ 『ユーザーズガイド』「3.4 PC に保存する」、「3.5 メールで送信する」、「3.6 メディアに保存する」

その他の疑問

Q22 1つのデータとしてスキャンできる枚数は、何枚ですか？

A 500 枚です。画面に表示される [次原稿あり] を使って、1 つのデータ (ジョブ) としてスキャンできます。

→ 74 ページ

Q23 ちゃんとスキャンできたかどうかを確認できますか？

A ジョブ一覧を表示して、正常にコピーやスキャンが完了したかどうかを確認できます。

ジョブ一覧を表示するには、操作パネルの〈メニュー〉ボタン > [ジョブ確認] を押します。ジョブ一覧を表示した [ジョブ実行完了] 画面で、ジョブの状態を確認できます。ジョブの詳細を見たいときは、一覧からジョブを選択します。

スキャンで困った【PC 保存】

「準備」で困った

Q24 SMB で【PC 保存】をする場合、開放されていなくてはならない具体的なポート・プロトコルをすべて教えてください。

A 保存先のコンピューターの、ポート 139 (TCP) と 137 (UDP) の両方が開放されている必要があります。

どちらか片方が開放されただけでは、SMB で【PC 保存】できません。

Q25 サブネットが異なる場合の注意はありますか？

A 次のことに注意してください。
Windows XP ServicePack2、および Windows Vista の場合：
Windows ファイアウォールの [例外] タブの設定で、[ファイルとプリンタの共有] にチェックが入っていたとしても、[ファイルとプリンタの共有] のスコープの設定が、Windows XP SP2 の場合、[ユーザーのネットワーク (サブネットのみ)]、Windows Vista の場合、[ローカルサブネット] に設定されていると、異なるサブネットのコンピューターへの転送はできません (スキャナーと同一サブネット上のコンピューターに対しては転送できます)。
異なるサブネット上のコンピューターに対して転送する場合には、スコープの設定を任意、カスタムなどへ変更してご利用ください。
スコープの設定についての詳細は、Windows のオンラインヘルプを参照してください。

「設定」で困った

Q26 ドメイン管理されている Windows ネットワーク環境の場合、SMB で【PC 保存】するときの設定で、注意はありますか？

A ユーザー名をドメイン形式で指定してください。

NetBIOS 形式ドメインユーザー：

Windows NT Server のドメインコントローラー環境下のネットワーク上にあるコンピューターの共有フォルダーに PC 保存 (SMB) する場合は、ユーザー名を「ドメイン名 ¥ ユーザー名」の形式で指定します。

例： domain¥user

UPN 形式ドメインユーザー：

本機は、Active Directory に対応しています。Windows Server 2003、Windows 2000 Server の Active Directory 環境下のネットワーク上にあるコンピューターの共有フォルダーに PC 保存 (SMB) する場合は、ユーザー名を「ユーザー名 @ ドメイン名」の形式で指定します。

例： user@domain1.domain2

詳細は → 『ユーザーズガイド』「3.4 PC に保存する」

【PC 保存】ができない

Q27 【PC 保存】で、コンピューターに保存できません。どうしたらいいですか？

A 次のことを確認してください。

次の値は、正しく設定されていますか？

- 転送プロトコル
- サーバー名 /IP アドレス
- 保存場所
- 共有名 (SMB の場合)
- ユーザー名
- パスワード

PC 保存の設定項目について → 48 ページ

FQDN または DNS ホスト名の形式でサーバー名（保存先のコンピューター名）を設定した場合、DNS サーバーの設定は正しいですか？

CentreWare Internet Services の次の項目が正しく設定されているかを、システム管理者に確認してください。

- [プロパティ] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] > [DNS]

→ CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ

SMB で、スキャナーとは異なるサブネット上のコンピューター名を NetBIOS 名で指定した場合、WINS サーバーの設定は正しいですか？

CentreWare Internet Services の次の項目が正しく設定されているかを、システム管理者に確認してください。

- [プロパティ] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] > [WINS]

→ CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ

また、WINS サーバーが設置されていない場合は、コンピューターの固定 IP アドレスを宛先に設定する必要があります。

保存先コンピューターに固定 IP アドレスを設定したら、宛先の設定項目 [サーバー名 /IP アドレス] を保存先コンピューターの固定 IP アドレスに変更してください。

→ 『ユーザーズガイド』「8.3 宛先の登録内容を変更する」

時間がかかる

Q28 スキャンしたとき、コンピューターへの接続やスキャン開始に時間がかかります。原因は何ですか？

A スキャナーに正しい DNS サーバーアドレスまたは WINS サーバーアドレスが設定されていないと時間がかかります。

DNS サーバーアドレスと、WINS サーバーアドレスが正しいかどうかを、CentreWare Internet Services の次の項目で確認してください。

- [プロパティ] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] > [DNS] または [WINS]

Q29 スキャンしたとき、コンピューターへの接続やスキャン開始に時間がかかる場合、実行中のジョブをキャンセルする方法はありますか？

A キャンセルできません。

ただし、コンピューターへの接続を、自動的に中止するまでの時間を短くできます。

設定は、CentreWare Internet Services で行います。

SMB の場合：

- [プロパティ] > [SMB クライアント] で、[接続開始タイムアウト] の時間を短くします。

FTP の場合：

- [プロパティ] > [FTP クライアント] で、[接続開始タイムアウト] の時間を短くします。

スキャンで困った【メール送信】

「設定」で困った

Q30 メール送信時の【送信者】には、どのようなアドレスを入れるべきでしょうか？

A 受信できるメールアドレスを設定してください。

エラー時に、メールサーバーから送信者にメールが送られることがあります。メール送信をするときは、[送信者] には、スキャナーの機械管理者のメールアドレス、またはメール送信実行者のメールアドレスなどの、受信できるメールアドレスを設定することをお勧めします。

Q31 【メール送信】で、メールが送信できません。どうしたらいいですか？

A メールまたは TCP/IP の設定は正しいですか？

CentreWare Internet Services の次の項目が正しく設定されているかを、システム管理者に確認してください。

- [プロパティ] > [プロトコル設定] > [メール]
- [プロパティ] > [プロトコル設定] > [TCP/IP]

→ CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ

メール送信の上限データサイズを超えていませんか？

CentreWare Internet Services の次の項目で、[分割送信のページ単位] のページ数を減らしてください。または、[メール送信の上限データサイズ] を大きくしてください。

- [プロパティ] > [プロトコル設定] > [メール] > [分割送信のページ単位] または [メール送信の上限データサイズ]

→ CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ

次の設定が適切ではありません。

- 読み取り解像度を下げてください。
- 画像圧縮率を高くしてください。

→ 77 ページ、『ユーザズガイド』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」

Q32 【メール送信】で、送信したメールが届きません。どうしたらいいですか？

A 入力したメールアドレスは正しいですか？

メールアドレスの入力を確認してください。

その他の疑問

Q33 スキャナーは、メールを受信できますか？

A できません。

しかし、エラー時に、メールサーバーから送信者にメールが送られることがあります。メール送信をするときは、[送信者] や [返信先アドレス] に、スキャナーの機械管理者のメールアドレス、またはメール送信実行者のメールアドレスなどの、受信できるメールアドレスを設定することをお勧めします。

DocuScan マネージャーで困った

Q34 スキャナーに接続できません。
どうしたらいいですか？**A**

次のことを確認または設定してから、[スキャナの選択] ダイアログボックスの[再検索]をクリックしてください。

- [SNMP] が [起動する] になっているか。
スキャナーの [仕様設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] で確認、または CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [プロトコル設定] > [SNMP] で確認。
→『ユーザーズガイド』「7.5 ネットワーク設定」または CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ
- TCP/IP の設定が正しいか。
スキャナーの操作パネルの [仕様設定] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] で確認、または CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] で確認。
→『ユーザーズガイド』「7.5 ネットワーク設定」、または CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ
- [検索条件の設定] ダイアログボックスの [コミュニティー名の設定] の [読み取り専用] があっているか。
初期値は「public」。
CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [プロトコル設定] > [SNMP] の [コミュニティー名登録 (取得専用)] で変更。
→CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ
- [検索条件の設定] ダイアログボックスで、タイムアウト時間をより長く設定する。
→『ユーザーズガイド』「8.2 宛先を登録する」、DocuScan マネージャーのオンラインヘルプ
- [検索条件の設定] ダイアログボックスで、サブネットを変更する。
→『ユーザーズガイド』「8.2 宛先を登録する」、DocuScan マネージャーのオンラインヘルプ

Q35 かんたん設定モードを使用するときの注意事項はありますか？**A**

次のことに注意してください

- Windows NT 4.0、Windows 2000/XP、Windows Vista をお使いの場合、Administrators または Power Users グループのユーザーでログオンして作業してください。
- Windows XP Professional を、ワークグループに接続されたネットワーク環境でお使いの場合、保存先フォルダーの [フォルダオプション] で、[簡易ファイルの共有を使用する (推奨)] のチェックを外してください。→35 ページ
- かんたん設定モードで作成した宛先は、サーバー名に NetBIOS 名を使っています。このため、コンピューターとスキャナーが異なるサブネットにあって、かつ WINS を使用していない環境では、スキャン時にネットワーク転送エラーになります。保存先コンピューターに固定 IP アドレスを設定してから、宛先の登録内容の [サーバー名] を固定 IP アドレスに変更してください。→『ユーザーズガイド』「8.3 宛先の登録内容を変更する」
- 保存先が Windows XP Home Edition の場合は、かんたん設定モードは使用できません。
→47 ページ

CentreWare Internet Services で困った

「起動」で困った

Q36 CentreWare Internet Services に接続できません。どうしてですか？

A スキャナーは正常に作動していますか？

スキャナーの電源が入っているかを確認してください。

CentreWare Internet Services が起動されていますか？

スキャナーの操作パネルで、[仕様設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [2.CW インターネットサービス]を確認します。

[停止する]の場合、[確認 / 変更] > [起動する] > [決定] を押して、[電源の切り / 入り] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押し、スキャナーの電源を切り、入れ直します。

なお、電源を入れ直すときは、電源を切ってタッチパネルディスプレイの表示が消えるのを確認してから、電源を入れてください。

URL は正しく入力されていますか？

URL をもう一度確認してください。接続できない場合、FQDN 形式で入力しているときは、IP アドレス形式で入力して接続してください。

プロキシサーバーを使用していますか？

CentreWare Internet Services を使用するとき、プロキシサーバーを経由した場合は動作については保証していません。プロキシサーバーを使わないで接続してください。

→36 ページ

SSL/TLS サーバー通信を有効にしていますか？

通信を暗号化するために、SSL/TLSサーバー通信を有効にしている場合、CentreWare InternetServices に接続するには、ブラウザのアドレス欄には「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力してください。

「表示」で困った

Q37 最新の情報が表示されません。どうしてですか？

A [更新]、[表示更新]、または[最新の情報に更新] をクリックしてください。

Q38 日本語が正しく設定できません。どうしてですか？

A シフト JIS コードを使用してください。また、半角カタカナ文字は使用できないことがあります。

Q39 表示言語が日本語になったり英語になったり、すぐ変わってしまいます。どうしてですか？

A プロキシサーバーを使用しないで、スキャナーと接続してください。

設定しないと、表示言語が切り替わったり、入力した内容が反映されなかったりします。

→36 ページ

「操作」で困った

Q40 [新しい設定を適用する] をクリックしても反映されません。どうしてですか？

A 入力した値は正しいですか？
入力できる値以外を入力した場合は、自動的に制限値内に変更されることがあります。

Q41 ページ中のボタンをクリックする代わりに、キーボードの〈Enter〉キーを押したとき、ページが戻るなどの現象が起きます。どうしてですか？

A キーボードの〈Enter〉キーを押すのではなく、ページ中のボタンをクリックしてください。

「ID やパスワード」で困った

Q42 宛先表フォルダーに設定した暗証番号を忘れてしまい、開けなくなりました。どうしたらいいですか？

A DocuScan マネージャーまたは CentreWare Internet Services から、「機械管理者 ID」または「機械管理者パスワード」を使って、宛先表フォルダーの暗証番号の設定を解除するか、変更します。「機械管理者 ID」、「機械管理者パスワード」を使用できるシステム管理者に依頼してください。

工場出荷時の「機械管理者 ID」は「11111」、「機械管理者パスワード」は「x-admin」です。

Q43 機械管理者 ID や機械管理者パスワードを忘れて、設定を変更できません。どうしたらいいですか？

A どうしても CentreWare Internet Services の「機械管理者 ID」または「機械管理者パスワード」を思い出せない場合は、操作パネルの [仕様設定] > [NVM 初期化] で、NV メモリーのうち「システムデータ」を初期化してください。

ただし、この場合は、システムデータがすべて工場出荷時の値に初期化されます。操作パネルの「機械管理者暗証番号」も忘れた場合は、[仕様設定] 画面を表示できません。操作パネルの「機械管理者暗証番号」をどうしても思い出せない場合は、当社プリンターサポートデスクにお問い合わせください。CentreWare Internet Services の「機械管理者 ID」、「機械管理者パスワード」、および操作パネルの「機械管理者暗証番号」を忘れないように管理してください。

→『ユーザーズガイド』「7.4 共通設定」の「保守 / 診断」

Q44 機械管理者 ID や機械管理者パスワードを入力する画面で、機械管理者 ID や機械管理者パスワードを入力しましたが、認証されません。どうしてですか？

A IME2000 と Internet Explorer 5.5/6.0 の組み合わせで使用していて、IME が KANA 入力モードになっていませんか？

IME を半角英数モードに切り替えて、入力し直してください。

電源を入れたあと、または最後に機械管理者認証に成功後、5 回連続で機械管理者認証に失敗すると、正しい機械管理者 ID や機械管理者パスワードを入力しても認証されません。その場合は、スキャナーの電源を入れ直すか、またはしばらくしてから、再度認証の操作をしてください。

ネットワークで困った

Q45 スキャナーの IP アドレス、サブネットマスク、MAC アドレスはどこで確認できますか？

A 操作パネルで確認できます。

IP アドレスとサブネットマスクは、[仕様設定] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] で確認。

MAC アドレスは、[仕様設定] > [共通設定] > [保守 / 診断] > [ソフトウェアバージョン] で確認。

→ 『ユーザズガイド』「7.5 ネットワーク設定」の「プロトコル設定」、「7.4 共通設定」の「保守 / 診断」

エラーコードで困った

エラーが発生してスキャンが正常に終了しなかった場合やスキャナーに故障が発生した場合は、メッセージとエラーコード（***-***）が表示されます。以下の表に記載されていないエラーコードが表示された場合や、記載に従って処置をしても正常に戻らないときは、当社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

また、エラーコードは、当社ホームページから検索して、対処方法を見つけることもできます。ご利用ください。

<http://www.fujixerox.co.jp/support/ersearch/>

【エラーメッセージ画面例】

故障/エラー
機械内部に異常が発生しました。 電源を切り、画面の表示が消えるのを確認してから 電源を入れてください。
XXX-XXX

注記

- エラーコードが表示されたときは、スキャナー内に残っているスキャンデータや、スキャナーのメモリー上に蓄えられた情報は保証されません。
- スキャナーの電源を切ると、スキャナー内に残っているスキャンデータやスキャナーのメモリー上に蓄えられた情報は消去されます。

表の「分類」は、各機能を表します。

C: 【コピー】、P: 【PC 保存】、M: 【メール送信】、U: 【メディア保存】、O: その他

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
003-711		○	○	○		【原因】 読み込んだ原稿の圧縮処理に失敗しました。 【処置】 画像圧縮率を高く、または解像度を低くして、スキャンし直してください。 →77 ページ、『ユーザーズガイド』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」
003-770	○	○	○	○		【原因】 両面原稿の読み取り時に、拡大の倍率値が、設定可能な範囲を超えました。 【処置】 倍率を下げて、スキャン / コピーし直してください。 →77 ページ、86 ページ、『ユーザーズガイド』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」、「4.4 基本コピー項目を設定する」
003-795	○	○	○	○		【原因】 読み込んだ原稿を、指定された用紙サイズに拡大 / 縮小したときに、拡大 / 縮小の倍率が、設定可能な範囲を超えてしまいました。 【処置】 次のどちらかの方法で処置してください。 ・ 倍率を直接入力する ・ 用紙サイズを変更する →77 ページ、86 ページ、『ユーザーズガイド』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」、「4.4 基本コピー項目を設定する」

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-503			○			【原因】 メール送信時に指定した SMTP サーバーが、ネットワーク上で見つかりませんでした。 【処置】 SMTP サーバーの設定が正しいかを確認してください。また、SMTP サーバーを FQDN で指定している場合、DNS サーバーの設定が正しいかを確認してください。SMTP サーバー、DNS サーバーの設定は、CentreWare Internet Services で確認、および変更できます。 →CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ
031-504			○			【原因】 メール送信時に指定した POP3 サーバーが、ネットワーク上で見つかりませんでした。 【処置】 POP3 サーバーの設定が正しいかを確認してください。また、POP3 サーバーを FQDN で指定している場合、DNS サーバーの設定が正しいかを確認してください。POP3 サーバー、DNS サーバーの設定は、CentreWare Internet Services で確認、および変更できます。 →CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ
031-505			○			【原因】 メール送信時に POP3 サーバーへのログインに失敗しました。 【処置】 POP3 サーバーで使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されているかを確認してください。POP3 サーバーの設定は、CentreWare Internet Services で確認、および変更できます。 →CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ
031-506			○			【原因】 SMTP サーバー /POP3 サーバーが設定されていません。 【処置】 SMTP サーバー、POP3 サーバーが設定されているかを確認してください。SMTP サーバー、POP3 サーバーの設定は、CentreWare Internet Services で確認、および変更できます。 →CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ
031-507			○			【原因】 メール送信時に SMTP サーバーへのログインに失敗しました。 【処置】 SMTP サーバーで使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されているかを確認してください。SMTP サーバーの設定は、CentreWare Internet Services で確認、および変更できます。 →CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ
031-511				○		【原因】 USB フラッシュメモリーが認識できません。 【処置】 次のいずれかの方法で処置してください。 ・ USB フラッシュメモリーのフォーマット形式を確認してください。対応している形式は、2GB 以下の FAT 形式または FAT32 形式です。 ・ USB フラッシュメモリーにフォーマット異常がないかを確認してください。 ・ USB フラッシュメモリーの接続を確認してください。 ・ USB フラッシュメモリーが故障していないかどうかを確認してください。 USB フラッシュメモリーのフォーマット形式について → 『ユーザーズガイド』『A.1 DocuScan C4260/C3210 の主な仕様』

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-512				○		【原因】 メディア保存で書き込みエラーが発生しました。 【処置】 次のいずれかの方法で処置してください。 ・ USB フラッシュメモリーにライトプロテクト機能がある場合は解除してください。 ・ USB フラッシュメモリーが故障していないかどうかを確認してください。 ・ 保存先パスが存在しているかどうかを確認してください。 ・ 保存先に指定した USB フラッシュメモリーのフォルダーにあるファイルを削除して、スキャンし直してください。
031-515				○		【原因】 USBフラッシュメモリー内のファイル数が上限に達しました。 【処置】 保存先に指定したUSBフラッシュメモリーのフォルダーにあるファイルを削除して、スキャンし直してください。
031-521		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしたましたが、ログイン可能なコンピューターが制限されていました。 【処置】 指定したユーザーのプロパティ情報を確認し、ログイン可能なコンピューターが制限されていないかを確認してください。
031-522		○				【原因】 ユーザー名またはパスワードが間違っているため、スキャンデータの転送時に、SMB サーバー（保存先のコンピューター）にログインできませんでした。 【処置】 システム管理者にユーザー名またはパスワードを確認してください。
		○				【原因】 SMB サーバー（保存先のコンピューター）とスキャナーの時刻が一致していません。(Windows Server 2003 の場合に発生) 【処置】 Windows Server 2003 の場合、SMB サーバー（保存先のコンピューター）とスキャナーの時刻を一致させてください。
031-523		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしたましたが、SMB サーバー（保存先のコンピューター）にログインしたときに、SMB サーバーの共有名に、次のような問題がありました。 ・ 指定された共有名がサーバー上に存在しません。 ・ 指定された共有名に禁則文字が使用されていました。 【処置】 指定した共有名を確認して、正しく設定してください。
031-524		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしたましたが、SMB サーバー（保存先のコンピューター）にログインしたときに、ユーザー数が制限を超えました。 【処置】 次のどちらかの方法で処置してください。 ・ 共有フォルダーの接続ユーザー数の制限を確認してください。 ・ サーバーの同時使用ユーザー数が最大数を超えていないかを確認してください。

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-525		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしたましたが、SMB サーバー（保存先のコンピューター）へのアクセス権がありません。 【処置】 指定した保存場所で、ファイルやフォルダーの読み取り、および書き込みができるように設定してください。
031-526		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしたましたが、DNS アクセス時に、保存先に指定したコンピューターが、ネットワーク上に見つかりませんでした。 【処置】 次のいずれかの方法で処置してください。 ・ DNS サーバーとの接続を確認してください。 ・ 保存先のコンピューター名がDNSサーバーに登録されているかを確認してください。 ・ 保存先の指定が正しいかを確認してください。
031-527		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしたましたが、DNS アクセス時に、DNS サーバーが設定されていませんでした。 【処置】 次のどちらかの方法で処置してください。 ・ DNS サーバーアドレスを設定してください。 ・ 保存先コンピューターのアドレスを IP アドレスで設定してください。

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-528		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしたましたが、コンピューターとの接続に問題がありました。 【処置】 次のいずれかの方法で処置してください。 ・保存先の SMB サーバー（コンピューター）とスキャナーがネットワーク通信できる状態にあるかを確認してください。たとえば、次の内容を確認してください。 -ネットワークケーブルの接続確認 -TCP/IP 設定確認 -137 番ポート（UDP）、139 番ポート（TCP）による通信の確認 ・保存先のコンピューターが SMB サーバーとして動作しているか、次のネットワーク設定を確認してください。 -Microsoft ネットワーク用のファイル共有サービスが有効になっていること -TCP/IP 設定において NetBIOS over TCP/IP が有効になっていること -ファイアウォール設定において、ファイル共有サービス（137 番ポート（UDP）、139 番ポート（TCP）による通信）が許可されていること ・サブネットを越える通信の場合、CentreWare Internet Services で WINS サーバーの設定を確認してください。WINS サーバーを使用しない場合、保存先は IP アドレスで指定してください。 ・保存先の SMB サーバー（コンピューター）で NetBIOS インターフェイスデバイスが、開始されているかを確認してください。（Windows NT4.0 Server/Workstation の場合） 確認方法は次のとおりです。 1.[スタート] メニュー> [設定] を選択し、[コントロールパネル] を開く。 2.[サービス] を開き、[Messenger] サービスを選択する。 3.[スタートアップ] > [自動] > [OK] の順に選択し、[閉じる] を選択する。 4.[コントロールパネル] の [デバイス] を開き、[NetBIOS インターフェイス] デバイスを選択する。 5.[スタートアップ] > [自動] または [手動] > [OK] の順に選択し、[閉じる] を選択する。 6.コンピューターを再起動する。 →CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ
031-529		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしたましたが、指定したパスワードが間違っています。 【処置】 共有フォルダーに設定したパスワードを確認してください。

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-530		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしたますが、指定されたスキャンデータの保存場所がファイル名に、次のいずれかの問題があります。 ・ 指定された保存場所がサーバー上に存在しません。 ・ 指定された保存場所がファイル名に、禁則文字が使用されていました。 ・ 指定された保存場所は、分散ファイルシステム (DFS) 設定のため、別の共有フォルダーにリンクされています。 【処置】 次のいずれかの方法で処置してください。 ・ 保存場所が正しいかを確認します。 ・ 指定したファイル名が SMB サーバー（保存先のコンピュータ）上に作成可能なファイル名かを確認します。 ・ システム管理者に分散ファイルシステム (DFS) の設定を確認します。 確認方法は次のとおりです。 1.SMB サーバー（保存先のコンピュータ）上で、[スタート] メニュー > [すべてのプログラム] > [管理ツール] > [分散ファイルシステム] を選択する。 2.[分散ファイルシステム] ウィンドウの左枠から指定した保存場所を選択し、ウィンドウの右枠に表示される [ターゲット] 情報を確認する。 3.確認した情報に基づいて、SMB サーバー（保存先のコンピュータ）、共有名、および保存場所を直接指定する。
031-531		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしたますが、SMB サーバー（保存先のコンピュータ）上でのファイル名またはフォルダー名の取得に失敗しました。 【処置】 SMB サーバー（保存先のコンピュータ）の保存先フォルダーのアクセス権を確認してください。
031-532		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしたますが、SMB サーバー（保存先のコンピュータ）上でのファイル名またはフォルダー名のサフィックスが制限値を超えました。 【処置】 SMB サーバー（保存先のコンピュータ）のファイル名または保存先フォルダーを変更してください。または、保存先フォルダー内のファイルを移動するか、削除してください。

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-533		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしたましたが、次の理由により、SMB サーバー（保存先のコンピューター）上でのスキャンデータのファイル作成に失敗しました。 ・ 指定されたファイル名は、サーバー上にすでに存在しています。 ・ 指定されたファイルは、使用されています。 ・ 指定されたファイル名は、フォルダーとしてすでに存在しています。 ・ 指定されたファイル名に、禁則文字が使用されていました。 【処置】 次のいずれかの方法で処置してください。 ・ 指定したファイル名が、保存場所に作成可能なファイル名かを確認してください。 ・ 指定したファイルが、別のユーザーによって使用されていないかを確認してください。 ・ 指定したファイル名と同じ名前のファイル、またはフォルダーが存在するかを確認してください。
031-534		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしたましたが、SMB サーバー（保存先のコンピューター）上でのフォルダー作成に失敗しました。指定したフォルダーは、すでに存在します。 【処置】 指定した名前と同じ名前のファイルまたはフォルダーが、SMB サーバー（保存先のコンピューター）上にあるかを確認してください。
031-535		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしたましたが、次の理由により、SMB サーバー（保存先のコンピューター）上でのファイルの削除に失敗しました。 ・ ファイルが存在しません。 ・ すでにファイルがオープンされています。 ・ 指定したファイル名はフォルダーとして、すでに存在しています。 【処置】 指定した保存場所で、ほかのユーザーがファイル操作を行っていないかを確認してください。
031-536		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしたましたが、次の理由により、SMB サーバー（保存先のコンピューター）上でのフォルダーの削除に失敗しました。 ・ ファイルが存在しません。 ・ フォルダーが空ではありません。 【処置】 指定した保存場所で、ほかのユーザーがファイル操作を行っていないかを確認してください。
031-537		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしたましたが、SMB サーバー（保存先のコンピューター）上の保存先に空き領域がありませんでした。 【処置】 保存場所に空き領域があるかを確認してください。
031-539		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしたましたが、SMB サーバー（保存先のコンピューター）名の、NetBIOS 名の指定が正しくありませんでした。 【処置】 SMB サーバー（保存先のコンピューター）のサーバー名が正しいかを確認してください。

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-542		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしたますが、内部エラーが発生しました。 【処置】 もう一度同じ操作をしてください。それでも状態が改善されない場合は、当社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
031-543		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしたますが、ログインできない時間帯でした。 【処置】 システム管理者にログインが許可されている時間帯を確認してください。
031-544		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしたますが、パスワードの有効期間が過ぎていました。 【処置】 システム管理者から有効なパスワードを取得してください。
031-545		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしたますが、パスワードの変更が必要でした。 【処置】 ユーザーアカウントのパスワードを変更してください。システム管理者に、次回ログイン時のパスワード変更をしないでよいように、設定を変更してもらってください。
031-546		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしたますが、ユーザーが無効になっていました。 【処置】 システム管理者に、ユーザーの有効化を依頼してください。
031-547		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしたますが、ユーザーがロックアウトされていました。 【処置】 システム管理者に、ロックアウトの解除を依頼してください。
031-548		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしたますが、ユーザーの有効期間が過ぎていました。 【処置】 システム管理者から有効なユーザーを取得してください。または、システム管理者にアカウントの期限の延長を依頼してください。
031-549		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしたますが、ユーザーが制限されていました。空パスワードは許可されていません。 【処置】 ユーザーのパスワードを設定してください。
031-550		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしたますが、ファイルに対する書き込み処理に失敗しました。 【処置】 SMB サーバー（保存先のコンピューター）の保存先フォルダーのアクセス権を確認してください。
031-551		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしたますが、ファイルに対するファイル生成処理に失敗しました。 【処置】 SMB サーバー（保存先のコンピューター）の保存先フォルダーのアクセス権を確認してください。

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-552		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしたが、[ファイル名重複時の処理] が [ジョブを中止 (保存しない)] に設定されているため、ファイルを保存できませんでした。 【処置】 次のどちらかの方法で処置してください。 ・ 保存先にある同名のファイルを削除、または名前を変更して、もう一度スキャンしてください。 ・ [ファイル名重複時の処理] を [ジョブを中止 (保存しない)] 以外に設定して、もう一度スキャンしてください。 → 『ユーザズガイド』「3.4 PC に保存する」
031-574		○				【原因】 FTP で PC 保存しようとしたが、保存先に指定したサーバー名のコンピューターが、ネットワーク上に見つかりませんでした。 【処置】 次のどちらかの方法で処置してください。 ・ DNS サーバーとの接続を確認してください。 ・ 保存先の FTP サーバー名が DNS に登録されているかを確認してください。
031-575		○				【原因】 FTP で PC 保存しようとしたが、DNS サーバーが設定されていませんでした。 【処置】 次のどちらかの方法で処置してください。 ・ DNS サーバーアドレスを設定してください。 ・ 保存先の FTP サーバーのアドレスを IP アドレスで設定してください。
031-576		○				【原因】 FTP で PC 保存しようとしたが、サーバーに接続できませんでした。 【処置】 保存先の FTP サーバーとスキャナーがネットワーク通信できる状態にあるかを確認してください。たとえば、次の内容を確認してください。 ・ FTP サーバーの IP アドレスが正しいかどうかを確認してください。 ・ ネットワークケーブルの接続を確認してください。 ・ 保存先のコンピューターの、FTP サーバーが起動しているかを確認してください。
031-578		○				【原因】 FTP で PC 保存しようとしたが、ログインできませんでした。 【処置】 ログイン名 (ユーザー名) およびパスワードが正しいかを確認してください。
031-579		○				【原因】 FTP で PC 保存しようとしたが、FTP サーバーへの接続後、スキャンデータを保存場所に保存できませんでした。 【処置】 保存場所の指定が正しいかを確認してください。
031-580		○				【原因】 FTP で PC 保存しようとしたが、FTP サーバーへの接続後、FTP サーバーのファイル名 / フォルダ名の取得に失敗しました。 【処置】 FTP サーバーの保存先フォルダーのアクセス権を確認してください。

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-581		○				【原因】 FTP で PC 保存しようとしたが、FTP サーバーへの接続後、ファイル名 / フォルダー名のサフィックスが制限値を超えました。 【処置】 ファイル名または保存先フォルダーを変更してください。または、保存先フォルダー内のファイルを移動するか、削除してください。
031-582		○				【原因】 FTP で PC 保存しようとしたが、FTP サーバーへの接続後、ファイルの作成に失敗しました。 【処置】 次のどちらかの方法で処置してください。 ・ 指定した名前が、保存場所に作成可能なファイル名かを確認してください。 ・ 保存場所に、空き領域があるかを確認してください。
031-584		○				【原因】 FTP で PC 保存しようとしたが、FTP サーバーへの接続後、フォルダーの作成に失敗しました。 【処置】 次のいずれかの方法で処置してください。 ・ 指定した名前が、保存場所に作成可能なフォルダー名かを確認してください。 ・ 指定した名前と同じ名前のフォルダーが、すでに存在していないかを確認してください。 ・ 保存場所に、空き領域があるかを確認してください。
031-585		○				【原因】 FTP で PC 保存しようとしたが、FTP サーバーへの接続後、FTP サーバー内でのファイルの削除に失敗しました。 【処置】 FTP サーバーの保存先フォルダーのアクセス権を確認してください。
031-587		○				【原因】 FTP で PC 保存しようとしたが、FTP サーバーへの接続後、FTP サーバー内でのフォルダーの削除に失敗しました。 【処置】 FTP サーバーの保存先フォルダーのアクセス権を確認してください。
031-588		○				【原因】 FTP で PC 保存しようとしたが、FTP サーバーへの接続後、FTP サーバーへのデータ書き込みに失敗しました。 【処置】 保存場所に、空き領域があるかを確認してください。
031-590		○				【原因】 FTP で PC 保存しようとしたが、FTP サーバーへの接続後、[ファイル名重複時の処理] が [ジョブを中止 (保存しない)] に設定されているため、ファイルを保存できませんでした。 【処置】 次のどちらかの方法で処置してください。 ・ 保存先にある同名のファイルを削除、または名前を変更して、もう一度スキャンしてください。 ・ [ファイル名重複時の処理] を [ジョブを中止 (保存しない)] 以外に設定して、もう一度スキャンしてください。 → 『ユーザーズガイド』「3.4 PC に保存する」
031-594 031-595		○				【原因】 FTP で PC 保存しようとしたが、ネットワークエラーが発生しました。 【処置】 もう一度同じ操作をしてください。それでも状態が改善されない場合は、当社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-597		○				【原因】 FTP で PC 保存しようとしたが、FTP サーバーへの接続後、同名ファイルあるいはフォルダーがあったため、処理を中止しました。 【処置】 複数の機械から同一サーバーの同一フォルダーにアクセスしない状態で、もう一度同じ操作をしてください。それでも状態が改善されない場合は、当社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
031-598		○				【原因】 FTP で PC 保存しようとしたが、FTP サーバーへの接続後、ファイルに対する書き込み処理に失敗しました。 【処置】 FTP サーバーの保存先フォルダーのアクセス権を確認してください。
031-599		○				【原因】 FTP で PC 保存しようとしたが、FTP サーバーへの接続後、ファイルに対するファイル生成処理に失敗しました。 【処置】 FTP サーバーの保存先フォルダーのアクセス権を確認してください。
031-700	○					【原因】 接続プリンターに異常が発生しました。 【処置】 プリンターの操作パネルを確認してください。対処方法はプリンターの取扱説明書を参照してください。
031-701	○					【原因】 接続プリンターとの通信が遮断されました。 【処置】 スキャナーとプリンターの接続を確認し、プリンターの電源が入っていることを確認してください。
031-702	○					【原因】 接続プリンター側でジョブが中止されました。 【処置】 プリンターを確認してください。
031-710	○	○	○	○		【原因】 読み取り範囲の認識に失敗しました。 【処置】 原稿をセットし直し、スキャンし直してください。再び同じメッセージが表示された場合は、表示内容を書き写してください。そのあと、電源スイッチを切り、操作パネルのタッチパネルディスプレイが消灯してから、当社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
031-722					○	【原因】 宛先表の保存 / 復元に失敗しました。 【処置】 CentreWare Internet Services、DocuScan マネージャーからアクセスしている可能性があります。CentreWare Internet Services、DocuScan マネージャーからのアクセスを中止して、保存 / 復元し直してください。
031-723					○	【原因】 宛先表の復元に失敗しました。 【処置】 宛先表の内容が適正でない可能性があります。スキャナーから保存した宛先表かどうかを確認してください。
031-724					○	【原因】 スキャナー内の宛先数が最大登録可能数（350 件）を超えたため、すべての宛先表データを復元できませんでした。 【処置】 CentreWare Internet Services または DocuScan マネージャーで、スキャナー内の不要な宛先を削除してから、復元を行ってください。 → CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ、DocuScan マネージャーのオンラインヘルプ

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-730 031-731				○		【原因】 設定 / 登録データの保存に失敗しました。 【処置】 次のいずれかの方法で処置してください。 ・ USB フラッシュメモリーが抜けていないかを確認してください。 ・ USB フラッシュメモリーに不良（空き容量含む）がないかを確認してください。 ・ USB フラッシュメモリーがライトプロテクトされていないかを確認してください。
031-732					○	【原因】 設定 / 登録データの復元に失敗しました。 【処置】 次のいずれかの方法で処置してください。 ・ USB フラッシュメモリーが抜けていないかを確認してください。 ・ USB フラッシュメモリーに不良（空き容量含む）がないかを確認してください。 ・ 復元するファイルが壊れていないかを確認して、再度、復元を実行してください。
031-733					○	【原因】 設定 / 登録データの復元に失敗しました。 【処置】 復元するファイルが壊れていないかを確認して、再度、復元を実行してください。
031-764			○			【原因】 SMTP サーバーとの接続時にエラーが発生しました。 【処置】 システム管理者にご相談ください。
031-765			○			【原因】 SMTP サーバーの容量が不足しています。 【処置】 システム管理者にご相談ください。
031-766			○			【原因】 SMTP サーバーで、メールボックスの容量が不足しています。 【処置】 システム管理者にご相談ください。
031-767			○			【原因 1】 宛先のメールアドレスが正しくありません。 【処置 1】 メールアドレスを確認して、スキャンし直してください。
						【原因 2】 SMTPサーバーでPOP before SMTP認証エラーが発生しました。 【処置 2】 送信時の認証方式がPOP before SMTPかどうかを確認してください。POP before SMTP 認証を使用する場合は、POP3 サーバーの設定が必要です。送信時の認証方式、および POP3 サーバーの設定は、CentreWare Internet Services で確認、および変更できます。 →CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ
031-768			○			【原因】 送信元のメールアドレスが正しくありません。 【処置】 メールアドレスを確認して、スキャンし直してください。
031-786		○				【原因】 スキャンデータの送受信でタイムアウトエラーが発生しました。 【処置】 ネットワークケーブルが断線していないか、正しく接続されているかどうかを確認してください。ネットワークケーブルに問題がない場合は、システム管理者にご相談ください。

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-788		○		○		【原因】 ファイル名が同じファイルが存在しました。 【処置】 次のどちらかの方法で処置してください。 ・ ファイル名重複時の処理で「上書き保存」を指定するか、「ファイル名を変更して保存」を指定してください。 ・ 保存先の同一名のファイルを削除してください。 →『ユーザーズガイド』「3.4 PC に保存する」
031-950				○		【原因】 USB フラッシュメモリーの空き容量が不足しています。 【処置】 次のいずれかの方法で処置してください。 ・ USB フラッシュメモリーに保存できる空き容量を確保してください。 ・ 原稿の枚数を減らしてください。 ・ 解像度を下げてください。 ・ フルカラーでスキャンする場合は圧縮率を上げてください。 →78 ページ、『ユーザーズガイド』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」
031-951				○		【原因】 メディア保存しようとしたファイルサイズが上限に達しました。 【処置】 次のいずれかの方法で処置してください。 ・ 原稿の枚数を減らしてください。 ・ 解像度を下げてください。 ・ フルカラーでスキャンする場合は圧縮率を上げてください。 →78 ページ、『ユーザーズガイド』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」
031-985			○			【原因】 メール送信できるデータサイズの上限に達しました。 【処置】 次のいずれかの方法で処置してください。 ・ CentreWare Internet Services で、メール送信のデータサイズ上限値を増やしてください。 ・ CentreWare Internet Services で、メール送信のページ分割送信の単位を少なくしてください。 ・ 原稿の枚数を減らしてください。 ・ 解像度を下げてください。 ・ フルカラーでスキャンする場合は圧縮率を上げてください。 →CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ、77 ページ、『ユーザーズガイド』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」
031-986		○	○	○		【原因】 保存しようとしたファイルサイズがファイルフォーマットの上限に達しました。 【処置】 次のいずれかの方法で処置してください。 ・ 原稿の枚数を減らしてください。 ・ 解像度を下げてください。 ・ フルカラーでスキャンする場合は、圧縮率を上げてください。 →77 ページ、『ユーザーズガイド』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-987			○			【原因】 スキャンデータを蓄積する本機内のメモリーがいっぱいになりました。 【処置】 次のいずれかの方法で処置してください。 ・ CentreWare Internet Services で、メール送信のデータサイズ上限値を増やしてください。 ・ CentreWare Internet Services で、メール送信のページ分割送信の単位を少なくしてください。 ・ 解像度を下げてください。 ・ 画像を縮小して (A3 → A4 など)、再送信してください。 → CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ、77 ページ、『ユーザーズガイド』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」
062-360					○	【原因】 キャリッジロックがロックされている可能性があります。 【処置】 いったん電源を切り、キャリッジロックを解除してから、電源を入れ直してください。 → 24 ページ
062-790	○	○	○	○		【原因】 読み込んだ原稿が、コピー禁止の原稿です。 【処置】 「法律上の注意事項」(16 ページ) を参照して、コピーできる原稿を確認してください。
131-701		○		○		【原因】 【PC 保存】または【メディア保存】で、ファイル名を変更して保存しました。 【処置】 [閉じる] を押します。
131-702		○		○		【原因】 【PC 保存】または【メディア保存】で、ファイル名を上書きして保存しました。 【処置】 [閉じる] を押します。
131-703	○	○	○	○		【原因】 スキャンした総枚数が最大蓄積枚数 (500 枚) を超えました。 【処置】 ページを確認して残りの原稿を再セットし、スキャンし直してください。

その他のエラーについて

以下のようなメッセージが表示された場合の処置について説明します。

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
機械内部に異常が発生しました。 電源を切り、画面の表示が消えるのを確認してから電源を入れてください。 (xxx-yyy)	○	○	○	○	○	【原因】 エラーが発生しました。 【処置】 電源スイッチを切り、操作パネルのタッチパネルディスプレイが消灯してから、再度、電源スイッチを入れてください。 再び同じメッセージが表示された場合は、「xxx-yyy」の表示内容を書き写してください。そのあと、電源スイッチを切り、操作パネルのタッチパネルディスプレイが消灯してから、当社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

オプション品一覧

主なオプション製品について説明します。お買い上げの際は、当社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

商 品 名	商品コード	備考
スキャナースタンド	ES100005	スキャナーを設置する専用のスタンドです。スキャナースタンドを使用すると、スキャナーとプリンターの設置スペースを効率化できます。

商品の種類や商品コードは 2007 年 7 月現在のものです。

価格などにつきましては、スキャナーのカタログを参考にしてください。当社ホームページでは、カタログを PDF ファイルで用意しています。

<http://www.fujixerox.co.jp/product/catalog/>

補修用性能部品について

当社は機械の補修用性能部品（機械の機能を保持するために必要な部品）を製造打ち切り後 7 年間保有しています。

製品情報の入手方法

スキャナーのファームウェアのバージョンアップについて

当社では、スキャナー本体に組み込まれたソフトウェア（以下、ファームウェアと呼びます）を提供しています。

最新のファームウェアは、以下の当社ホームページのアドレス（URL）から取り出し、バージョンアップできます。

表示されたホームページの指示に従って、該当するファームウェアをダウンロードし、バージョンアップしてください。

<http://download.fujixerox.co.jp/>

- 通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。

索引

記号・英数

Active Directory	98
CentreWare Internet Services に	
接続できない	102
DHCP サーバー	27
DNS サーバーの設定	38
DocuScan マネージャー	33
DocuWorks	79
DocuWorks 文書	60
IP アドレス	
コンピューター	48
スキャナー	27, 104
IP アドレスの取得方法	27
JPEG	60
MAC アドレス	
スキャナー	104
NetBIOS 形式	98
【PC 保存】	61
PC 保存画面	61
PC 保存先	42
【PC 保存先】 画面	77
PC 保存できない	99
【PC 保存】の準備	34
PDF	60
SMB/FTP	77
SMB 共有名	48
TIFF	60
UPN 形式	98
USB インターフェイス	29
USB ケーブル	29
USB コネクタ	17, 18, 72, 92
Web ブラウザー	36
Windows Vista	98
Windows XP	98

→ 【〇〇〇〇】の【 】内は、本書で使用している用語です。

ア

宛先	33, 39, 42, 45
宛先 /CC/BCC	77
宛先の設定項目	48
宛先の選択	62, 66
宛先の登録	39
PC 保存	42
メール送信	45
宛先表	33, 39, 62, 66, 77, 78
宛先表フォルダー	39, 92
宛先表フォルダー画面	62, 66
宛先表フォルダーの登録	41
安全にご利用いただくために	10
インストール	
DocuScan マネージャー	33
インターフェースケーブルを接続する→	
【ケーブルの接続】	26
内カバー	19, 88, 90
エラーコード	105
エラーランプ	88
延長ガイド	19
お問い合わせ先	87
オプション品	119
おまかせ画質調整	86
オンラインヘルプ	
CentreWare Internet Services	38
DocuScan マネージャー	41

カ

解像度	60
鍵マーク	92
【画質調整】画面	86
画像圧縮率	77, 78
紙の重さ→【原稿の質量】	52
カラーコピーできない	91

カラーでスキャンできない	91
カラーバランス	86
カラーモード	77, 78, 86
かんたん設定モード	34, 101
機械管理者 ID	103
機械管理者暗証番号	27, 92
機械管理者暗証番号を忘れた	92
機械管理者パスワード	103
【基本】画面	86
【基本スキャン】画面	77, 78
キャリッジ	17, 18, 24
キャリッジロック	17, 18, 24
共有名	48, 77
ケーブルの接続	26
原稿受け	19
原稿送りトレイ	19, 89, 90
原稿ガイド	19
原稿が送り込まれない	93
原稿がたびたび詰まる	93
原稿が詰まった	88
原稿カバー	17
原稿カバー開閉センサー	17, 55
原稿が排紙ローラーにはさまっている	88, 90
原稿ガラス	17
原稿検知ランプ	19
原稿サイズ入力	86
原稿セット向き指定	77, 78, 86
原稿の画質	77, 78, 86
原稿の質量	52
原稿のセット	51, 54
原稿の端が折れる	94
原稿の向き	54, 96
件名	70
コピーができない	91
コピー画面	82
コピーが汚れる	94
コピー濃度	86
コピーの開始	84
コピーのしかた	81
コピーの中止	85
コメント	70

コントラスト	77, 78
コンピューターに保存する→【PC 保存】	34, 61
	
サーバー	77
サーバー名	48
サイズ	
希望のサイズにスキャン / コピーされない	
	93
サイズが異なる原稿→	
【ミックスサイズ原稿送り】	58
彩度	86
削除	77
サブネット	98
サブネットマスク	
スキャナー	104
地色除去	77, 78, 86
時間がかかる	99
自動原稿送り装置	19
自動検知できない	94
縞模様が発生する	
コピー	95
スキャン画像	95
シャープネス	77, 78, 86
出力ファイル形式	60, 77, 78
準備	31
準備の流れ	32
詳細設定	77
使用できない原稿	53
使用できる原稿	52
ジョブ確認	97
仕分け	86
スキャナースタンド	119
スキャナーに接続できない	101
スキャナーの選択	40
スキャナーのトラブル	91
スキャン画像が汚れる	94
スキャン結果の確認	64, 69, 73
スキャンできない	91
スキャンの開始	63, 69, 72
スキャンのしかた	59

スキャンの中止	76
スキャンの定型設定	43, 49
ずれる	
コピー	95
スキャン画像	95
製品情報	119
接続できない	
CentreWare Internet Services	102
スキャナー	101
設置	21
設置の流れ	22
設置場所	23
節電モード	20
セットできる原稿サイズ	52
セットできる枚数	52
線が入る	95
操作パネル	17
送信者	67, 77, 100
〔その他〕画面	77, 78, 86



タッチパネルディスプレイ	18
中止	
コピー	85
スキャン	76
次の原稿があるとき	74
定形サイズでない原稿	57
電源切り時のお願い	20
電源コードコネクタ	18
電源コードを接続する	25
電源スイッチ	18
同梱品	23
登録リスト	70
ドキュワークス→【DocuWorks】	60, 79
ドメイン管理	98
ドメイン形式	98
トラブル	
Centware Internet Services	102
DocuScan マネージャー	101
PC 保存	98
エラーコード	105

画質	94
原稿セット	93
原稿の向き	96
スキャナー本体	91
スキャン	96
ネットワーク	104
メール送信	100
トラブル対処→【困ったときには】	87



ネットワークコネクタ	18
ネットワークに接続する	26
ノブ	19, 88, 89



倍率選択	86
パス指定	78
パスワード	48, 77
左側カバー	19, 88, 89
非定形サイズ	57
表示言語	102
ファームウェア	119
ファイル	60
ファイル形式	60
ファイル名	97
ファイル名変更	77, 78
フィニッシャー	92
フォルダーの登録	41
部数	83
付せんが貼られている原稿	57
プリンターと接続する	29
プレビュー	75, 77, 78
返信先アドレス	68
ポート	98
ポート番号	48
補修用性能部品	119
保存先	62
〔保存先〕画面	78
保存先フォルダー	34
保存場所	48, 77
本体メールアドレス	38



曲がる

コピー	95
スキャン画像	95
まとめて1枚-2アップ	86
マニュアル体系	8
ミックスサイズ原稿送り	58, 77, 78, 86
【メール宛先】画面	77
メール環境	37
メール（グループ）	45
メール（個人）	45
【メール送信】	65
メール送信画面	65
メール送信できない	100
【メール送信】の準備	36
メールに添付する→【メール送信】	36, 65
メールの受信	100
メディアの取り外し	73
メディア保存	71
メディア保存画面	71



ユーザー名	48, 77, 98
用紙選択	86
汚れる	
コピー	94
スキャン画像	94
読み込み濃度	77, 78
読み取り解像度	60, 77, 78
読み取り可能エリア	52
読み取りサイズ	77, 78
読み取り倍率	77, 78



両面 / 片面選択	86
両面原稿	96
両面原稿送り	77, 78
レバー	88, 90



わく消し	77, 78, 86
------	------------

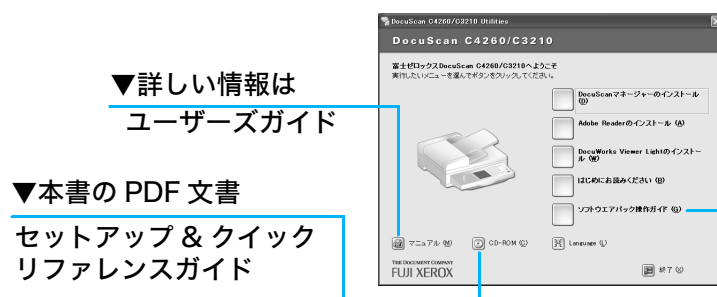
本書で紹介している情報（URL）一覧

サポート情報全般	http://www.fujixerox.co.jp/support/
ユーザズガイドなどマニュアルのダウンロード	http://www.fujixerox.co.jp/service/manual/
電子カタログの閲覧・ダウンロード	http://www.fujixerox.co.jp/product/catalog/
FAQ よくある質問	http://www.fujixerox.co.jp/support/faq/
ファームウェアやソフトウェアのダウンロード	http://download.fujixerox.co.jp/
オンラインユーザー登録	http://www.fujixerox.co.jp/support/prt/

ヘルプ・電子マニュアル一覧

●「Software Pack」CD-ROM 内のマニュアル

「Software Pack」CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットしてください。
自動的に表示される画面から、マニュアルを閲覧できます。



▼ CD-ROM を使う前に
ソフトウェアパック操作ガイド

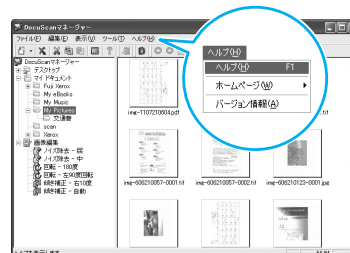
● CentreWare Internet Services

▼ 設定できる項目について知りたいときは

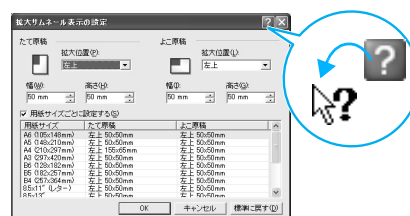


● DocuScan マネージャ

▼ 機能や操作方法について知りたいときは



▼ 機能や操作方法について知りたいときは



DocuScan C4260/C3210 セットアップ & クイックリファレンスガイド

著作者 — 富士ゼロックス株式会社
発行者 — 富士ゼロックス株式会社

発行年月—2007 年 7 月 第 1 版

(帳票番号：DE3770J1-1)
Printed in China

商品のお問い合わせ先について

- この商品の**保守、操作、修理**（内容・期間・費用）のお問い合わせ、**消耗品**のご購入について、および本機を廃却する場合は、商品に貼られている保守サポートの問い合わせ先カードの裏面に記載のあるテレフォンセンター、または商品センターにお問い合わせください。

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX 

保守・操作の問い合わせ、
消耗品のご用命は、
裏面の電話番号へご連絡ください。

●裏面の記入がない場合の連絡先
富士ゼロックス株式会社
プリンターサポートデスク
TEL: 0120-66-2209
受付時間 9:00~17:30 (土、日、祝祭日を除く)

XXXXXXX

表面

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX 

●保守・操作の問い合わせ（テレフォンセンター）
TEL.
FAX.

●用紙・消耗品のご用命（商品センター）
TEL.

●お手数ですが電話口の係員に下記の番号をお伝えください。
機種 機械No.

裏面

お問い合わせ先が不明の場合は、富士ゼロックスプリンターサポートデスクにお問い合わせください。（各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトウェアメーカーの問い合わせ窓口にお問い合わせください。）

フリーダイヤル

フジゼロックス

**0120-66-2209**

FAX : 0120-14-1046

フリーダイヤル受付時間：土曜、日曜、休祝日を除く9時～17時30分、東京でお受けします。

ただし、通話地域制限がある内線電話機からはご利用になれません。全国通話できる電話機をご使用ください。
表記の窓口は日本国内のお客様に限らせていただきます。

弊社へのお問い合わせの際には、機種名と機械番号を確認させていただきます。

保守サポートの問い合わせ先カードの裏面の「機種」「機械No.」、もしくは商品の背面または側面の銀色のシールに記載されている「商品名」「商品コード」「SER#」を事前にご確認ください。

- 富士ゼロックスに対するご意見、ご相談などは、お客様相談センターにご連絡ください。

フリーダイヤル

**0120-27-4100**

フリーダイヤル受付時間：土曜、日曜、祝日を除く9時～12時、13時～17時、東京でお受けします。ただし、通話地域制限がある内線電話機、および携帯電話機からはご利用になれません。全国通話ができる電話機をご使用ください。

- インターネットホームページで富士ゼロックスの商品全般に関する情報、最新ソフトウェア等を提供しています。

<http://www.fujixerox.co.jp>